



BizBox Server

「OS」「2」
「OS」「6」
「OS」「12」

ユーザーマニュアル

(管理者用)

このたびは Biz Box Server 「OS」をお買い求めいただきまして、
誠にありがとうございます。

- ご使用の前に、本書をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
 - お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。
-

目 次

1. お使いになる前に.....	6
はじめに.....	6
2. 外観.....	10
各部機能の説明.....	10
3. 管理画面.....	16
3-1. 各種機能の説明.....	16
3-2. ログイン	18
3-3. ファイル管理.....	25
3-4. ユーザー管理.....	39
3-5. グループウェア	46
3-6. システム情報	71
3-7. システム設定	90
3-8. 保守関連	129
3-9. ログアウト	137
4. ファイル共有.....	139
4-1. 各種操作の説明	139
4-2. Windows からの利用.....	140
4-3. Mac からの利用.....	147
5.ネットワーク・ストレージ.....	151
5-1. 各種操作の説明	151
5-2. ログイン	153
5-3. 機器一覧	155
5-4. パスワード変更	158
5-5. ログアウト	160
5-6. 変更オーダー	162

5-7. 容量警告通知	163
6. PC バックアップ	165
6-1. 概要	165
6-2. インストール	167
6-3. バックアップ	178
6-4. リカバリ（復元）	185
7. ハードディスク復旧サービス.....	186
7-1. 概要	186
7-2. 事前調査依頼	187
7-3. データ復旧作業	187
8. FAQ	188
8- 1. パスワードがわからない場合	188
8- 2. 故障対応	189
8- 3. よくある質問	192
8-4. 故障かなっと思ったら	204

⚠️ 警告

本製品を安全にお使いいただくために、下記事項をよくお読みいただき、必ず注意事項を守ってお使いください。

- ・本製品の仕様は日本国内向けとなりますので、海外ではご利用できません。
- ・本製品は一般オフィス向けの製品であり、人の生命や高額財産などを扱うような高度な信頼性を要求される分野に適応するようには設計されていません。本製品を誤って使用した結果発生したあらゆる損失について、当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・本製品から発煙や異臭がするとき、内部に水分や薬品類が入ったとき、および本体や電源コードが発熱しているときは、直ちに電源コードをコンセントから抜いてください。そのまま使用を続けると、火災や感電の恐れがあります。
- ・本製品の取り付け・取り外しは必ず電源を切ってから行ってください。
- ・濡れた手で本体や電源コードを触らないでください。感電や故障の恐れがあります。
- ・電源コードを傷付けたり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。火災や感電、故障、ショート、断線の原因となります。
- ・電源コードは付属のものをお使いください。また、以下の点に注意してお取り扱いください。
 1. 物を載せたままでの使用や、熱器具のそばで使用しないでください。
 2. 引っ張ったり、ねじったり、折り曲げたりしないでください。
 3. 押し付けたり、加工をしたりしないでください。
 4. 電源コードをコンセントなどから抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いていただき、直接電源コードを引っ張らないでください。
 5. 電源コードはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。傷ついた電源コードや、コンセントなどの差し込みが緩い時は使用しないでください。
 6. 電源プラグにドライバーなどの金属が触れないようにしてください。
 7. 分岐ソケットなどを使用したタコ足配線にならない様にしてください。
 8. 電源プラグの金属部分および、その周辺にほこり等の付着物がある場合には、よく乾いた布などで拭き取ってから、ご使用ください。
 9. 電極間にほこりやごみが溜まっていないか、定期的にご確認ください。
- ・安全のため電源コードは容易に外すことのできるコンセントに接続してください。家具の後ろなどの手の届かない場所にあるコンセントには接続しないでください。
- ・本製品を落下させたり、強い衝撃を与えたりしないでください。内部の部品が破損し、感電や火災、故障

の原因となります。

- ・本製品を分解したり、改造したりしないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- ・本製品の通風口を塞いだ状態で使用しないでください。火災や故障の原因となります。
- ・本製品および、電源コード・接続ケーブルは、小さなお子さまの手の届かない場所に設置してください。
- ・近くに雷が発生した際には、本製品の電源をコンセントなどから抜いて、ご使用をお控えください。また、落雷による感電を防ぐため、本製品やケーブルに触れないでください。

⚠ 注意

本製品を安全にお使いいただくために、下記のご注意をよくお読みになり、必ず守ってお使いください。

- ・直射日光や暖房器等の風が当たる場所、温度や湿度の高い場所には置かないでください。また、屋外には設置しないでください。故障や動作不良の原因となります。
- ・設置場所については壁から 30 cm以上離して設置してください。故障や動作不良の原因となります。
- ・本製品および、電源コードの上に重量物を載せないでください。また、振動の発生する装置のそばに設置しないでください。
- ・本製品の仕様で定められた動作温度範囲外では使用しないでください。極端に低温の場所や温度差が大きい場所、結露が発生しやすい場所で使用しないでください。故障や動作不良の原因となります。結露が発生した場合は、電源コードをコンセントから抜き、乾燥させてから使用してください。
- ・ほこりが多い場所や油煙が飛ぶ場所、腐蝕性ガスがかかる場所、電波・静電気・ノイズ・磁界が強い場所には置かないでください。故障や動作不良の原因となります。
- ・本製品をベンジン、シンナー、アルコールなどの引火性溶剤で拭かないでください。お手入れは、乾いたやわらかい布で乾拭きし、汚れがひどい時には水で薄めた中性洗剤を布に少し含ませてから汚れを拭き取り、乾いたやわらかい布で乾拭きしてください。
- ・本製品に触れる際は、人体や衣服から静電気を除去する等、静電気対策を十分に行ってください。静電気によつて故障する恐れがあります。
- ・同一電源ライン上にノイズを発生する機器を接続しないようにしてください。故障や動作不良の原因になります。
- ・万一の異常発生時にはすぐに本製品の電源を切れるように本製品周辺には、物を置かないでください。
- ・本製品のコネクタの接点などに、素手で触れないでください。接触不良を引き起こす原因になります。

⚠ 使用上のご注意

- ・本製品の使用方法や設定を誤って使用した結果発生したあらゆる損失について、当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・本製品のご使用にあたり、周囲の環境によっては電話、ラジオ、テレビなどに雑音が入る場合があります。この場合は本製品の設置場所、向きを変えてみてください。
- ・本製品にはハードディスクドライブおよびソリッドステートドライブが搭載されています。電源が入った状態で本体に衝撃を与えると、電源が入った状態で電源コードをコンセントから抜去したりしないでください。故障の原因となります。
- ・本製品に搭載されているハードディスクドライブは、電源が入った状態で抜き差しを行わないようにしてください。故障の原因となります。
- ・ハードディスクドライブを抜いた状態で電源をいれないと故障の原因となります。
- ・本製品のご使用にあたり、製品の動作中の不用意なシャットダウンの実行や、電源を切断しないよう十分にご注意ください。故障の原因となります。とりわけ、機器前面の電源ボタンおよびリセットボタンに接触すると、たとえ軽度であってもこれらの現象が発生します。接触には充分にご注意ください。
- ・RAID 構成の整合性チェック（Resync 処理）が動いている際には、NASへのファイルアクセス等動作が遅くなる場合があります。
- ・クラウドバックアップやスナップショット等は NASへのファイルアクセス時間帯を避けて行って頂けますと快適にご利用頂けます。クラウドバックアップはお客様の NW 環境によって速度が遅くなり、バックアップが取れない場合があります。
- ・本製品のソフトウェアは、機能追加／変更、品質改善、不具合対応等により自動的に更新される場合があります。
- ・本製品を譲渡する際は、マニュアル類も同時に譲渡してください。
- ・本製品を廃棄する場合には、お住まいの自治体の指示に従ってください。

⚠ 重要なお知らせ

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

輸出について

本製品が「外国為替及び外国貿易法」で定められた規制対象貨物（および技術）に該当する場合は、輸出または国外への持ち出しには、同法および関連法令の定めるところに従い、日本国政府の許可を得る必要があります。

機器の買い替え（推奨）について

- NTTPC コミュニケーションズ社との使用許諾に基づきご使用いただくオペレーティング・システム（基本ソフトウェア）および、それに付随する各種機能のアップデート有効期限は使用開始から 5 年間となります。5 年経過するとアップデートは無効となります。また、ハードウェアも 5 年経過すると故障率が上がり、データの消失などのリスクが高まります。データ消失のリスクを抑えるために、5 年経過後の買い替えを推奨しています。

アンチウィルス機能について

本機に搭載しておりましたアンチウィルス機能のエンジンソフトのサポートが 2023 年 7 月中旬に終了することから、新たなアンチウィルスエンジンソフトに変更致しました。

新たなアンチウィルス機能では、従前の「リアルタイムスキャン」が利用できなくなります。

「スケジュールスキャン」は従前の設定が引き継がれておりますが、お客様ご自身でも「スケジュールスキャン」の設定・ご利用のご確認を頂けますようお願い致します。

なお、設定方法は、本マニュアル「3-7.システム設定」のアンチウィルス設定に関する項目をご参照ください。

1. お使いになる前に

はじめに

本書では、Biz Box Server「OS」をご利用いただくにあたり、「管理者（root）」権限でログインした際に利用可能な操作について記載しています。

(1) セットを確認してください。

本製品には、以下の物品が添付されています。開封時によくご確認ください。

<本体>



Biz Box Server「OS」本体（1台）

<添付品>



フロントドア鍵（2個）

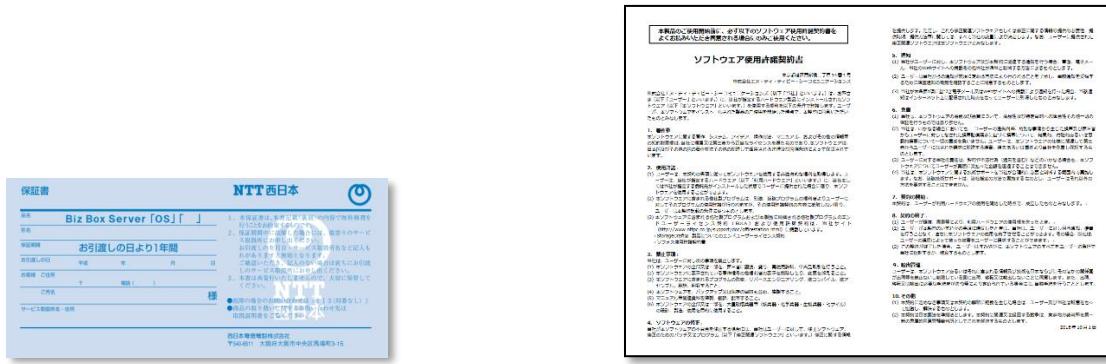
<添付品>



電源コード（1本）



Biz Box Server「OS」
取扱説明書 CD-ROM（1枚）

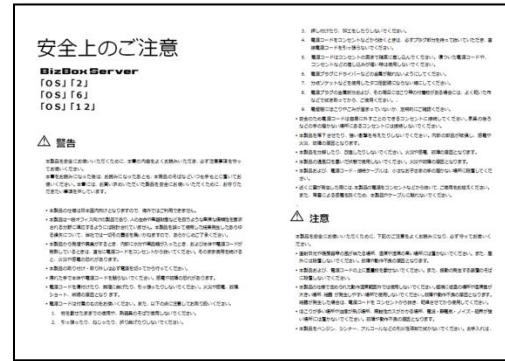


保証書（1枚）

ソフトウェア使用許諾契約書（1枚）



クイックガイド（1枚）



安全上のご注意（1枚）

※Biz Box Server「OS」「6」および「12」には以下も付属されます。



PCバックアップアプリケーション（1ライセンス）

Copyright © 2023 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION

(2) 設置環境を確認してください。

温度、湿度、振動およびノイズ、塵埃、塩害、腐食性ガスなどの影響を受けやすい環境に機器を設置した場合、機器の故障・破損につながる可能性があります。

環境によっては、保証期間内でも無償修理対象にならないことがあります。

設置にあたっては、設置環境を十分留意ください。

項目	仕様
電源電圧	100V～240V
電源周波数	50Hz～60Hz
動作温度	10°C～35°C
保管時温度	-40°C～70°C
相対湿度（動作時）	8%～90%（結露しないこと）
保管時温度	5%～95%（結露しないこと）
その他設置条件	<ul style="list-style-type: none">・水平で安定した場所であること・製品の吸気・排気スペースが確保されていること・外部からの物理的衝撃を受けない環境であること・水および液体がかからない環境であること・振動およびノイズの影響を受けないこと・塵埃および金属粉の影響を受けないこと・静電気および磁気の影響を受けないこと・塩害の影響を受けないこと・腐食性ガスの影響を受けないこと

(3) クライアント端末の環境を確認してください。

Biz Box Server「OS」の対応ブラウザとオペレーティング・システムは以下のとおりです。Microsoft®社および Apple 社がサポートしているブラウザとオペレーティング・システムの組み合わせである必要があります。

	Microsoft® Windows®	Apple Mac OS X
Biz Box Server 「OS」の管理画面	<ul style="list-style-type: none">• Internet Explorer 11 以上• Microsoft Edge 38 以上• Firefox 58 以上• Google Chrome 63 以上	対応していません
Biz Box Server 「OS」のファイル共有	<ul style="list-style-type: none">• Microsoft® Windows® 7• Microsoft® Windows® 8.1• Microsoft® Windows® 10 <p>すべて 32bit、64bit どちらも対応</p>	<ul style="list-style-type: none">• Apple Mac OS 10.10 以上

Biz Box Server「OS」には、以下のユーザー権限があります。

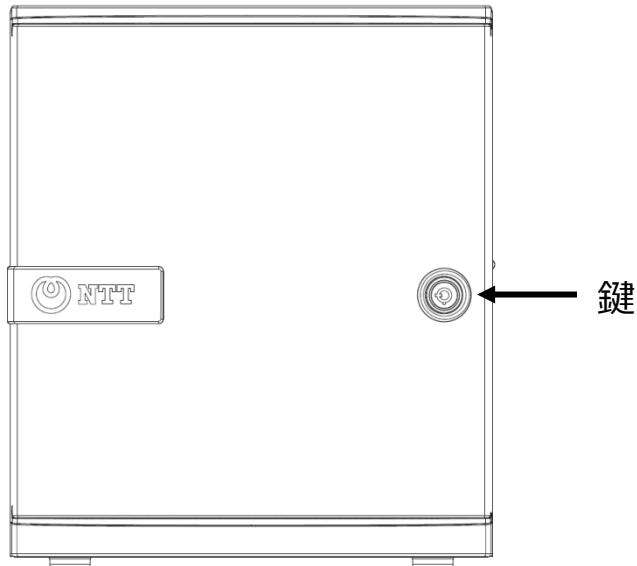
権限	説明
管理者	Biz Box Server「OS」管理者が使用する権限で、ユーザー作成や各種詳細設定が可能です。 ネットワーク管理者の利用を想定しています。
一般ユーザー	Biz Box Server「OS」の一般ユーザーが使用する権限です。 一般社員の利用を想定しています。

2. 外観

各部機能の説明

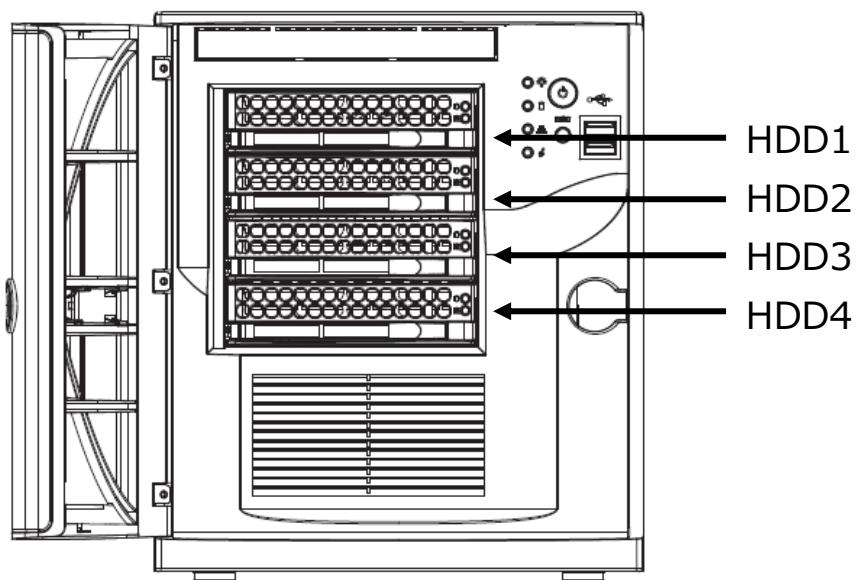
(1) 前面

前面にはフロントドアがあります。フロントドアは付属の鍵で施錠できます。

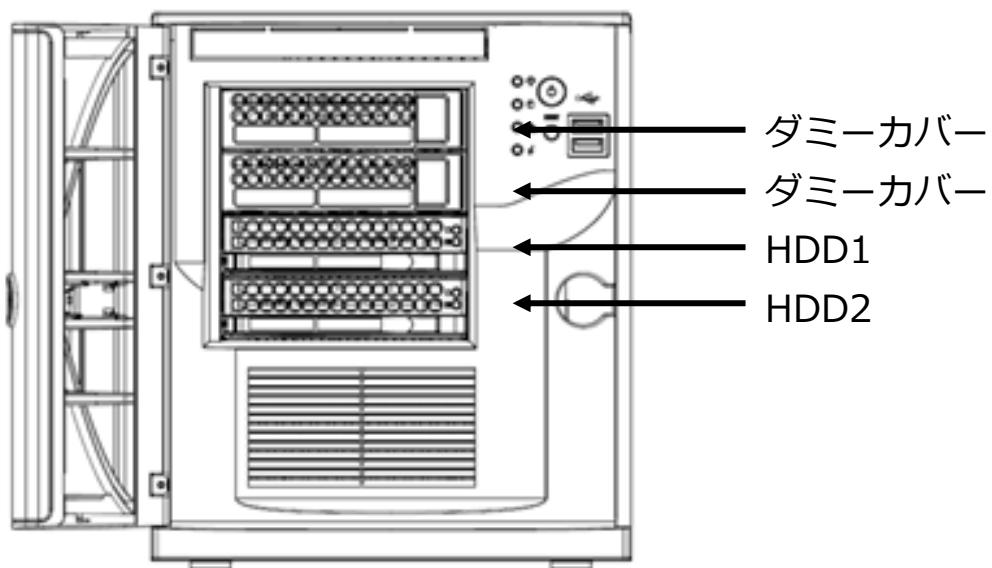


フロントドアを開けると、ハードディスクスロットにハードディスクが搭載されています。

Biz Box Server 「OS」「6」および「12」は、4個（下記図のHDD 1～4）のハードディスクが搭載されています。

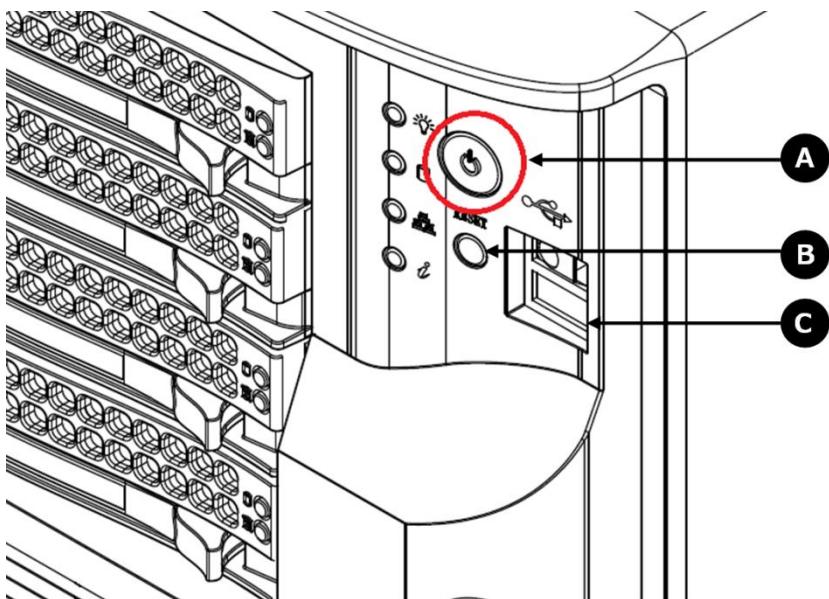


Biz Box Server「OS」「2」は、2個（下記図のHDD1～2）のハードディスクが搭載されています。



(2) フロントドア内部（ボタン類）

フロントドア内部のボタン（スイッチ）は以下のとおりです。

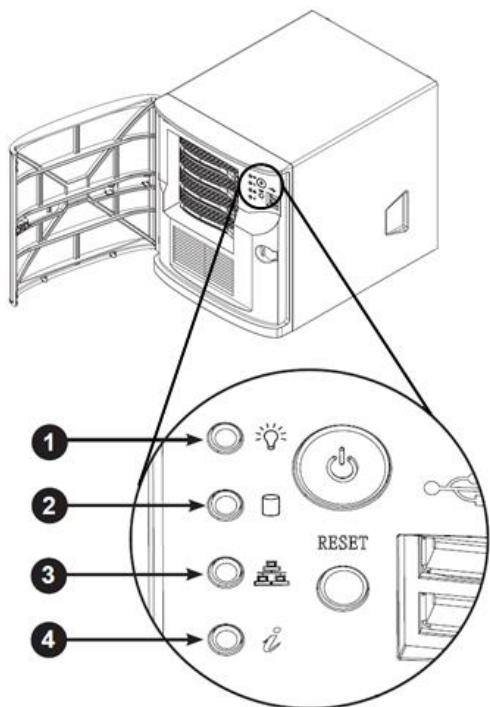


凡例	部位名	説明
A	電源ボタン（赤丸部分）	押すと正常終了します。（1秒以内で押します。） ⚠️ 長押しは強制停止になるため、行わないでください。
B	リセットボタン	押すと強制的に再起動します。 ⚠️ 原則使用しません。
C	USB ポート×2	使用できません。

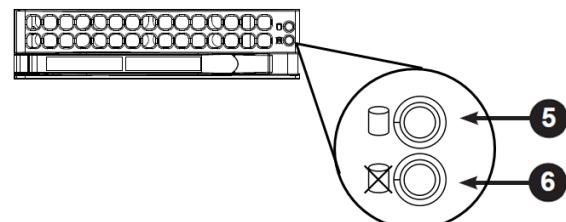
(3) フロントドア内部（LEDランプ）

フロントドア内部の本体LEDランプは以下のとおりです。

本体LEDランプ



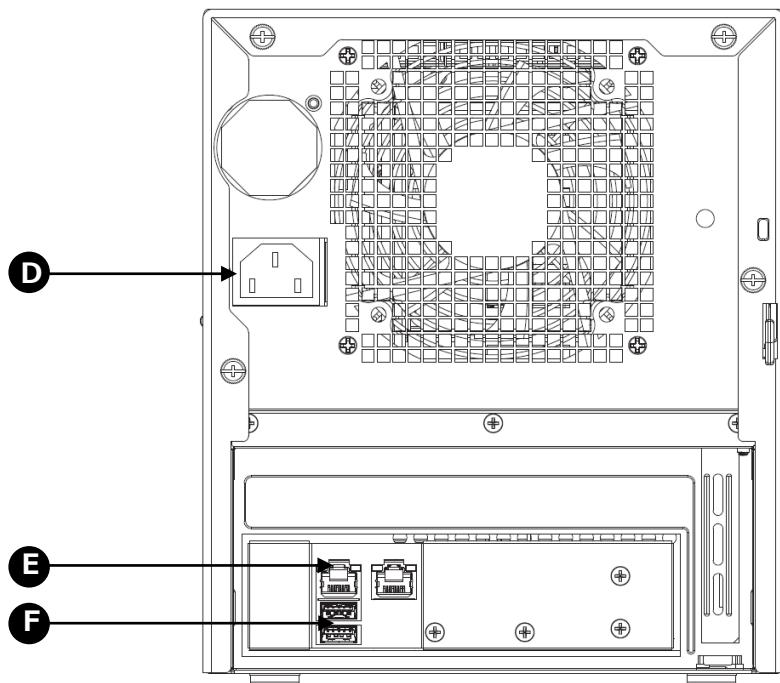
ハードディスクLEDランプ



凡例	部位名	ランプの色	説明
①	電源ランプ（緑色）	緑色	電源が入っているときに点灯します。
②	ハードディスクアクセスランプ（本体）	オレンジ	ハードディスクにアクセスしているときに断続的に点灯します。
③	LANポートランプ	緑	LANポート（左側）がデータアクセス中のときに点滅します。
④	インフォメーションランプ	赤	B i z B o x S e r v e r 「O S」に障害が発生した際に点滅/点灯します。 ⚠ 温度異常=点灯、ファン障害=点滅 ⚠ 起動時にも一瞬点滅します。
⑤	ハードディスクアクセスランプ（ハードディスク）	緑	ハードディスクにアクセスしているときに点灯します。 ⚠ 起動時にも点灯します。
⑥	ハードディスク異常ランプ	赤	ハードディスクに異常が発生したときに点灯します。 ⚠ 起動時にも点灯します。

(4) 背面

背面の各箇所の内容は以下のとおりです。

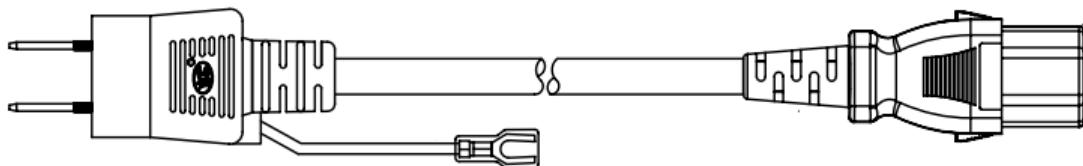


凡例	部位名	説明
D	電源 (A C 100V)	電源コードを繋ぎ、ご利用ください。
E	L A Nポート×2	L A Nケーブルはどちらに差しても使用できますが、原則左側に接続してください。 ⚠ 左側のL A Nポートが前面のL A Nポートアクセランプと連動しています。
F	U S B 3.0 ポート×2	外付けハードディスク、およびU P S接続用に利用します。

(5) 電源コード

電源コードは以下のとおりです。

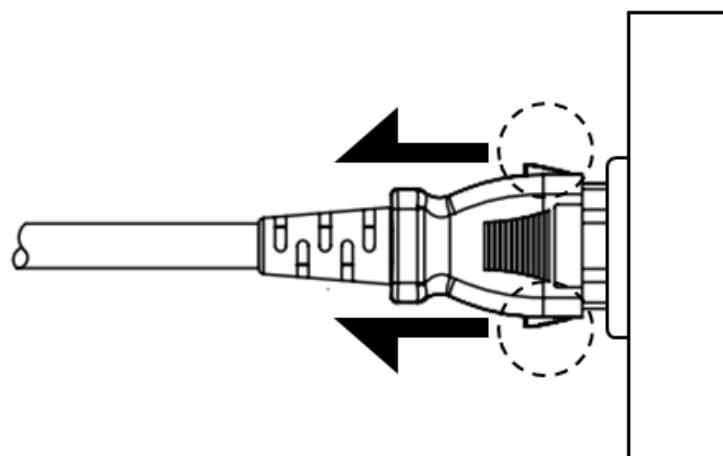
本機に接続する側のコネクタには、ロック機能（脱落防止機能）が備わっています。



ロック機能（脱落防止機能）は、コネクタ横のレバーをスライドすることで解除できます。

電源コードを抜く場合は、レバーをスライドした状態で抜いてください。

[コネクタ接続部分を上から見た図]



3. 管理画面

3-1. 各種機能の説明

Biz Box Server「OS」の各種機能の説明、および権限別の利用可否の一覧は以下のとおりです。

機能	説明	権限別の利用可否	
		管理者	一般ユーザー
ログイン	管理画面へのログイン	○	○
ファイル管理	ファイルの保存・取得・移動・削除・コピー	○ ※すべての フォルダ	○ ※権限のある フォルダのみ
グループ ウェア	HOME	日次予定表、伝言メモ、掲示板	○
	予定表	カレンダー型予定表	○
	伝言メモ	伝言メモ	○
	掲示板	掲示板	○
	住所録	住所録	○
	設定	グループウェアの環境設定	○ ※すべての環境 ※自己環境のみ
ユーザー 管理	ユーザーの追加	Biz Box Server「OS」用 のユーザーの作成	○
	ユーザー情報の変更	Biz Box Server「OS」用 のユーザー情報の変更	○ ※すべて ※自身のみ
	ユーザーの削除	Biz Box Server「OS」用 のユーザーの削除	○
	アクセス権限の変更	Biz Box Server「OS」用 のユーザーのアクセス権限の変更	○
	ゲスト用フォルダ	Biz Box Server「OS」用 のゲスト用フォルダの指定	○
システム 情報	システム情報	Biz Box Server「OS」の システム情報・使用状況一覧の閲覧	○
	システムログ	各種ログの閲覧	○
	UTMログ	UTMログの閲覧	○
	アクセス履歴（※1）	アクセス履歴の検索	○

システム 設定	共有設定	ファイル共有の設定	○	×
	ネットワーク	ネットワークの設定	○	×
	リモートアクセス（※1）	リモートアクセスの設定	○	×
	Eメール通知	アラート通知のサーバーの設定と E メールアドレスの設定	○	×
	時刻設定	時刻設定用サーバーの設定と時刻の変更	○	×
	アンチウイルス	アンチウイルスの設定	○	×
	U P S 連携	U P S 連携の設定	○	×
	スナップショット	ローカルバックアップの取得間隔と対象フォルダの設定	○	×
	外付けハードディスク	外付けハードディスクへのバックアップの設定	○	×
	クラウドバックアップ	クラウドバックアップの設定	○ ※要契約	×
保守関連	U T M 連携設定	U T M との連携設定	○	×
	システムデータ	設定ファイルの書き出し・読み込み	○	×
	初期化	ハードディスクの初期化	○	×
	アップデート	B i z B o x S e r v e r 「 O S 」 のバージョンアップ	○	×
	電源管理	電源 OFF および再起動	○	×
ログアウト		管理画面からのログアウト	○	○

(※1) B i z B o x S e r v e r 「 O S 」 「 2 」 は利用できません。

以降、上記機能のうち、初期設定に必要な操作方法を記載します。すべての機能の操作方法は、ログイン画面からダウンロード可能であるユーザーマニュアル（管理者用）にてご確認ください。

3-2. ログイン

Biz Box Server「OS」の管理画面を利用するには、ログインが必要です。本項は、Biz Box Server「OS」の管理画面へのログイン方法を記載しています。

権限別の利用可否	
管理者	一般ユーザー
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Biz Box Server「OS」に設定したIPアドレス（例：https://192.168.0.1/）にブラウザでアクセスします。

出荷時初期IPアドレス	https://192.168.0.1/
-------------	----------------------

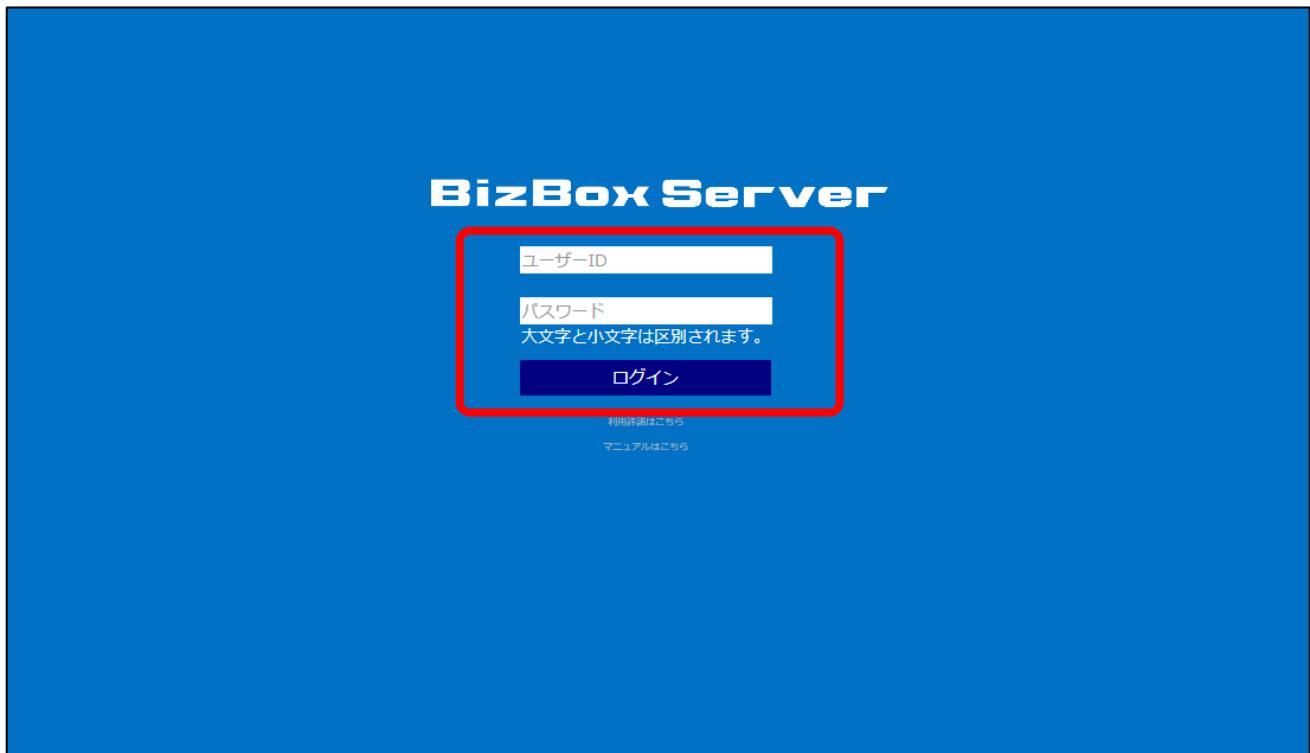
⚠️ https://でアクセスしてください。http://ではアクセスできません。

「管理者（root）」権限でログインするには、以下のログイン情報を入力し、[ログイン] をクリックします。

ユーザーID	root
出荷時初期パスワード	microserver

⚠️ 上記は初期パスワードですので、ログイン後必ず推測しにくいパスワードに変更してください。

「一般ユーザー」権限でログインするには、管理者から指定された [ユーザー名] および [パスワード] を入力し、[ログイン] をクリックします。



(1) 証明書のエラーが表示される場合

ブラウザでの初回アクセス時、証明書に問題がある旨表示する警告画面が出ます。

警告画面が出ないようにするには、以下の手順に従い、ログイン画面から証明書を取得してインストールします。

 本操作は、ブラウザ毎に行う必要があります。

 必ずしも本設定は行う必要はありません。本設定を行わない場合は、初回アクセスごとに警告が表示されます。

証明書のインストール手順

(1) 証明書の取得

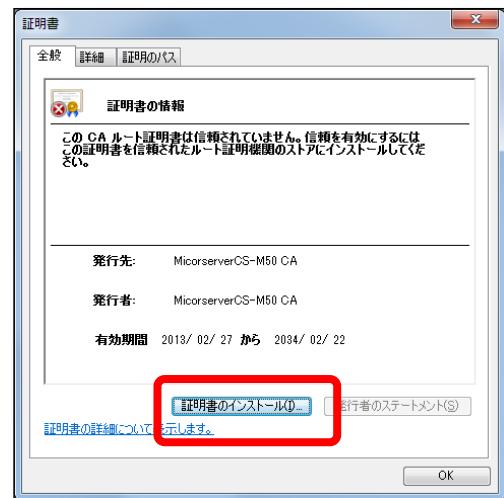
ログイン画面上の Biz Box Server のロゴをクリックし、証明書をダウンロードします。



(2) 証明書を開く

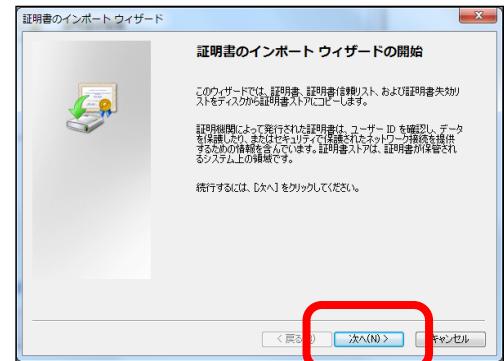
ダウンロード後、[ファイルを開く] を選択し、[証明書のインストール] をクリックします。
※証明書のインストール方法はブラウザの種類によって異なります

※本記載は、Internet Explorer の例です



(3) 証明書のインポート ウィザードの開始

[次へ] をクリックします。

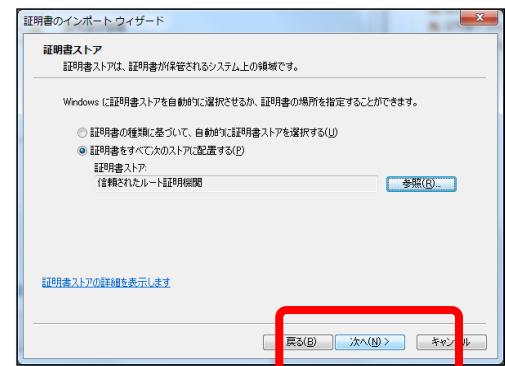
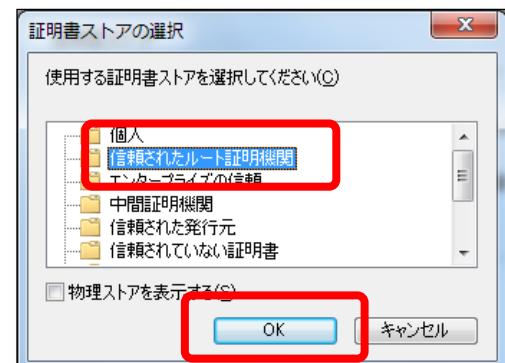
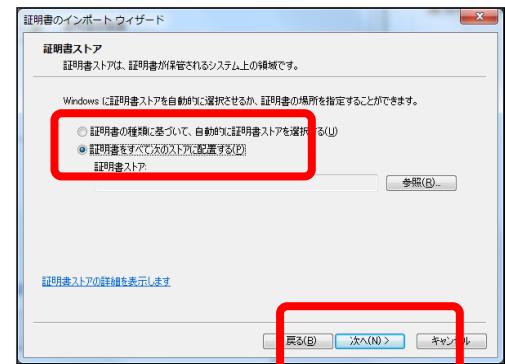


(4) 証明書ストア

[証明書をすべて次のストアに配置する] を選択して [参照] をクリックします。

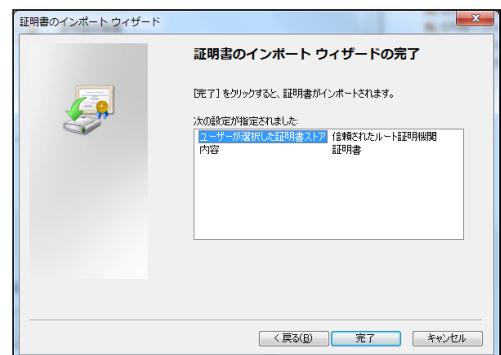
[信頼されたルート証明機関] を選択して [OK] をクリックします。

[次へ] をクリックします。



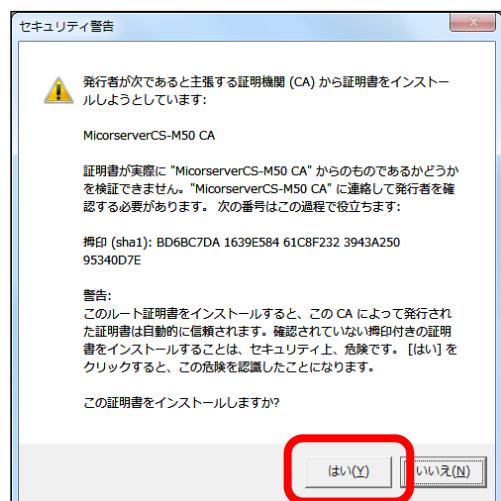
(5) 証明書のインポートウィザードの完了

[完了] をクリックすると証明書がインポートされます。



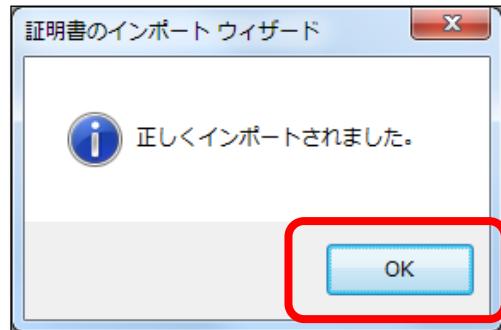
(6) セキュリティ警告

セキュリティの警告が表示されますが、[はい] をクリックします。



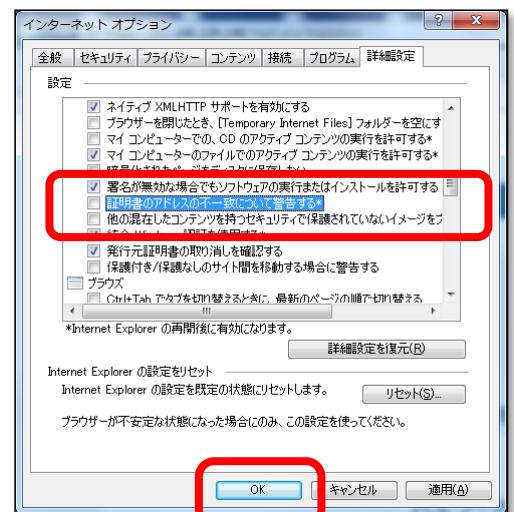
(7) 完了

[OK] をクリックして終了します。



(8) 証明書のアドレス不一致設定

ブラウザのインターネットオプションの詳細設定で、[証明書のアドレス不一致について警告する]のチェックを外し、
[OK] をクリックします。



(2) 管理者パスワードの変更

画面左のメニューより [ユーザー管理] > [ユーザー情報の変更] をクリックします。
root を選択し、[ユーザー情報を変更する] をクリックします。

The screenshot shows the 'User Information Change' page. On the left, there is a sidebar with various management options. The 'User Management' section is expanded, showing 'User Addition', 'User Information Change' (which is highlighted with a red box), 'User Deletion', 'Access Permission Change', 'Guest Folder', 'System Information', 'System Settings', 'Maintenance Connection', and 'Logout'. In the center, the title 'User Information Change' is displayed above a form. A message says 'Please select the user you want to change information for.' Below it, a dropdown menu labeled 'User ID' has 'root' selected. To the right of the dropdown is a blue button labeled 'Change User Information'. The top right corner shows the user status: 'User: root'.

[パスワードも変更] のチェックボックスにチェックを入れます。

[パスワード] 欄、[パスワード(確認)] 欄に、新しいパスワードを入力後、[設定変更] をクリックします。

The screenshot shows the 'User Information Change' page with the 'User ID' set to 'root'. A red box highlights the password input fields: 'Password' and 'Password Confirmation'. Below these fields is a checkbox labeled 'Change Password'. Further down, there are fields for 'Display Name' and 'Kana Name'. At the bottom, a red box highlights the blue 'Change Settings' button. The top right corner shows the user status: 'User: root'.

3 - 3. ファイル管理

機能	権限別の利用可否	
	管理者	一般ユーザー
フォルダの追加	○	権限範囲内
フォルダ名の変更	○	権限範囲内
フォルダの削除	○	権限範囲内

ファイル管理画面へ移動するには、画面左のメニューより [ファイル管理] をクリックします。

現在のフォルダ情報
・パス : ドライブ
・内容 : フォルダ数 4 ファイル数 0 全体の空き容量 11,089.67 GB

選択した対象を削除 削除

選択した対象をコピー コピー

選択した対象の名前を変更 名前変更

フォルダの新規作成 work 作成

ドライブ

選択	名前	最終更新日時	権限
<input type="checkbox"/>	aaa	2016-08-05 14:13:41	編集可能
<input type="checkbox"/>	bbb	2016-08-05 14:13:55	編集可能
<input type="checkbox"/>	snapshot	2016-08-10 00:00:01	読み取り専用
<input type="checkbox"/>	test	2016-08-05 14:14:03	編集可能

[ファイル管理] 機能では、ルートフォルダに割り当てられたアクセス権限によって実行できる操作が変わります。

設定可能なアクセス権限の種類は以下のとおりです。

項目名	説明
閲覧不可	一切のアクセスはできません。(フォルダ名参照不可)
読み取り専用	読み取り(ダウンロード、コピー)のみできます。
編集可能	すべての操作(削除、移動、コピー、名前変更、作成、アップロード、ダウンロード)ができます。

アクセス権限別の可能ファイル操作は以下のとおりです。

項目名	アクセス権限		
	閲覧不可	読み取り専用	編集可能
ファイルのアップロード	×	×	○
ファイルのダウンロード	×	○	○
フォルダの新規作成	×	×	○
ファイル・フォルダの移動	×	×	○
ファイル・フォルダの削除	×	×	○
ファイル・フォルダのコピー	×	○ ※編集可能なフォルダへ可	○

管理者(root)を除く指定のユーザーに対して、指定のフォルダのアクセス権限を設定します。

※管理者(root)は、すべての操作が可能です

※アクセス権限の設定方法は、本章の「3-4. ユーザー管理(5)アクセス権限の変更」をご参照ください。

(1) 初期画面（ドライブ）

以下はドライブのファイル管理画面です。

The screenshot shows the BizBox Server interface with the NTT logo at the top left and the title "BizBox Server" at the top right. The user is logged in as "root". The main menu on the left includes "ファイル管理", "グループウェア", "ユーザー管理", "システム情報", "システム設定", "保守関連", and "ログアウト". The "ファイル管理" tab is active, displaying the "Drive" section. A summary box shows "現在のフォルダ情報": パス: ドライブ, 内容: フォルダ数 4, ファイル数 0, 全体の空き容量 11,089.67 GB. Below this are buttons for "削除" (Delete), "コピー" (Copy), "名前変更" (Rename), and "作成" (Create) with input fields. A table lists existing drives: aaa, bbb, snapshot, and test. The "snapshot" drive is selected.

選択	名前	最終更新日時	権限
<input type="checkbox"/>	aaa	2016-08-05 14:13:41	編集可能
<input type="checkbox"/>	bbb	2016-08-05 14:13:55	編集可能
<input type="checkbox"/>	snapshot	2016-08-10 00:00:01	読み取り専用
<input type="checkbox"/>	test	2016-08-05 14:14:03	編集可能

ファイル管理画面の表示内容と可能操作は以下のとおりです。

項目名	説明
パス	現在のフォルダのパスを表示します。
内容	現在のフォルダのフォルダ数、ファイル数、全体の空き容量を表示します。
選択した対象を削除	ファイルやフォルダを削除する場合に、選択にチェックを入れて削除します。
選択した対象をコピー	ファイルやフォルダをコピーする場合に、選択にチェックを入れてコピーします。
選択した対象の名前を変更	ファイルやフォルダの名前を変更する場合に、選択にチェック後、変更後の名前を入力し、名前変更します。
フォルダの新規作成	フォルダを新規作成する場合に、作成するフォルダ名を入力し、新規作成します。
選択	各ファイル操作の対象にするときにチェックを入れます。
名前	名前の昇順に並べ替えて表示します。(初期状態がこの並び順です)
最終更新日時	最終更新日時の昇順に並べ替えて表示します。
権限	現在ログインしているユーザーのアクセス権限が表示されます。

※ドライブにファイルをアップロードすることはできません（フォルダのみ作成可能です）

フォルダ名をクリックすると、そのフォルダに移動します。

パスの[ドライブ]をクリックすることで、ドライブ一覧に戻ることができます。

(2) ドライブ以外で「編集可能」の画面

以下はドライブ以外のファイル管理画面です。

The screenshot shows the BizBox Server interface for file management. At the top, there's a navigation bar with the NTT logo, the server name 'BizBox Server', and the user information 'ユーザー: root'. On the left, there's a sidebar with links like 'ファイル管理', 'グループウェア', 'ユーザー管理', 'システム情報', 'システム設定', '保守関連', and 'ログアウト'. The main area is titled 'ファイル管理' and contains a summary box for the current folder: '現在のフォルダ情報' (Drive: 编集可能, Path: ドライブ > work, Content: フォルダ数 0 ファイル数 0 合計サイズ: 4.00 KB 全体の空き容量 11,089.66 GB). Below this are several buttons for operations: '削除' (Delete), '移動' (Move), 'コピー' (Copy), '名前変更' (Rename), '作成' (Create), and 'アップロードする' (Upload). At the bottom, there's a list of files in the 'work' folder with columns for '選択' (Select), '名前' (Name), 'サイズ' (Size), '最終更新日時' (Last Updated), and 'DL' (Download).

ファイル管理画面の表示内容と可能操作は以下のとおりです。

項目名	説明
権限	現在ログインしているユーザーのアクセス権限が表示されます。
パス	現在のフォルダのパスを表示します。
内容	現在のフォルダのフォルダ数、ファイル数、全体の空き容量を表示します。
選択した対象を削除	ファイルやフォルダを削除する場合に、選択にチェックを入れて削除します。
選択した対象を移動	ファイルやフォルダを移動する場合に、選択にチェックを入れて移動します。
選択した対象をコピー	ファイルやフォルダをコピーする場合に、選択にチェックを入れてコピーします。
選択した対象の名前を変更	ファイルやフォルダの名前を変更する場合に、選択にチェック後、変更後の名前を入力し、名前変更します。
フォルダの新規作成	フォルダを新規作成する場合に、作成するフォルダ名を入力し、新規作成します。
ファイルのアップロード	ファイルをアップロードして本体に保存します。
選択	各ファイル操作の対象にするときにチェックを入れます。

名前	名前の昇順に並べ替えて表示します。(初期状態がこの並び順です)
サイズ	ファイルサイズの昇順に並べ替えて表示します。
最終更新日時	最終更新日時の昇順に並べ替えて表示します。
DL	ファイルをダウンロードすることができます。

(3) ドライブ以外で「読み取り専用」の画面（一般ユーザー用）

以下は読み取り専用の権限があるフォルダの場合の表示です。

The screenshot shows the BizBox Server interface with the NTT logo at the top left. The title bar says "BizBox Server" and the user is identified as "ユーザー: test (TEST)". On the left, there's a sidebar with links: ファイル管理, グループウェア, ユーザー情報の変更, システム情報, and ログアウト. The main area is titled "ファイル管理". A sub-section titled "現在のフォルダ情報" displays the following details:

- 権限 : 読取専用
- パス : ドライブ > work
- 内容 : フォルダ数 0 ファイル数 0 合計サイズ : 4.00 KB 全体の空き容量 1,833.56 GB

Below this, there's a button labeled "選択した対象をコピー" and a blue "コピー" button. A table header row shows columns for 選択, 名前, サイズ, 最終更新日時, and DL. The main content area below the table header contains the message: "フォルダが空、もしくは、閲覧可能な内容がありません。"

読み取り専用の場合のファイル管理画面の表示内容と可能操作は以下のとおりです。

項目名	説明
権限	現在ログインしているユーザーのアクセス権限が表示されます。
パス	現在のフォルダのパスを表示します。
内容	現在のフォルダのフォルダ数、ファイル数、全体の空き容量を表示します。
選択した対象をコピー	ファイルやフォルダをコピーする場合に、選択にチェックを入れてコピーします。
選択	各ファイル操作の対象にするときにチェックを入れます。
名前	名前の昇順に並べ替えて表示します。(初期状態がこの並び順です)
サイズ	ファイルサイズの昇順に並べ替えて表示します。
最終更新日時	最終更新日時の昇順に並べ替えて表示します。
DL	ファイルをダウンロードすることができます。

(4)選択した対象フォルダ又はファイルを削除

削除したいファイルやフォルダの選択にチェックを入れ、"削除"をクリックします。

確認のメッセージが出ますので、[OK]をクリックします。

The screenshot shows the BizBox Server interface with the following details:

- Top Bar:** NTT logo, IP address 172.20.20.68, User: root (管理者).
- Left Sidebar:** ファイル管理, グループウェア, ユーザー管理, システム情報, システム設定, 保守関連, ログアウト.
- Main Content Area:**
 - Alert Dialog:** "172.20.20.68 の内容:"
選択した対象を削除します。よろしいですか?
OK キャンセル (The OK button is highlighted with a red box.)
 - Form Fields:** 現在のフォルダ情報
・パス : ドライブ
・内容 : フォルダ数 7 ファイル数 0 全体の空き容量 1,833.56 GB
 - Buttons:** 選択した対象を削除 (highlighted with a red box), 削除, コピー, 名前変更, 作成.
 - Table:** ドライブ
名前 最終更新日時 権限
aaa 2016-10-08 10:57:22 編集可能
bbb 2016-10-08 10:57:30 編集可能
ccc 2016-10-08 10:57:37 編集可能
test 2016-10-08 10:00:01 読取専用
test 2016-10-08 10:57:46 編集可能
The row for "test" has a checked checkbox in the "選択" column and is highlighted with a red box.

(5)選択した対象フォルダ又はファイルの移動

移動したいファイルやフォルダの選択にチェックを入れ、[移動]をクリックします。

The screenshot shows the BizBox Server interface under the NTT logo. The top navigation bar includes 'BizBox Server' and 'ユーザー: root (管理者)'. On the left, there's a sidebar with links like 'ファイル管理', 'グループウェア', 'ユーザー管理', etc. The main area displays a folder structure: '現在のフォルダ情報' (Current Folder Information) showing '権限: 編集可能', 'パス: ドライブ > work', and '内容: フォルダ数 0 ファイル数 2 合計サイズ: 7.91 KB 全体の空き容量 1,833.56 GB'. Below this are several buttons: '削除', '選択した対象を移動' (highlighted with a red box), '選択した対象をコピー', '選択した対象の名前を変更', '名前変更', 'フォルダの新規作成', '作成', and 'ファイルのアップロード' with a 'アップロードする' button. At the bottom, a list shows a file 'テストデータ.txt' with a checked checkbox. The URL bar at the bottom indicates the current path: 'ドライブ > work'.

移動先選択画面にて、移動先をラジオボタンで選択します。(+をクリックするとサブフォルダが展開されます)

This screenshot shows the 'Move' selection dialog. It has a title '対象の移動' and a sub-section '対象の移動'. It displays the source information: '対象が置かれているフォルダのパス: ドライブ/work' and '移動するファイル: テストデータ.txt'. The '移動先の選択' section shows a tree view of destination paths: 'aaa' (selected with a red box), 'bbb', 'ccc', 'test', and 'work'. At the bottom is a large blue '移動する' button.

※移動先に同名のファイル・フォルダがある場合は、上書きせず当該ファイル・フォルダのみスキップされます

(6)選択した対象フォルダ又はファイルのコピー

コピーしたいファイルやフォルダの選択にチェックを入れ、[コピーする]をクリックします。

The screenshot shows the BizBox Server interface with the following details:

- Header:** NTT BizBox Server ユーザー: root (管理者)
- Left Sidebar:** ファイル管理, グループウェア, ユーザー管理, システム情報, システム設定, 保守関連, ログアウト
- Central Area:**
 - 現在のフォルダ情報: パス: ドライブ > work, 権限: 編集可能, 内容: フォルダ数 0 ファイル数 2 合計サイズ: 7.91 KB 全体の空き容量 1,833.56 GB
 - 操作按钮: 削除, 移動, コピー (highlighted with a red box), 名前変更, 作成
 - メッセージ: ファイルを選択 選択されていません
 - アップロードボタン: アップロードする
 - リスト表示: ドライブ > work (会議資料.docx)

コピー先選択画面にて、コピー先をラジオボタンで選択します。（+をクリックするとサブフォルダが展開されます）ファイルやフォルダを1つだけ選択した場合には名前の変更も同時に行えます。

名前を変更してコピーする場合は、「名前を変更してコピーする」にチェックを入れ、新しい名前を入力します。

[コピーする]をクリックするとコピーが実行されます。

The screenshot shows the 'Copy Object' dialog with the following details:

- Header:** NTT BizBox Server ユーザー: root (管理者)
- Left Sidebar:** ファイル管理, グループウェア, ユーザー管理, システム情報, システム設定, 保守関連, ログアウト
- Central Area:**
 - 対象のコピー**
 - 対象のコピー** (コピーリンク)
 - コピー元の情報**: <対象が置かれているフォルダのパス> ドライブ/work
 - コピーするファイル**: 会議資料.docx
 - 名前の変更**: : 名前を変更してコピーする (highlighted with a red box), メッセージ: ※名前を変更してコピーする場合に入力
 - コピー先の選択**: フォルダ構造 (aaa, bbb, ccc, test, work) 中の bbb が選択されている (highlighted with a red box)
 - 操作按钮: コピーする (highlighted with a red box)**

※コピー先に同名ファイル・フォルダがある場合は、上書きせず当該ファイル・フォルダのみスキップされます

(7)選択した対象の名前を変更

名前を変更したいファイルを選択し、[選択した対象の名前を変更]に入力し、[名前変更]をクリックします。

The screenshot shows the BizBox Server interface with the following details:

- Top Bar:** NTT logo, BizBox Server, User: root (管理者)
- Left Sidebar:** ファイル管理, グループウェア, ユーザー管理, システム情報, システム設定, 保守関連, ログアウト
- Main Area:**
 - 現在のフォルダ情報: パス: ドライブ > work, 内容: フォルダ数 0, ファイル数 2, 合計サイズ: 7.91 KB, 全体の空き容量: 1,833.56 GB
 - 操作按钮: 削除, 移動, コピー, 名前変更 (highlighted with a red box)
 - 新規作成: フォルダの新規作成 (会議資料), 作成
 - 検索: ファイルを検索 [選択されていません]
 - アップロード: ファイルのアップロード (アップロードする)
- Bottom Area:** ドライブ > work フォルダリスト (会議資料.docx selected)

(8) フォルダを作成する

新しく作成したい名前を [フォルダの新規作成] に入力し、[作成] をクリックします。

※ここでは例として“work”フォルダを作成しています。

The screenshot shows the BizBox Server interface with the following details:

- Top Bar:** NTT logo, BizBox Server, User: root
- Left Sidebar:** ファイル管理, グループウェア, ユーザー管理, システム情報, システム設定, 保守関連, ログアウト
- Main Area:**
 - 現在のフォルダ情報: パス: ドライブ, 内容: フォルダ数 4, ファイル数 0, 全体の空き容量: 11,089.67 GB
 - 操作按钮: 削除, コピー, 名前変更 (highlighted with a red box)
 - 新規作成: フォルダの新規作成 (work), 作成 (highlighted with a red box)
- Bottom Area:** ドライブ フォルダリスト (aaa, bbb, snapshot, test)

(9) フォルダ内にフォルダを作成する

前項目で作成した“work”フォルダ内に“user”フォルダを作成します。

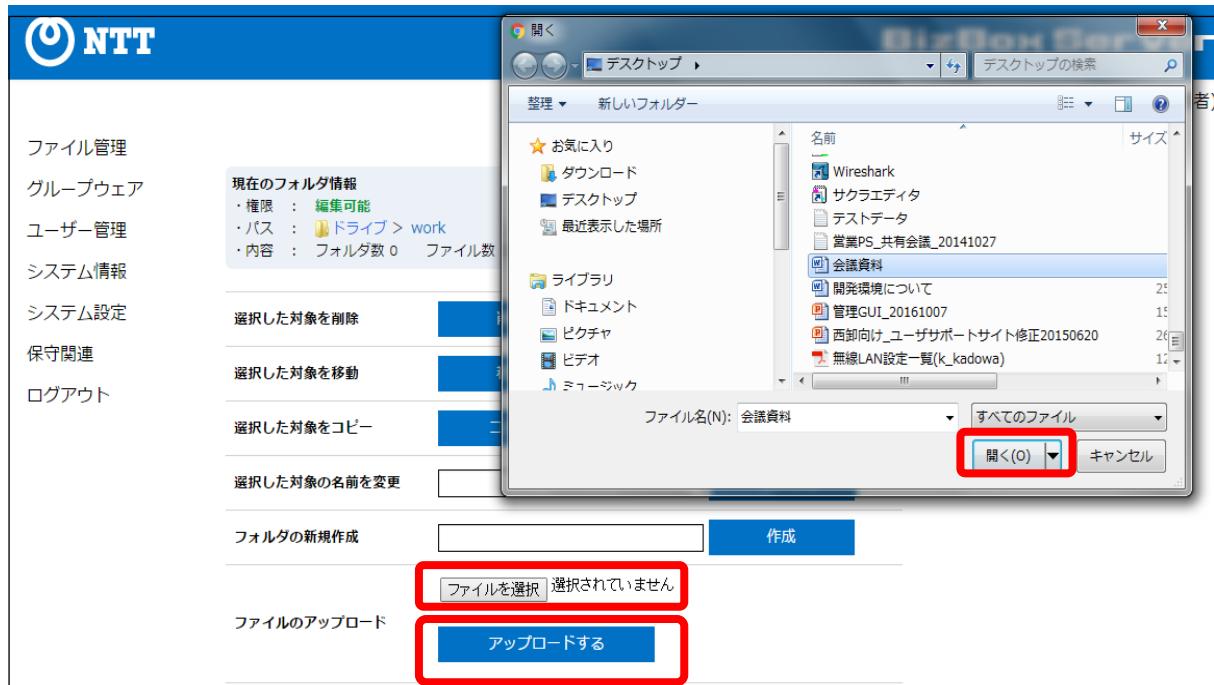
[パス：ドライブ>work] であることを確認し、[フォルダの新規作成] にてご希望のフォルダ名を入力し [作成] ボタンをクリックすることでフォルダを作成します。

※ここでは例として“user”フォルダを作成しています。

The screenshot shows the BizBox Server File Management interface. On the left, there is a sidebar with links: ファイル管理, グループウェア, ユーザー管理, システム情報, システム設定, 保守関連, and ログアウト. The main area is titled "ファイル管理". At the top right, it says "ユーザー: root".
The central part of the screen displays the current folder path: "現在のフォルダ: ドライブ > work". Below this, there are several buttons: "削除", "移動", and "コピー". There is also a "名前変更" (Rename) button. A red box highlights the "名前変更" button and the input field where "user" has been typed.
Below these buttons, there is a section for creating a new folder: "フォルダの新規作成" with an input field containing "user" and a "作成" (Create) button. This entire section is also highlighted with a red box.
At the bottom of the main area, there is a table header for a file list: "ドライブ > work", followed by columns for "選択", "名前", "サイズ", "最終更新日時", and "DL". The table body is currently empty, showing the message "フォルダが空、もしくは、閲覧可能な内容がありません。".

(10) ファイルのアップロード

ファイルのアップロードの [参照] (ファイルを選択) をクリックし、アップロードしたいファイルを選択し、[アップロード] をクリックします。



(11) ファイルのダウンロード (DL)

ダウンロードしたいファイルの [DL] アイコンをクリックします。



※ブラウザから直接ファイルを開き編集することはできませんので、ダウンロードしてから操作をしてください。

(12)ソート

ソートしたい項目をクリックします。

The screenshot shows the BizBox Server interface for file management. On the left, there's a sidebar with links: ファイル管理, グループウェア, ユーザー管理, システム情報, システム設定, 保守関連, and ログアウト. The main area has a blue header bar with the NTT logo and "BizBox Server" text, and a user status "ユーザー: root (管理者)". Below the header, there's a summary box for the current folder: 権限: 編集可能, パス: ドライブ > work, 内容: フォルダ数 0, ファイル数 2, 合計サイズ: 7.91 KB, 全体の空き容量: 1,833.56 GB. There are several buttons for actions like 削除 (Delete), 移動 (Move), コピー (Copy), 名前変更 (Rename), and 作成 (Create). A "ファイルを選択" (Select file) button is present. Below these controls, a list of files is shown in a table format:

選択	名前	サイズ	最終更新日時	D L
<input type="checkbox"/>	会議資料.docx	3.91 KB	2016-10-08 11:06:07	
<input type="checkbox"/>	テストデータ.txt	3.91 KB	2016-10-08 11:06:26	

Three columns in the table header ("名前", "サイズ", and "最終更新日時") are highlighted with red boxes, indicating they are sortables.

3-4. ユーザー管理

機能	権限別の利用可否	
	管理者	一般ユーザー
ユーザーの追加	○	×
ユーザー情報の変更	○	権限範囲内
ユーザーの削除	○	×
アクセス権限の変更	○	×
ゲスト用フォルダ	○	×

(1) ユーザーの追加（個別に追加）

画面左のメニューより [ユーザー管理] > [ユーザーの追加] をクリックします。

NTT BizBox Server

ユーザー: root

ユーザーの追加

個別に追加

ユーザーの追加	ユーザーID	[]
ユーザー情報の変更	パスワード *	[]
ユーザーの削除	パスワード（確認） *	[]
アクセス権限の変更	外部からの接続許可	<input checked="" type="radio"/> OFF
ゲスト用フォルダ	表示名	[]
システム情報	よみがな（ひらがなのみ）	[]
システム設定	ユーザーを追加する	
保守関連		
ログアウト		

CSVファイルによる追加

[]

CSVから追加する

設定する内容は以下のとおりです。

項目名	説明
ユーザーID	半角英数文字と一部記号（_ - . \$）で32文字以内で指定します。
パスワード	半角英数文字と記号で32文字以内で指定します。
パスワード（確認）	確認のため、上と同じパスワードを入力します。
外部からの接続許可	リモートアクセス機能を利用したリモートアクセスを許可するかを指定します。許可する場合、パスワードは大文字、小文字、数字、記号の内3つ以上を使用し、8文字以上で指定する必要があります。
表示名	グループウェアで使用される名前です。
よみがな（ひらがなのみ）	グループウェアの表示される並び順に利用されます。

各項目の入力内容に誤りがないことを確認後、[ユーザーを追加する] をクリックします。

⚠️ ユーザー追加処理に時間がかかる場合があります。

The screenshot shows the BizBox Server interface for adding a new user. On the left, there's a sidebar with navigation links like 'ファイル管理', 'グループウェア', 'ユーザー管理', etc. The main area is titled 'ユーザーの追加' (User Addition). It has a section for '個別に追加' (Add individually) with fields for 'ユーザーID', 'パスワード' (with a required asterisk), 'パスワード（確認）' (with a required asterisk), '外部からの接続許可' (with a 'OFF' switch), '表示名', and 'よみがな（ひらがなのみ）'. At the bottom left of this section, a blue button labeled 'ユーザーを追加する' (Add User) is highlighted with a red rectangle. Below this, there's another section for 'CSVファイルによる追加' (Add via CSV file) with a '参照...' (Browse...) button and a 'CSVから追加する' (Add from CSV) button.

(2) ユーザーの追加 (CSV ファイルによる追加)

CSV ファイルによる追加とは、追加するユーザー情報記載した CSV ファイルを読み込ませることで、一括でユーザー作成を行える機能です。

追加するユーザー情報を記載した CSV ファイルを作成します。CSV 形式で、1 行ごとに以下の情報を記載します。

A 列	B 列	C 列	D 列	E 列
ユーザーID	パスワード	外部からの接続許可 (許可 : y、拒否 : n)	表示名	よみがな (ひらがなのみ)

⚠️ すべての項目が必須項目です

画面を下にスクロールし、[CSV ファイルによる追加] 項目の [参照] をクリックし、追加するユーザー情報を記載した CSV ファイルを選択し、[CSV から追加する] ボタンをクリックします。

⚠️ ユーザー追加処理に時間がかかる場合があります。

The screenshot shows the BizBox Server user management interface. On the left, there's a sidebar with various menu items like 'File Management', 'Groupware', 'User Management', etc. The main area has a form titled 'Add User'. It includes fields for 'User ID', 'Password' (with a confirmation field), 'External connection permission' (a switch set to 'OFF'), 'Display name', and 'Kotoba (Hiragana only)'. At the bottom of the form, there's a section titled 'CSV file addition' with a 'Browse...' button and a 'CSV add' button. A red box highlights this 'CSV file addition' section.

(3) ユーザー情報の変更

画面左のメニューより [ユーザー管理] > [ユーザー情報の変更] をクリックします。

変更したいユーザーを選択し、[ユーザー情報を変更する] をクリックします。

The screenshot shows the BizBox Server interface. At the top right, it says "ユーザー: root". On the left, there's a vertical menu with options like ファイル管理, グループウェア, ユーザー管理, etc. The "ユーザー情報の変更" option is highlighted with a red box. In the center, there's a form titled "ユーザー情報の変更" with a dropdown menu showing "test : test" and a blue button labeled "ユーザー情報を変更する". A red box also surrounds this central area.

⚠ 「一般ユーザー」権限では、本選択画面は表示されず、自身の情報のみ可能です

パスワードを変更する場合は [パスワードも変更] のチェックボックスにチェックを入れます。

変更したい内容を入力後、各項目の入力内容に誤りがないことを確認し、[設定変更] をクリックします。

The screenshot shows the BizBox Server interface. At the top right, it says "ユーザー: root". On the left, there's a vertical menu with options like ファイル管理, グループウェア, ユーザー管理, etc. The "ユーザー情報の変更" option is highlighted with a red box. In the center, there's a form titled "ユーザー情報の変更" with various input fields. A large red box surrounds the entire input section. The fields include "ユーザーID" (test), "パスワード" (password field with a checkbox for "パスワードも変更"), "パスワード（確認）" (password confirmation field), "外部からの接続許可" (checkbox for "OFF"), "表示名" (display name field with "test"), and "よみがな（ひらがなのみ）" (kanji name field with "てすと"). At the bottom, there's a blue button labeled "設定変更".

(4) ユーザーの削除

画面左のメニューより [ユーザー管理] > [ユーザーの削除] をクリックします。

削除したいユーザーを選択し、[ユーザーを削除する] をクリックします。

確認メッセージが出ますので、確認後 [OK] をクリックします。



⚠ 「管理者 (root)」権限でのみ利用可能です。

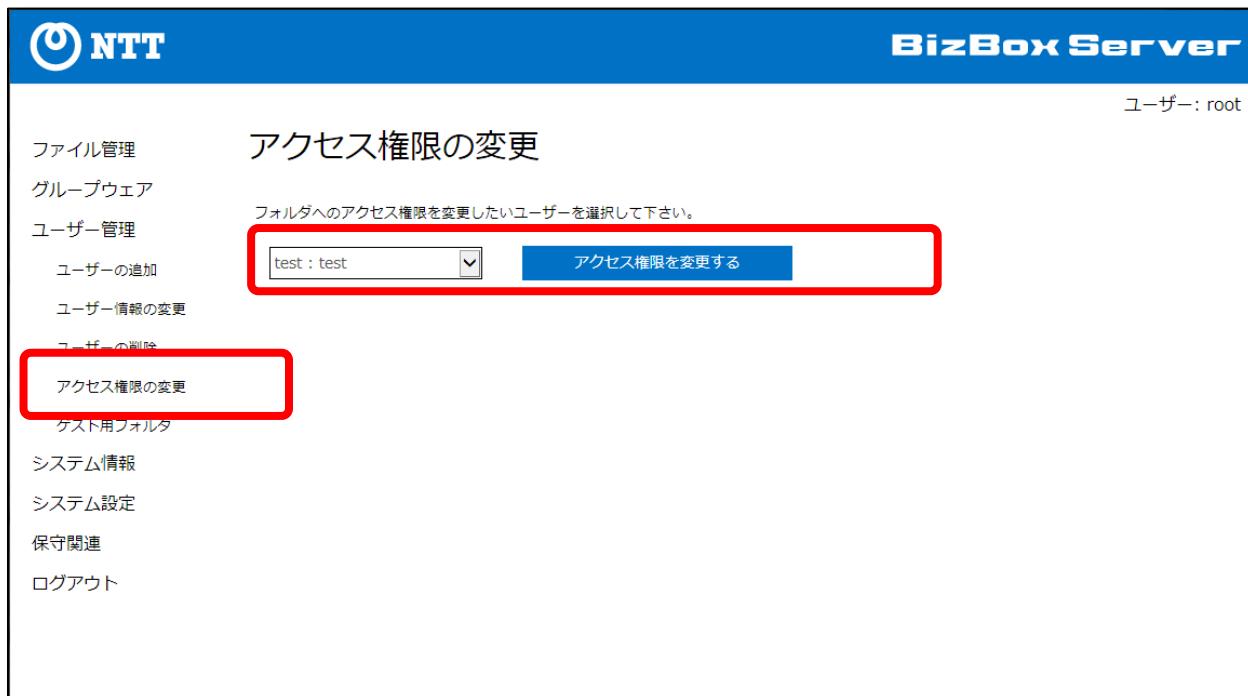
⚠ 「管理者 (root)」は削除できません。

(5) アクセス権限の変更

画面左のメニューより【ユーザー管理】>【アクセス権限を変更】をクリックします。

変更したいユーザーを選択し、【アクセス権限を変更する】をクリックします。

※ここでは例として「ユーザー」対象は“test”です。



【閲覧不可/通常フォルダ/編集可能】の中からチェックし、【設定変更】ボタンをクリックします。



(6) ゲスト用フォルダを指定する

本機にアクセスできるすべてのユーザーがアクセスできるフォルダを指定します。

画面左のメニューより [ユーザー管理] > [ゲスト用フォルダ] を開きます。

[ゲスト用フォルダの設定] からゲスト用フォルダにしたいフォルダにチェック付け、[設定変更] ボタンをクリックします。(複数の場合は、すべてにチェックします。)

※ここでは例として“test”フォルダを指定しています。



3-5. グループウェア

「グループウェア」機能は、予定表・伝言メモ・掲示板・住所録の情報共有を行う機能です。 本項は、Biz Box Server「OS」のグループウェアの操作方法を記載しています。	権限別の利用可否
	管理者 <input type="radio"/> 一般 <input type="radio"/>
	○ ○

画面左メニューから[グループウェア]をクリックします。

グループウェアで利用可能な機能は以下のとおりです。

項目名	説明
初期設定	ユーザー毎の予定表の開始曜日・開始時間の設定を変更できます。
ログアウト	Biz Box Server「OS」からログアウトできます。
HOME	本日の予定・伝言メモ・掲示板の新着情報の一覧が表示されます。
予定表	自分の予定と他のユーザーの予定が表示されます。
伝言メモ	相手にメッセージを残せます。
掲示板	連絡事項やアンケートなどを、全ユーザー向けに書き込むことができます。ファイル添付も可能です。
住所録	電話番号やメールアドレスなど顧客情報の登録ができます。

(1)HOME（初期画面）

HOME画面では、本日の予定、伝言メモ、掲示板の新着情報の一覧が確認できます。

未読は赤文字で表示されます。青帯内に未読件数が表示されます。

The screenshot shows the BizBox Server Home page for user user01 (USER01). The top navigation bar includes links for HOME (highlighted with a red box), Schedule, Message, Bulletin Board, Address Book, and Settings. The main content area is divided into three sections: 'Today's Schedule' (本日の予定), 'Message' (伝言メモ), and 'Bulletin Board' (掲示板).

Today's Schedule (本日の予定): Displays scheduled events for October 8, 2016, Saturday.

Time	Event Description	User
13:00 ~ 14:00	社内会議 施工取り付けについて	USER01
16:00 ~ 18:00	客先訪問 訪問先 XXX-XXXX-XXXX	USER01

Message (伝言メモ): Shows message notifications and a list of messages sent by the administrator.

Subject	From	Date
議事録の送付	管理者	2016年10月08日 (土) 11:20
議事録送付	管理者	2016年10月08日 (土) 11:18

Bulletin Board (掲示板): Shows a single announcement from the administrator.

Subject	From	Date
会議の開催	管理者	2016年10月08日 (土) 11:28

本日の予定の時刻をクリックすると、予定の詳細が参照できます。

伝言メモの題名をクリックすると、伝言メモの詳細が参照できます。

掲示板の題名をクリックすると、掲示板の詳細が参照できます。

(2) 予定表

[予定表] をクリックすると今月の予定の一覧が表示されます。

※開始曜日は、初期設定で変更できます

本日の日付は緑色で表示されます。予定にマウスを重ねると、予定の詳細が表示されます。

The screenshot shows the BizBox Server interface with the NTT logo at the top left and the title 'BizBox Server' at the top right. The user is logged in as 'user01 (USER01)'. The main menu includes 'HOME', '予定表' (which is highlighted with a red box), '伝言メモ', '掲示板', '住所録', and '設定'. Below the menu, there are buttons for '前の月' (Previous Month), '今月' (This Month), and '次の月' (Next Month). A button '他のユーザーの予定' (Other User's Schedule) is also present. The date '2016年 10月' is centered above a 6x7 grid representing the month. The grid columns are labeled '週' (Week), '月' (Month), '火' (Tuesday), '水' (Wednesday), '木' (Thursday), '金' (Friday), and '日' (Saturday). The days of the week are numbered from 26 to 31. A tooltip is shown over the Friday cell (day 29) for October 8, 2016, containing the text '施工取り付けについて' and '2016年10月8日(土) 13:00'. The Saturday cell (day 30) contains three overlapping event boxes: '9:00 工事対応' (Worksite Response), '13:00 社内会議' (In-house Meeting), and '16:00 客先訪問' (Customer Visit). The Sunday cell (day 31) is highlighted in green.

[前の月] をクリックすると前月の予定一覧が表示されます。

[今月] をクリックすると今月の予定一覧に戻ります。

[次の月] をクリックすると来月の予定一覧が表示されます。

[このページの先頭に戻る] をクリックするとページ先頭に戻ります。

予定をクリックすると、予定の詳細が表示され、削除や変更の操作ができます。

他のユーザーの予定も操作できますが、非公開に設定された予定は操作できません。

予定表

2016年10月07日(金) 15:00 ~ 2016年10月07日(金) 16:00

ユーザー
全選択 選択解除

使用設備
全選択 選択解除

タイトル
議事録確認

コメント
コメント

非公開 イベント色 赤

キャンセル 保存

[ほかのユーザーの予定] をクリックするとユーザー選択ポップアップが表示されます。

参照したいユーザーにチェックを入れて、[決定] をクリックすると、自分の予定の下に表示されます。

[すべて選択] をクリックすると、全てのユーザーにチェックが入ります。

[すべて選択解除] をクリックすると、全てのユーザーのチェックが外れます。

予定表

前の月 今月 次の月

TEST
USER01
user02

他のユーザーの予定を表示

2016年 10月

週	月	火	水	木	金	土	日
39		26	27	28	29	30	1
40		3	4	5	6	7	8
41		10	11	12	13	14	15
42		17	18	19	20	21	22

ユーザーを選択後、[決定] をクリックすると、指定したユーザーの予定表が自身の予定表の下に表示されます。

NTT **BizBox Server**

ユーザー: root (管理者)

ファイル管理 グループウェア 予定表 伝言メモ 揃示板 住所録 設定

2016年 10月 管理者

週	月	火	水	木	金	土	日
39	26	27	28	29	30	1	2
40	3	4	5	6	7	8	9
41	10	11	12	13	14	15	16
42	17	18	19	20	21	22	23
43	24	25	26	27	28	29	30
44	31	1	2	3	4	5	6

予定表

伝言メモ
掲示板
住所録
設定
ユーザー管理
システム情報
システム設定
保守関連
ログアウト

2016年 10月 user02

週	月	火	水	木	金	土	日
39	26	27	28	29	30	1	2
40	3	4	5	6	7	8	9
41	10	11	12	13	14	15	16

①週表示

月次カレンダーの1週～5週をクリックすると対象の週が表示されます。

複数の予定が同一の時間に重なった場合は、重なって表示されます。

初期表示は、9:00から12時間の表示です。※開始曜日、及び、開始時間は、初期設定で変更できます

本日の日付は緑色で表示されています。

予定にマウスを重ねると、予定の詳細が表示されます。

The screenshot shows a weekly calendar view from October 3 to 9, 2016. The grid has days of the week as columns (3(月) to 9(日)) and hours as rows (9:00 to 20:00). Several events are scheduled, represented by colored boxes:

- A black box for "工事対応" (Maintenance Work) from 9:00 to 13:00 on October 7.
- A red box for "社内会議" (Intra-company Meeting) from 13:00 to 14:00 on October 7.
- A red box for "客先訪問" (Customer Visit) from 16:00 to 18:00 on October 7.

On the right side of the interface, there is a section for "他のユーザーの予定" (Other User's Schedule) for "USER01".

[前の週] をクリックすると先週の予定一覧が表示されます。

[今週] をクリックすると今週の予定一覧に戻ります。

[次の週] をクリックすると来週の予定一覧が表示されます。

[このページの先頭に戻る] をクリックするとページ先頭に戻ります。

②新規入力

予定表から日付をクリックすると新規の予定が入力できます。

設定する内容は以下のとおりです。

項目名	説明
日付	新規に登録する予定の日を指定します。予定は翌年の 12 月 31 日まで入力が可能です。 過ぎた年に予定を追加したい場合は、"前の月"で戻って入力します。
タイトル	全角 128 文字まで入力できます。 月画面で表示されるのは半角で約 10 文字、週画面で表示できるのは、半角で約 5 文字です。
非公開	チェックを入れると自分と登録したユーザー以外からは予定の閲覧・変更・削除ができません。 ただし、その時間に予定があることはわかります。
文字色	月画面・週画面での文字の色を指定できます。
ユーザー	作成した予定を入れるユーザーを選択します。 初期値では、ログイン中のユーザーのみ選択されています。
使用設備	使用する設備を選択します。(*"グループウェア設定"機能から設備を作成しておく必要があります)
コメント	予定に対する任意のコメントを入力できます。

(3)伝言メモ

[伝言メモ] をクリックすると伝言メモ【受信】が表示されます。

伝言メモには題名、送信者、送信日時が表示され、未読は赤字で表示されます。

伝言メモ

題名	差出人	日付
議事録の送付	管理者	2016年10月08日 (土) 11:20
議事録送付	管理者	2016年10月08日 (土) 11:18

題名をクリックすると、伝言メモの詳細が下部に表示されます。

議事録の送付

管理者
2016年10月08日 (土) 11:20
1217_議事録.txt

添付ファイルを削除 削除

添付ファイル ファイルを選択 選択されていません

コメント > 議事録を送付します。

送信

[受信] [送信] をクリックすると、受信一覧と送信一覧の表示を切り替えることができます。

伝言メモの詳細画面にて、伝言メモに返信することができます。

返信する際は [送信] ボタンをクリックします。

① 伝言メモ作成

[新規作成] をクリックすると、伝言メモの作成画面が表示されます。

The screenshot shows the BizBox Server interface with a blue header bar. On the left, there's a sidebar with various management links like 'ファイル管理', 'グループウェア', and 'ログアウト'. The main content area has a blue title bar '伝言メモ'. Below it, there are two buttons: '受信' and '送信'. The '送信' button is highlighted with a red box. The form fields include:

- 題名: 議事録の送付
- 宛先:
 - 全選択
 - 選択解除リストに '管理者', 'TEST', 'USER01' が表示されている。
- 添付ファイル: ファイルを選択 | 1217_議事録.txt
- コメント: 議事録を送付します。

設定する内容は以下のとおりです。

項目名	説明
題名	伝言メモのタイトルを入力します。
宛先	伝言メモの宛先を入力します。 “宛先選択”をクリックして、宛先を選択します。 宛先は複数選択可能です。
添付ファイル	伝言メモに添付するファイルを指定できます。 “参照”ボタンをクリックして、添付するファイルを選択します。
コメント	伝言メモ内容を入力します。
送信	伝言メモを送信します。 ※宛先が選択されていないと送信はできません

(4)掲示板

[掲示板] をクリックすると掲示板ページが表示されます。

The screenshot shows the BizBox Server dashboard. At the top, there is a blue header bar with the NTT logo on the left and 'BizBox Server' on the right. Below the header, the user is identified as 'ユーザー: user01 (USER01)'. The main menu has several items: ファイル管理, グループウェア, 予定表, 伝言メモ, **掲示板**, 住所録, and 設定. The '掲示板' item is highlighted with a red square box. Below the menu, a sub-menu for '掲示板' shows a count of 0. The main content area displays a single bulletin titled '会議の開催' (Meeting scheduled) by '管理者' on '2016年10月08日 (土) 11:28'. A blue button labeled '新規作成' (New creation) is visible on the right. At the bottom right, there is a link 'このページの先頭に戻る' (Return to the top of this page).

題名をクリックすると、掲示板の詳細が表示されます。

This screenshot shows the detailed view of the bulletin titled '会議の開催' (Meeting scheduled). The post is from '管理者' on '2016年10月08日 (土) 11:28'. The content of the post is '10/XX XXX会議室にて会議を開催します。' (A meeting will be held in room XXX on 10/XX). There is a link '会議資料.docx' (Meeting material.docx) and a button '添付ファイルを削除' (Delete attached file). On the right side, there is a blue button '返信' (Reply) and a link 'このページの先頭に戻る' (Return to the top of this page). The entire content area is enclosed in a large red box.

① 新規作成

[新規作成] をクリックすると、掲示板の新規投稿画面が表示されます。



The screenshot shows the BizBox Server home page. At the top right, it says "ユーザー: user01 (USER01)". Below the header, there's a navigation bar with links: HOME, 予定表, 伝言メモ, **掲示板**, 住所録, 設定. On the left, a sidebar lists: ファイル管理, グループウェア, 予定表, 伝言メモ, **掲示板**, 住所録, 設定, ユーザー情報の変更, システム情報, ログアウト. In the center, there's a summary card for a post: 題名: 会議の開催, 差出人: 管理者, 日付: 2016年10月08日 (土) 11:28. A red box highlights the blue "新規作成" (New Creation) button at the bottom right.



The screenshot shows the "新規議題登録" (New Topic Registration) form. It has a red border around the main input area. The form fields include: 題名: 会議の開催, 添付ファイル: ファイルを選択 (会議資料.docx), コメント: 10/XX XXX会議室にて会議を開催します。 At the bottom right are two buttons: 中止 (Cancel) and 送信 (Send). Below the form, a link says "このページの先頭に戻る" (Return to the top of this page).

設定する内容は以下のとおりです。

項目名	説明
題名	新規掲示板のタイトルを入力します。
添付ファイル	掲示板に添付するファイルを指定できます。 “参照”ボタンをクリックして、添付するファイルを選択します。
コメント	掲示板に関するコメントを入力します。
中止	掲示板の作成を中止します。
送信	新規掲示板を投稿します。

② 掲示板の返信

掲示板の題名をクリックして詳細を表示すると、[返信] のボタンが表示されます。

[返信] をクリックするとページ下部に返信フォームが表示されます。

The screenshot shows two consecutive pages of the BizBox Server application interface.

Top Page (Reply Form):

- Header: NTT BizBox Server, User: user01 (USER01)
- Left Sidebar: ファイル管理, グループウェア, 予定表, 伝言メモ, **掲示板**, 住所録, 設定, ユーザー情報の変更, システム情報, ログアウト.
- Top Bar: HOME, 予定表, 伝言メモ, **掲示板**, 住所録, 設定.
- Section: **掲示板 0**
- Table: 会議の開催 (Meeting Schedule)

題名	差出人	日付
会議の開催	管理者	2016年10月08日 (土) 11:28
- Buttons: 新規作成, **返信** (highlighted with a red box).
- Text: このページの先頭に戻る.

Bottom Page (Reply Content):

- Header: NTT BizBox Server, User: user01 (USER01)
- Left Sidebar: 同上.
- Top Bar: 同上.
- Section: **新規議題登録**
- Table: 会議の開催 (Meeting Schedule)

管理者	10/XX XXX会議室にて会議を開催します。
2016年10月08日 (土) 11:28	
会議資料.docx	
- Buttons: **返信** (highlighted with a red box), 添付ファイルを削除.
- Form: 添付ファイル (File Attachment) - ファイルを選択 [選択されていません], ファイル削除 icon.
- Form: コメント (Comment) - 参加致します.
- Buttons: 中止, **送信**.
- Text: このページの先頭に戻る.

設定する内容は以下のとおりです。

項目名	説明
添付ファイル	掲示板への返信に添付するファイルを指定できます。 “参照”ボタンをクリックして、添付するファイルを選択します。
コメント	掲示板への返信に関するコメントを入力します。
中止	掲示板への返信を中止します。
送信	掲示板への返信内容を送信します。

(5)住所録

[住所録] をクリックすると、住所録ページが表示されます。

名前	フリガナ	電話	FAX	メールアドレス
123電●●業 (株)	123デ●キコウギョウ	06-11▲1-2 ▲2	06-33▲3-3▲33	denki@xxxx.co.jp
ア●●商會 (株)	ア●ヒショウカイ	01-8▲6-9▲▲	01-12▲4-56▲8	asahi@xxxx.co.jp
大阪営業所	オオリカエイギョウショウ	06-9▲76-54▲2	06-3▲33-33▲3	ohsaka@ohsaka.xxxx.co.jp
川崎工場	カワサキコウジョウ	02-12▲4-48▲6	02-8▲65-43▲1	kawasaki@xxxx.co.jp
(株) さ●ら商事	サ●ラショウジ	03-7▲▲7-0909	03-78▲7-09 ▲	sakura@sakura.xxxx.co.jp

メールアドレスをクリックすると、メールソフトが起動し新規メール作成画面が表示されます。

[全件表示] をクリックすることで全住所録が表示されます。

[あ] ~ [数] をクリックすると、それぞれの行でソートします。

検索欄に平仮名もしくは片仮名を入力して [検索] ボタンをクリックするとフリガナ検索を行います。

名前をクリックすると、登録してある住所録の詳細が表示されます。

登録内容の修正も本画面から実行できます。

BizBox Server

ユーザー: user01 (USER01)

HOME 予定表 伝言メモ 掲示板 住所録 設定

住所録

名前	フリガナ	電話	FAX	メールアドレス
ア●上商会（株）	ア●ヒショウカイ	01-8▲-9889	01-123▲-5678	asahi@xxxx.co.jp

全件表示 あ か さ た な は ま や ら わ 英 数

絞り込み文字列:

検索 絞り込み解除 読み込み 書き出し 新規作成



BizBox Server

ユーザー: user01 (USER01)

HOME 予定表 伝言メモ 掲示板 住所録 設定

登録ユーザー

root
2016年10月08日 (土)
ア●上商会（株）
ア●ヒショウカイ
01-876▲-89
01-1234-567▲
asahi@xxxx.co.jp
郵便番号
住所1
住所2
住所3
担当
備考
情報1
情報2

削除 更新

このページの先頭に戻る

① 読み込み

読み込み機能とは、グループウェアの住所録の一覧を CSV ファイルから反映させる機能です。

読み込ませるファイルは、CSV 形式で、1 行ごとに以下の情報を記載します。

A 列	B 列	C 列	D 列	E 列	F 列	G 列	H 列	I 列	J 列	K 列	L 列	M 列
名前	フリガナ	電話	FAX	メール	郵便	住所 1	住所 2	住所 3	担当	情報 1	情報 2	備考

※必須 ※必須

[読み込み] をクリックします。

The screenshot shows the BizBox Server interface for managing groupware address books. The top navigation bar includes the NTT logo, the BizBox Server title, and a user status indicator (ユーザー: root (管理者)). On the left, there's a sidebar with links for File Management, Groupware, User Management, System Information, System Settings, Maintenance, and Logout. The main content area has tabs for Home, Schedule, Memo, Bulletin Board, Address Book (which is highlighted with a red box), and Settings. Below the tabs is a sub-header 'Address Book'. The main table displays five entries with columns for Name, Katakana, Phone, Fax, and Email. At the bottom of the table are search and import/export buttons, with the 'Import' button highlighted by a red box.

名前	フリガナ	電話	FAX	メールアドレス
123電●●業 (株)	123電●●キコウギョウ	06-11▲1-2▲2	06-33▲3-3▲33	denki@xxxx.co.jp
ア●●商会 (株)	ア●ヒショウカイ	01-8▲6-9▲▲	01-12▲4-56▲8	asahi@xxxx.co.jp
大阪営業所	オオサカエイギョウショ	06-9▲7-6-54▲2	06-3▲33-33▲3	ohsaka@ohsaka.xxxx.co.jp
川崎工場	カワサキコウジョウ	02-12▲4-48▲6	02-8▲65-43▲1	kawasaki@xxxx.co.jp
(株) さ●ら商事	サ●ラショウジ	03-7▲▲7-0909	03-78▲7-09▲	sakura@sakura.xxxx.co.jp

絞り込み文字列:

検索 絞り込み解除 **読み込み** 書き出し 新規作成

[参照] をクリックし、反映させる CSV ファイルを選択します。

[アップロード] をクリックすることで、読み込みを実行します。

The screenshot shows the BizBox Server application interface. At the top, there is a blue header bar with the NTT logo on the left and the text "BizBox Server" on the right. Below the header, the user is identified as "ユーザー: root (管理者)". On the left side, there is a vertical navigation menu with links: ファイル管理, グループウェア, ユーザー管理, システム情報, システム設定, 保守関連, and ログアウト. The main content area has a title "住所録" (Address Book). Below the title is a table displaying contact information:

名前	フリガナ	電話	FAX	メールアドレス
123電●●業 (株)	123デ●キコウギョウ	06-11▲1-2 ▲2	06-33▲3-3▲33	denki@xxxx.co.jp
ア●●商会 (株)	ア●ヒショウカイ	01-8▲6-9▲▲	01-12▲4-56▲8	asahi@xxxx.co.jp
大阪営業所	オオサカエイギョウショ	06-9▲76-54▲2	06-3▲33-33▲3	ohsaka@ohsaka.xxxx.co.jp
川崎工場	カワサキコウジョウ	02-12▲4-48▲6	02-8▲65-43▲1	kawasaki@xxxx.co.jp
(株) さ●ら商事	サ●ラショウジ	03-7▲7-0909	03-78▲7-09 ▲	sakura@sakura.xxxx.co.jp

Below the table are several search and filter options:

- 金件表示 (Display All)
- あ か さ た な は ま や ら わ 英 数 (Search by character)
- 絞り込み文字列: (Filter string input field)
- 検索 (Search), 絞り込み解除 (Clear Filter), 読み込み (Import), 書き出し (Export), 新規作成 (New)
- メッセージ: ファイルを選択] 選択されていません (File selection not selected)
- 操作按钮: アップロード (Upload)

At the bottom right of the interface, there is a link: このページの先頭に戻る (Return to the top of this page).

② 書き出し

書き出し機能とは、グループウェアの住所録の一覧を CSV ファイルでダウンロードする機能です。

[書き出し] をクリックします。

The screenshot shows the BizBox Server web interface. On the left, there's a sidebar with links like 'ファイル管理', 'グループウェア', 'ユーザー管理', 'システム情報', 'システム設定', '保守関連', and 'ログアウト'. The main area has a blue header bar with 'HOME', '予定表', '伝言メモ', '掲示板', '住所録', and '設定'. Below this is a sub-header '住所録'. The main content area displays a table of address book entries:

名前	フリガナ	電話	FAX	メールアドレス
123電●業(株)	123デ●キコウギョウ	06-11▲1-2 ▲2	06-33▲3-3▲33	denki@xxxx.co.jp
ア●商會(株)	ア●ヒショウカイ	01-8▲6-9▲▲	01-12▲4-56▲8	asahi@xxxx.co.jp
大阪営業所	オオサカエイギョウシヨ	06-9▲76-54▲2	06-3▲33-33▲3	ohsaka@ohsaka.xxxx.co.jp
川崎工場	カワサキコウジョウ	02-12▲4-48▲6	02-8▲65-43▲1	kawasaki@xxxx.co.jp
(株)さ●ら商事	サ●ラショウジ	03-7▲▲7-0909	03-78▲7-09▲	sakura@sakura.xxxx.co.jp

Below the table is a search bar with buttons for '全件表示' and various kanji characters. At the bottom, there are buttons for '検索', '絞り込み解除', '読み込み', '書き出し' (which is highlighted with a red box), and '新規作成'.

書き出した住所録を Microsoft Excel で開き確認することが可能です。

The screenshot shows a Microsoft Excel spreadsheet titled 'OSGW_ADDRESS_20161008114053.csv - Microsoft Excel'. The data is organized into columns:

名前	フリガナ	電話	FAX	メール	郵便番号	住所	住所2	住所3	担当	情報1	情報2	備考
123電●業(株)	123デ●キコウギョウ	06-11▲1-2222	06-▲▲33-3333	denki@xxxx.co.jp	234-9877	大阪市XXXX区XXXX町			電気太郎			
ア●商會(株)	ア●ヒショウカイ	01-87▲▲-9898	01-1234-56▲▲	asahi@xxxx.co.jp								
大阪営業所	オオサカエイギョウシヨ	06-9876-54▲▲	06-33▲▲-3333	ohsaka@ohsaka.xxxx.co.jp								
川崎工場	カワサキコウジョウ	02-1234-▲▲76	02-▲▲65-4321	kawasaki@xxxx.co.jp								
(株)さ●ら商事	サ●ラショウジ	03-▲▲97-0909	03-7897-09▲▲	sakura@sakura.xxxx.co.jp								

③ 新規作成

住所録を新規登録するには、[新規作成] をクリックします。

クリックすると、下部に新規登録フォームが表示されます。

The screenshot shows the BizBox Server interface for new address book entry. The top navigation bar includes links for HOME, 預定表 (Scheduling), 伝言メモ (Message Memo), 提示板 (Bulletin Board), 住所録 (Address Book), and 設定 (Settings). The user is identified as 'ユーザー: root (管理者)'. On the left, a sidebar lists management categories: ファイル管理, グループウェア, ユーザー管理, システム情報, システム設定, 保守関連, and ログアウト. The main content area is titled '登録ユーザー' (New User Registration) and contains fields for: Name (名前) with value '123電(株)', Katakana (フリガナ) with value '123デンキコウギョウ', Telephone (電話) with value '06-1111-▲22', FAX with value '06-33▲-3333', Email Address (メールアドレス) with value 'denki@xxxx.co.jp', Postcode (郵便番号) with value '234-98▲', Address 1 (住所1) with value '大阪市XXXX区XXXX町', Address 2 (住所2), Address 3 (住所3), Responsible Person (担当) with value '電気太郎', Remarks (備考), Information 1 (情報1), and Information 2 (情報2). At the bottom right are '中止' (Cancel) and '登録' (Register) buttons, and a link 'このページの先頭に戻る' (Return to the top of this page).

設定する内容は以下のとおりです。

項目名	説明
名前	住所録に登録する名前を入力します。※必須項目
フリガナ	名前のフリガナを入力します。平仮名入力してもカタカナに自動変換し登録されます。※必須項目
電話	電話番号を入力します。
FAX	FAX 番号を入力します。
メール	メールアドレスを入力します。
郵便	郵便番号を入力します。
住所 1	住所 1 を入力します。
住所 2	住所 2 を入力します。
住所 3	住所 3 を入力します。
担当	担当者名を入力します。
情報 1	情報 1 を入力します。
情報 2	情報 2 を入力します。
備考	上記の他に備考等を入力します。
中止	入力を中止して、入力画面を消すことができます。
登録	登録をクリックすると、入力した情報が登録されます。

(6)設定

[設定]をクリックすると、HOME画面の表示設定を変更することができます。

The screenshot shows the BizBox Server interface. On the left, there is a vertical navigation menu with links: ファイル管理, グループウェア, ユーザー管理, システム情報, システム設定, 保守関連, and ログアウト. The main content area is titled 'Address Book'. At the top of this area, there is a navigation bar with links: HOME, 予定表, 伝言メモ, 揭示板, 住所録, and 設定. The '設定' link is highlighted with a red box. Below the navigation bar is a table listing address book entries. The table has columns: 名前 (Name), フリガナ (Kanji), 電話 (Phone), FAX, and メールアドレス (Email). The entries are: 123電●●業 (株) (123 Denki Co., Ltd.), ア●●商会 (株) (Aichi Kaihatsu Co., Ltd.), 大阪営業所 (Osaka Sales Office), 川崎工場 (Kawasaki Factory), and (株) さ●ら商事 (Sara Shōsha Co., Ltd.). At the bottom of the address book section are search and export buttons: 全件表示 (Show All), 検索 (Search), 紋り込み解除 (Remove Encoding), 読み込み (Import), 書き出し (Export), and 新規作成 (New Creation).



The screenshot shows the BizBox Server interface. On the left, there is a vertical navigation menu with links: ファイル管理, グループウェア, ユーザー管理, システム情報, システム設定, 保守関連, and ログアウト. The main content area is titled 'Initial Setting'. At the top of this area, there is a navigation bar with links: HOME, 予定表, 伝言メモ, 揭示板, 住所録, and 設定. The '設定' link is visible in the navigation bar. Below the navigation bar is a form for setting the number of items per page, with a dropdown menu showing '4'. There is also a '更新' (Update) button. The main content area is titled 'Equipment' and contains a table with columns: 設備名 (Equipment Name) and 表示 (Display). A '新規' (New) button is located at the bottom right of the table.

① 初期設定

HOME 画面に出力する[本日の予定][伝言メモ][掲示板]の出力行数を指定する。

The screenshot shows the 'Initial Settings' page of the BizBox Server. On the left, there is a sidebar with various management links. The main area has a blue header bar with the title 'Initial Settings'. Below it, there is a form with a dropdown menu labeled 'List Row Count' containing the number '4'. A red box highlights this dropdown and the 'Update' button to its right. At the bottom of the page, there is a table with columns 'Equipment Name' and 'Display', and a 'New' button.

② 設備

[新規] をクリックすると下部に新規登録フォームが表示されます。

The screenshot shows the 'Equipment' page of the BizBox Server. The sidebar on the left includes a 'New' button. The main area has a blue header bar with the title 'Initial Settings'. Below it, there is a form with a dropdown menu labeled 'List Row Count' containing the number '3'. A red box highlights this dropdown and the 'Update' button to its right. At the bottom of the page, there is a table with columns 'Equipment Name' and 'Display', and a 'New' button. A red box highlights the 'Equipment Name' input field containing 'A会議室' and the 'Register' button to its right.

設定する内容は以下のとおりです。

項目名	説明
設備名	設定したい設備名を指定。

※一度入力した設備は整合性保持のため消去できません

設備名を入力し、[登録] ボタンをクリックすると登録されます。

変更したい場合は、設備名の対象をクリックすることで登録画面が表示され、変更する事ができます。

The screenshot shows the NTT BizBox Server web interface. At the top, there's a blue header bar with the NTT logo and 'BizBox Server'. Below it, the user is identified as 'ユーザー: root (管理者)'. The main menu on the left includes 'HOME', '予定表', '伝言メモ', '掲示板', '住所録', and '設定'. Under '設定', the '初期設定' (Initial Setup) option is selected. On the right, there's a sidebar with links like 'ファイル管理', 'グループウェア', 'ユーザー管理', 'システム情報', 'システム設定', '保守関連', and 'ログアウト'. The main content area has a '一覧表の行数' (List view row count) set to '3' with a '更新' (Update) button. Below that, under the '設備' tab, there's a table with two rows: 'A会議室' and 'C会議室', each with a checked checkbox next to it. At the bottom, there's a registration form with fields for '設備名' (Equipment Name) containing 'B会議室', a '表示' (Display) switch, a '中止' (Cancel) button, and a prominent blue '登録' (Register) button. A red box highlights the '登録' button.

③ ユーザー初期設定

[更新] をクリックすると、ユーザーの初期設定を変更することができます。



The screenshot shows the BizBox Server user interface. At the top, there's a blue header bar with the NTT logo on the left and 'BizBox Server' on the right. Below it, a white navigation bar includes links for HOME, 予定表 (Schedule), 伝言メモ (Message Memo), 揃示板 (Bulletin Board), 住所録 (Address Book), and 設定 (Settings). On the far right of the navigation bar, it says 'ユーザー: root (管理者)' (User: root (Administrator)). The main content area has a blue header 'ユーザー初期設定' (User Initial Setting). Below it is a form with four input fields: 'ID' (root), '名前' (管理者), '開始曜日' (月曜日), and '開始時間' (10). A red rectangle highlights this entire form area. At the bottom of the form is a blue '更新' (Update) button.

設定する内容は以下のとおりです。

項目名	説明
ID	ログイン中のユーザーIDです。※変更不可です
名前	ログイン中のユーザー名です。※変更不可です
開始曜日	表示される予定の開始曜日を選択します。
開始時間	表示される予定の開始時間を選択します。

[更新] をクリックすると、初期設定が設定されます。

※再ログインすることで反映されます

3 - 6. システム情報

機能	権限別の利用可否	
	管理者	一般
システム情報	○	○
ログ表示	○	×
UTM ログ	○	×
アクセス履歴	○	×

※「アクセス履歴」に関しては Biz BOX Server 「OS」「2」では未提供となります。

画面左メニューの [システム情報] から各種操作が可能です。

(1)システム情報

画面左のメニューより [システム情報] > [システム情報] をクリックします（※ログイン直後も本画面が表示されます）。本画面でサーバー筐体のシステムステータスが確認できます。



確認可能なステータスは以下のとおりです。

項目名	説明
システム ID	ネットワーク設定で指定したシステム ID を表示します。
モデル	機種名を表示します。
MAC アドレス	本機の MAC アドレスを表示します。
システムクロック	システム時刻を表示します。
起動時間	起動してからの時間を表示します。
CPU 使用率	CPU の使用率%を表示します。
メモリ使用率	メモリの使用量を表示します。
ディスク容量	RAID で構成された合計の容量と現在使用している容量と使用率%を表示します。
ディスク状態	RAID 5 モデルの場合、1～4、RAID1 モデルの場合、1～2 までのハードディスクドライブの状態を表示します。異常がある場合は赤字で「異常」と表示されます。
CPU 温度	CPU の 2か所の温度を表示します。
IP アドレス	現在割り当てられている IP アドレスを表示します。
センターとの接続	弊社 SOC システムから疎通が正常に行えているかを表示します。
未送信メール	レポートメール、及び、アラートメールの未送信メール数を表示します。 未送信メールがある場合は赤字で未送信数が表示されます。
製品保障期限	製品の保証期限を表示します。 期限内はクラウドバックアップ、製品のアップデート、故障対応を受けることができます。 ※クラウドバックアップ契約が、「SecurityBOSS ネットワーク・ストレージサービス」の場合、NTTPC へお問い合わせください。 「Server バックアップ」契約の場合は、NTT 西日本へお問い合わせください。
Server サポート	Server サポート契約状態を表示します。契約時に管理 ID が出力されます。
クラウドバックアップ	正しくバックアップ設定されているか、又はクラウドバックアップの状態が表示されます。

サービスの状態	<p>「SecurityBOSS ネットワーク・ストレージサービス」契約の場合： (NSSID、契約容量、状態、最終バックアップ日付) が表示されます。</p> <p>「Server バックアップ」契約の場合： (ログイン ID、契約容量、使用容量、空き容量、最終バックアップ日付) が表示されます。</p>
---------	---

また、ハードディスクに異常が発生している場合、本画面で警告が表示されます。

RAID の状態によって以下の 3 種類の警告が表示されます。

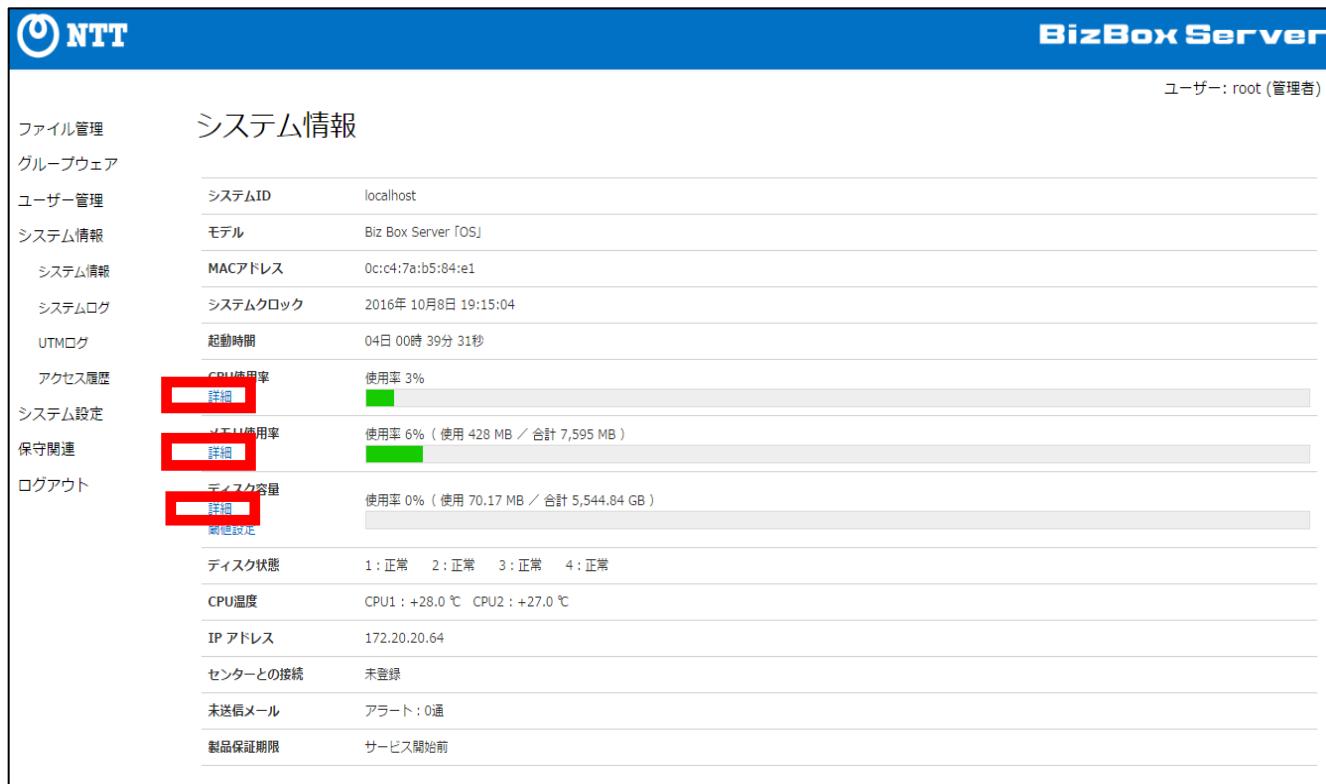
デグレード中	<p>ハードディスクの 1 つが故障した状態です。 復旧するには、NTT 西日本にご連絡ください。 交換しない状態でさらにハードディスクが 1 つ故障するとデータが消失されます。</p>
データ消失中	<p>ハードディスクが 2 つ以上故障した状態です。 復旧するには、NTT 西日本にご連絡ください。 クラウドバックアップでバックアップしたデータのみ復旧可能です。</p>
リビルド中	<p>デグレード中になった後にハードディスクの交換を行い、修復処理をしている状態です。 修復完了までは、Biz Box Server 「OS」への書き込み操作は行えません。 (ファイルの閲覧・ダウンロードは可能です) ※ただし、ホットスワップでの修復時は書き込み可能です。</p>

警告が表示された場合は、画面の指示に従って早急に対処してください。

※詳細は、「8. FAQ」の「8-2. 故障対応」を参照してください。

① 履歴

[システム情報] > CPU 使用率/メモリ使用率/ディスク容量の[履歴]をクリックします。



CPU 使用率/メモリ使用率/ディスク容量の 1 日の履歴がグラフで表示されます。

年月日時を指定し、[グラフの表示] をクリックします。



クリック後、2 時間毎の詳細な履歴が表示されます。



Copyright © 2023 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION

② ディスク容量アラート設定（閾値設定）

[閾値設定] をクリックします。

The screenshot shows the 'System Information' page of the BizBox Server interface. On the left, a sidebar lists navigation options: ファイル管理, グループウェア, ユーザー管理, システム情報, システム情報 (repeated), システムログ, UTMログ, アクセス履歴, システム設定, 保守関連, ログアウト. The main area displays various system metrics with progress bars: System ID (localhost), Model (Biz Box Server [OS]), MAC Address (0:c4:7a:b5:84:e1), Start Time (2016年 10月8日 19:15:04), CPU Usage (3%), Memory Usage (6% / 428 MB of 7,595 MB), Disk Usage (0% / 70.17 MB of 5,544.84 GB). A red box highlights the 'Threshold Setting' link under the disk usage section. The right side of the header shows the user is 'root (管理者)'.

[ディスク容量アラートの閾値 (%)] にアラートを送信したい閾値を入力し、[設定変更] をクリックします。

The screenshot shows the 'Disk Capacity Alert Setting' page. The left sidebar includes: ファイル管理, グループウェア, ユーザー管理, システム情報, システム設定, 保守関連, ログアウト. The main title is 'Disk Capacity Alert Setting'. It features a text input field labeled 'Disk capacity alert threshold (%) [0 ~ 100 specified]' containing '80', which is highlighted with a red box. Below it is a blue button labeled 'Change Settings' also highlighted with a red box. The top right corner shows the user is 'root (管理者)'.

(2)システムログ

画面左のメニューより [システム情報] > [システムログ] をクリックします。

本画面でサーバー筐体のシステムログを確認できます。

プルダウンから表示させたいログを選択し、[ログの表示] をクリックします。

※システムログは2日分が表示されます。アンチウイルスログのみ48時間分の表示となります。

NTT BizBox Server ユーザー: root (管理者)

ファイル管理 グループウェア ユーザー管理 システム情報 システム情報 システムログ UTMログ アクセス履歴 システム設定 保守関連 ログアウト

システムログ

すべてのログのダウソード

すべてのログをダウソードする

ログの表示

表示するログの選択 クラウドバックアップ ログを表示する

「クラウドバックアップ」のログを表示（本日分と前日分）

2016-10-05 18:36:01 info: Checking need to Daily Restart.
2016-10-05 18:36:01 info: Checking need to Daily Restart.
2016-10-05 18:36:01 info: No need to Restart.
2016-10-05 18:36:01 info: No need to Restart.
2016-10-06 18:36:01 info: Checking need to Daily Restart.
2016-10-06 18:36:01 info: Checking need to Daily Restart.
2016-10-06 18:36:01 info: No need to Restart.
2016-10-06 18:36:01 info: No need to Restart.
2016-10-06 18:36:02 info: Checking need to Daily Restart.
2016-10-07 18:36:02 info: Checking need to Daily Restart.
2016-10-07 18:36:02 info: No need to Restart.

確認可能なログの種類は以下のとおりです。

項目名	内容
クラウドバックアップ	センターサーバとのクラウドバックアップの動作ログ
ファイル管理(Web)	管理画面（Web）からのファイル操作の操作ログ
設定変更	管理画面での設定変更の操作ログ
ファイル共有	ファイル共有経由でのファイル操作の操作ログ
アンチウイルス	アンチウイルス機能に関する動作ログ
その他	上記以外のシステム的な動作ログ、及び、エラーログ

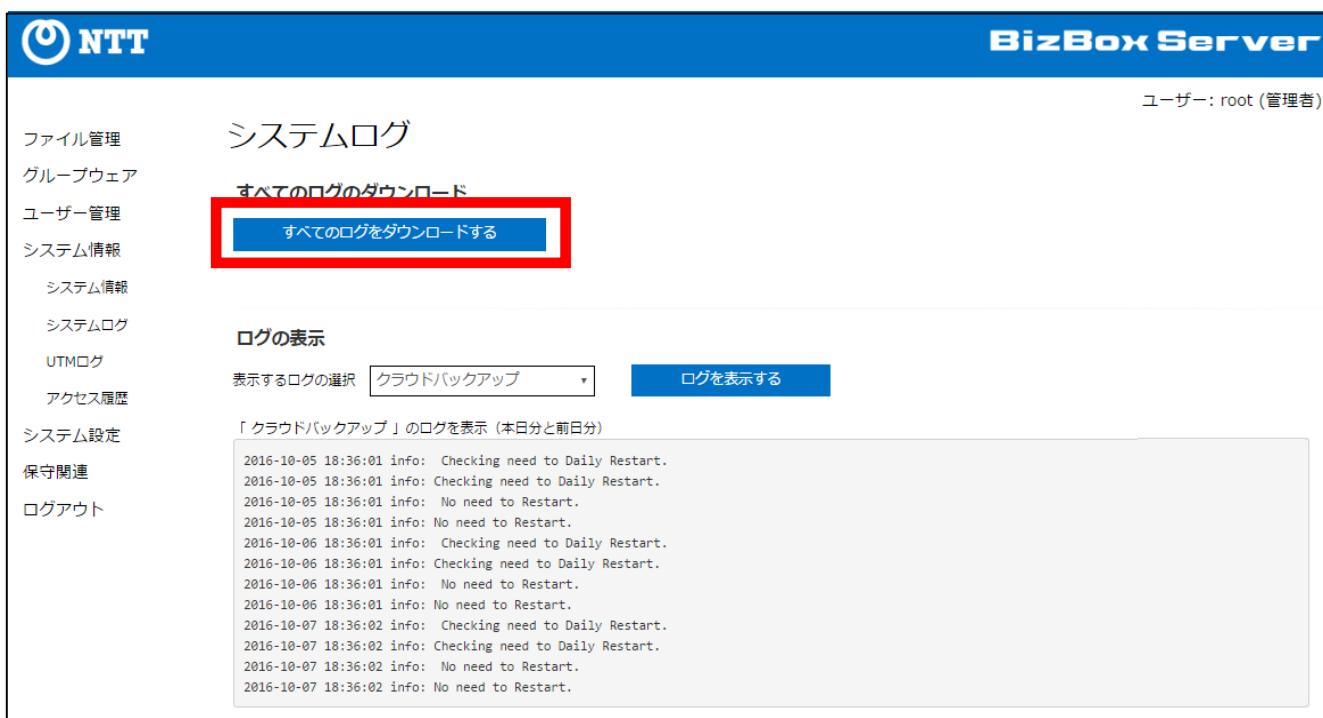
① すべてのログのダウンロード

[システムログ] > [すべてのログのダウンロード] をクリックします。

これまでの全ログをダウンロードすることができます。

※最長 5 年分のログが保存されています。

※tar 形式で圧縮されていますので、適宜、解凍ソフトウェアを使用してください。



The screenshot shows the 'System Log' section of the BizBox Server interface. On the left, there's a sidebar with various management links. The main area has a title 'System Log' and a sub-section 'Log Display'. A prominent blue button labeled 'Download all logs' is highlighted with a red box. Below it, there's a dropdown menu for log type selection and a blue 'Display Log' button. A scrollable log viewer displays several lines of log entries from October 2016.

日付	ログメッセージ
2016-10-05 18:36:01	info: Checking need to Daily Restart.
2016-10-05 18:36:01	info: Checking need to Daily Restart.
2016-10-05 18:36:01	info: No need to Restart.
2016-10-05 18:36:01	info: No need to Restart.
2016-10-06 18:36:01	info: Checking need to Daily Restart.
2016-10-06 18:36:01	info: Checking need to Daily Restart.
2016-10-06 18:36:01	info: No need to Restart.
2016-10-06 18:36:01	info: No need to Restart.
2016-10-07 18:36:02	info: Checking need to Daily Restart.
2016-10-07 18:36:02	info: Checking need to Daily Restart.
2016-10-07 18:36:02	info: No need to Restart.
2016-10-07 18:36:02	info: No need to Restart.

解凍したフォルダ内には、以下のファイルが保存されています。

ファイル名	説明
cloud.log	センターサーバとのクラウドバックアップの動作ログ
web_fctl.log	管理画面（Web）からのファイル操作の操作ログ
set_conf.log	管理画面での設定変更の操作ログ
samba.log	ファイル共有経由でのファイル操作の操作ログ
avs.log	アンチウイルス機能に関する動作ログ
system.log	上記以外のシステム的な動作ログ、及び、エラーログ

ファイル名に付与された数字が大きいほど過去のログです。

(3)UTM ログ

UTM ログとは、連携設定した UTM から取得したシステムログを検索する機能です。

画面左のメニューより [システム情報] > [UTM ログ] をクリックします。

The screenshot shows the BizBox Server interface with the following details:

- Header:** NTT BizBox Server ユーザー: root (管理者)
- Left Menu:** ファイル管理, グループウェア, ユーザー管理, システム情報, システム情報, ミフェルログ, **UTMログ** (highlighted with a red box), アクセス履歴, システム設定, 保守関連, ログアウト.
- Main Title:** UTMログ
- Search Fields:**
 - 送信元: (完全一致, 部分一致)
 - 宛先: (完全一致, 部分一致)
 - 期間:
 - 期間指定 (選択済)
 - 開始日当日で検索

2016	年	9	月	1	日	0	時	0	分から
2016	年	10	月	8	日	17	時	46	分まで
 - ログ種別: Webセキュリティ (選択済)
 - 操作:
 - すべて
 - 許可
 - 拒否(アプリケーションコントロール)
 - 拒否(タイムアウト)
 - 拒否(ウイルス)
 - 拒否(カテゴリフィルタ)
 - 表示件数: 100件ずつ (選択済)
- Buttons:** 検索

検索条件に指定する項目は以下のとおりです。各項目は組み合わせて検索することができます。

項目	説明	
送信元	IP アドレスで検索する場合に指定します。 ※送信元を複数同時に検索することはできません	
宛先	特定文字列 (URL 等) で検索する場合に指定します。 ※複数の特定文字列 (URL 等) を同時に検索することはできません	
期間	期間指定	検索開始日と終了日の年月日時分で検索する場合に指定します。
	開始日当日	指定日のみで検索する場合に指定します。
ログ種別	WEB セキュリティ	WEB セキュリティログのみ表示します。
操作	すべて	条件を指定せずにすべての操作を表示します。
	許可	許可となった操作を表示します。
	拒否 (アプリケーションコントロール)	拒否 (アプリケーションコントロール) の操作を表示します。
	拒否 (タイムアウト)	拒否 (タイムアウト) の操作を表示します。
	拒否 (ウイルス)	拒否 (ウイルス) の操作を表示します。
	拒否 (カテゴリフィルタ)	拒否 (カテゴリフィルタ) の操作を表示します。
表示件数	一度に表示更新する件数を選択します。	

※送信元・宛先においては【完全一致/部分一致】のいずれかを選択できます

※期間においては【期間指定/開始日当日で検索】のいずれかを選択できます

※操作においては【すべて】以外は複数同時選択できます

※表示件数においては【100 件ずつ/60 件ずつ/20 件ずつ】のいずれかを選択できます

検索例

送信元「172. 20. xxx.xxx」のアドレスからのアクセスで、「1月1日～現在まで」の期間、「許可」の操作を行った操作を検索したい場合、以下のとおり入力します。

No	項目	入力内容
1	【送信元】	“送信元”欄に対象の IP アドレスを入力します。 今回は 1 台のみ確認したいので、“完全一致”を選択しています。
2	【期間】	“期間指定”を選択し、1月1日から当日までの範囲で指定します。
3	【操作】	対象を“許可”に絞ります。
4	【表示件数】	“100 件ずつ”を選択します。
5	【検索ボタン】	上記検索条件を指定した後、検索ボタンをクリックすることで画面下に検索結果が表示されます。

The screenshot shows the BizBox Server interface for searching UTM logs. The search parameters are highlighted with red boxes and numbered 1 through 5:

- ① 送信元:** 172.20.20.191 (完全一致 selected)
- ② 期間:** 指定期間 (2016年1月1日0時0分から 2016年10月12日19時3分まで)
- ③ 操作:** 許可 (selected)
- ④ 表示件数:** 100件ずつ
- ⑤ 検索ボタン:** The search button.

検索条件を入力後、検索をクリックすると、条件に応じた結果が表示されます。

NTT BizBox Server ユーザー: root (管理者)

UTMログ

送信元: 172.20.20.191 (完全一致)

宛先: (部分一致)

期間: 2016 年 1 月 1 日 0 時 0 分から
2016 年 10 月 12 日 19 時 3 分まで

ログ種別: Webセキュリティ

操作: 許可 (選択)

表示件数: 100件ずつ

検索

送信元	宛先	日時	ログ種別	操作
172.20.20.191	http://safebrowsing-cache.google.com/safebrowsing/rd/ChVnb29nLWJhZG]pbnVybC1zaGF2YXI4AEACsgwIARD35QYY9-UGIA FKDAgAEM_RBhjPOQYgAQ	2016-07-20 14:08:19	Webセキュリティ	許可
172.20.20.191	http://safebrowsing-cache.google.com/safebrowsing/rd/ChNb29nLW1hbHdhcmUtc2hdmFyOABAkoMCAEQmN4OGJjeDIAB SgwIABD-gQ8Y_oEPIAE	2016-07-20 14:08:19	Webセキュリティ	許可
172.20.20.191	http://safebrowsing-cache.google.com/safebrowsing/rd/ChFnB29nLXBoaXNoLXNoYXZhcgAQAJKDAGBEIfvEBI7xAgAUoMCAA QjtMbG177GyAB	2016-07-20 14:08:19	Webセキュリティ	許可

検索結果の項目一覧は以下のとおりです。

項目	説明
送信元	対象 IP アドレスが表示されます。
宛先	対象 URL が表示されます。
日時	対象の日時が表示されます。
ログ種別	Web セキュリティが表示されます。
操作	どのような操作をしたのか表示されます。(許可、拒否 (ウイルス) など)

指定した表示件数より多く検索結果がある場合、指定した表示件数毎に「次の x 件を表示」のボタンが画面下に表示されます。

続けて次を表示したい場合は“次の x 件を表示”をクリックします。

172.20.20.191	http://safebrowsing-cache.google.com/safebrowsing/rd/ChVnb29nLWJhZGjpbnVybC1zaGF2YXI4AEACsgwIARCl5QYYpeUGIAFKDAgAEPjQBhj50AYgAQ	2016-07-19 03:23:19	Webセキュリティ	許可
172.20.20.191	http://safebrowsing-cache.google.com/safebrowsing/rd/ChNhb29nLW1hbHdhcmUtc2hdmFyOABAk0mCAEQvt0OGL_dDIABSwIABCogQ8YqYEPIAE	2016-07-19 03:23:19	Webセキュリティ	許可
172.20.20.191	http://safebrowsing-cache.google.com/safebrowsing/rd/ChFnB29nLXBoaXNoLXNoYXZhcgjAQAJKDAgBEK3tEBiv7RAgAUoMCAAQINibGJTSGyAB	2016-07-19 03:23:19	Webセキュリティ	許可
172.20.20.191	http://safebrowsing-cache.google.com/safebrowsing/rd/ChFnB29nLXBoaXNoLXNoYXZhcgjAQAJKDAgBEKrtEBis7RAgAUoMCAAQktibGPSPGyAB	2016-07-19 02:52:03	Webセキュリティ	許可
172.20.20.191	http://safebrowsing.clients.google.com/safebrowsing/downloads?client=navclient-auto-ffox&appver=28.0&pver=2.2&key=AIZaSyD-s-mXL4mBzF7KMRkhTCIbG2RKnRGxJc&wrkey=AKEgNis2UBX5CnD0lgw9WQwl1pEMQEGvboPO_07tS2A6o0j155xs9GoKBaW2kRalqjo6m_JJo5COHdhYe2FekaklACJ44XpsA==	2016-07-19 02:52:02	Webセキュリティ	許可
172.20.20.191	http://safebrowsing-cache.google.com/safebrowsing/rd/ChVnb29nLWJhZGjpbnVybC1zaGF2YXI4AEACsgwIARCl5QYYpeUGIAFKDAgAEPjQBhj50AYgAQ	2016-07-19 02:52:02	Webセキュリティ	許可

次の100件を表示する

(4) アクセス履歴

アクセス履歴とは、ファイル共有、ファイル管理（Web）からフォルダやファイルを操作した記録を検索する機能です。※過去5年分が表示可能です

画面左のメニューより [システム情報] > [アクセス履歴] をクリックします。

The screenshot shows the BizBox Server interface with the following details:

- Top Bar:** NTT logo, BizBox Server, User: root (管理者)
- Left Sidebar:** ファイル管理, グループウェア, ユーザー管理, システム情報, システム情報, システムログ, **アクセス履歴** (highlighted with a red box), システム設定, 保守関連, ログアウト.
- Main Content:**
 - Search Fields:** ユーザーID, IPアドレス, フォルダ名/ファイル名 (with note: 完全一致は「/」も含める必要があります).
 - Time Range:** 期間指定 (selected) or 開始日当日で検索, Date range: 2016 年 9 月 1 日 0 時 0 分から to 2016 年 10 月 8 日 18 時 1 分まで.
 - Access Method:** すべて (selected), ファイル共有, ファイル管理(Web).
 - Operations:** A list of checkboxes for various file operations: フォルダ作成, フォルダ移動, フォルダコピー, フォルダコピー＆リネーム, フォルダ削除, ファイルアップロード, ファイルダウンロード, ファイル移動, ファイルコピー, ファイルコピー＆リネーム, ファイル削除. The "すべて" checkbox is selected.
 - Results:** 表示件数 (100件ずつ selected), and a 検索 (Search) button.

検索条件に指定する項目は以下のとおりです。各項目は組み合わせて検索することができます。

項目	説明	
ユーザー名	ユーザ名で検索する場合に指定します。 ※複数ユーザーを同時に検索することはできません	
IP アドレス	IP アドレスで検索する場合に指定します。 ※複数の IP アドレスを同時に検索することはできません	
フォルダ名/ファイル名	フォルダ名/ファイル名で検索する場合に指定します。 ※複数のフォルダ名/ファイル名を同時に検索することはできません	
期間	期間指定	検索開始日と終了日の年月日時分で検索する場合に指定します。
	開始日当日	指定日のみで検索する場合に指定します。
アクセス方法	すべて	ファイル共有・ファイル管理（Web）の両アクセスを表示します。
	ファイル共有	Windows エクスプローラーおよび、MacFinder でのアクセスを表示します。
	ファイル管理（Web）	Web ブラウザ（IE/Firefox/Chrome など）経由のアクセスを表示します。
操作	すべて	条件を指定せずにすべての操作を表示します。
	フォルダ作成	フォルダ作成の操作を表示します。
	フォルダ移動	フォルダ移動の操作を表示します。
	フォルダコピー	フォルダコピーの操作を表示します。
	フォルダコピー & リネーム	フォルダコピーの際、名前を変更しコピーした操作を表示します。
	フォルダ削除	フォルダ削除の操作を表示します。
	ファイルアップロード	ファイルアップロードの操作を表示します。

	ファイルダウンロード	ファイルダウンロードの操作を表示します。
	ファイル移動	ファイル移動の操作を表示します。
	ファイルコピー	ファイルコピーの操作を表示します。
	ファイルコピー & リネーム	ファイルコピーの際、名前を変更しコピーした操作を表示します。
	ファイル削除	ファイル削除の操作を表示します。
	フォルダ / ファイルリネーム	フォルダ名変更 / ファイル名変更の操作を表示します。
	フォルダ / ファイルオープン	フォルダ表示 / ファイル表示の操作を表示します。
表示件数	一度に表示更新する件数を選択します。	

※ユーザー名・IP アドレス・フォルダ名/ファイル名においては【完全一致/部分一致】のいずれかを選択できます

※期間においては【期間指定/開始日当日で検索】のいずれかを選択できます

※アクセス方法においては【すべて/ファイル共有/ファイル管理（Web）】のいずれかを選択できます

※操作においては【すべて】以外は複数同時選択できます

※表示件数においては【100 件ずつ/60 件ずつ/20 件ずつ】のいずれかを選択できます

検索例

IP アドレス「172. 20. xxx.xxx」のアドレスからのアクセスで、「前月 1 日～現在まで」の期間、アクセス方法は問わず、「フォルダを作成」、「ファイルをアップロード」、「ファイル移動」のいずれかの操作を行ったアクセスを検索したい場合、以下のとおり入力します。

No	項目	入力内容
1	【IP アドレス】	“IP アドレス”欄に対象の IP アドレスを入力します。 ただし、複数台確認したいので“172.20”まで入力し、“部分一致”を選択しています。
2	【期間】	“期間指定”を選択し、前月 1 日から当日までの範囲で指定します。
3	【アクセス方法】	“すべて”を選択し、アクセス方法を限定しないで指定します。
4	【操作】	対象を“フォルダ作成”“ファイルアップロード”“ファイル移動”的 3 つに絞ります。
5	【表示件数】	“20 件ずつ”を選択します。
6	【検索ボタン】	上記検索条件を指定した後、検索ボタンをクリックすることで画面下に検索結果が表示されます。

The screenshot shows the BizBox Server interface for searching access history. The search form is outlined with red boxes and numbered 1 through 6:

- ① IPアドレス:** The input field contains "172.20" with the "部分一致" (Partial Match) radio button selected.
- ② 期間:** The date range is set from "2016 年 9 月 1 日 0 時 0 分から" to "2016 年 10 月 20 日 1 時 0 分まで".
- ③ アクセス方法:** The "すべて" (All) radio button is selected.
- ④ 操作:** The "フォルダ作成" (Create Folder) checkbox is checked, while others like "ファイル共有" (File Share) and "ファイル管理(Web)" (File Management Web) are unchecked.
- ⑤ 表示件数:** The "20件ずつ" (20 items per page) radio button is selected.
- ⑥ 検索:** The blue "検索" (Search) button is highlighted.

検索条件を入力後、検索をクリックすると、条件に応じた結果が表示されます。

The screenshot shows the BizBox Server search interface. At the top, there are navigation links for 'ファイル管理', 'グループウェア', 'ユーザー管理', 'システム情報', 'システムログ', 'UTMログ', 'アクセス履歴', 'システム設定', '保守関連', and 'ログアウト'. On the right, it says 'ユーザー: root (管理者)'. Below the navigation, there are search filters for '期間' (Date Range), 'アクセス方法' (Access Method), and '操作' (Operation). The '操作' section includes checkboxes for various file management actions like 'フォルダ削除' (Folder Delete). The '表示件数' (Number of Results) is set to 100件ずつ (100 at a time). A large red box highlights the results table, which lists operations such as folder creation, moves, copies, and deletions by user and timestamp.

ユーザーID/IPアドレス	フォルダ名/ファイル名	日時	アクセス方法	操作
root@172.20.20.250	/test	2016-09-30 11:17:59	ファイル管理(Web)	フォルダ削除
root@172.20.20.250	/test	2016-09-30 11:17:59	ファイル管理(Web)	フォルダ削除
root@172.20.20.250	/test	2016-09-30 10:59:51	ファイル管理(Web)	フォルダ削除
root@172.20.20.250	/test	2016-09-30 10:59:51	ファイル管理(Web)	フォルダ削除
root@172.20.20.250	/test	2016-09-27 13:11:47	ファイル管理(Web)	フォルダ削除
root@172.20.20.250	/test	2016-09-27 13:11:47	ファイル管理(Web)	フォルダ削除
root@172.20.20.250	/matsuda	2016-09-27 13:11:46	ファイル管理(Web)	フォルダ削除
root@172.20.20.250	/matsuda	2016-09-27 13:11:46	ファイル管理(Web)	フォルダ削除
root@172.20.20.250	/TEST1	2016-09-27 11:35:12	ファイル管理(Web)	フォルダ削除
root@172.20.20.250	/TEST1	2016-09-27 11:35:12	ファイル管理(Web)	フォルダ削除
172.20.20.250	TEST1/新しいフォルダー	2016-09-27 11:27:21	ファイル共有	フォルダ削除
172.20.20.250	TEST1/新しいフォルダー	2016-09-27 11:27:21	ファイル共有	フォルダ削除

検索結果の項目一覧は以下のとおりです。

項目	説明
ユーザ名/IP アドレス	"ユーザ名"@"IP アドレス" の組み合わせで表示されます。
フォルダ名/ファイル名	"フォルダ名"/"ファイル名" の組み合わせ、またはそれぞれ個別に表示されます。
期間	対象の日時が表示されます。
アクセス方法	ファイル管理 (Web)、ファイル共有のいずれかのアクセス方法が表示されます。
操作	どのような操作をしたのか表示されます。(フォルダ作成、ファイル移動など)

指定した表示件数より多く検索結果がある場合、指定した表示件数毎に「次の××件を表示」のボタンが画面下に表示されます。続けて次を表示したい場合は[次の××件を表示]をクリックします。

172.20.20.250	testfolder-kawa/work/アレクソン貸出/IMG_NAS453_653	2016-09-29 16:05:22 ファイル共有 フォルダ作成
172.20.20.250	testfolder-kawa/work/アレクソン貸出/IMG_NAS453_653	2016-09-29 16:05:22 ファイル共有 フォルダ作成
172.20.20.250	testfolder-kawa/work/work_canon_photo/114CANON	2016-09-29 16:05:12 ファイル共有 フォルダ作成
172.20.20.250	testfolder-kawa/work/work_canon_photo/114CANON	2016-09-29 16:05:12 ファイル共有 フォルダ作成
172.20.20.250	testfolder-kawa/work/work_canon_photo/113CANON	2016-09-29 16:04:49 ファイル共有 フォルダ作成
172.20.20.250	testfolder-kawa/work/work_canon_photo/113CANON	2016-09-29 16:04:49 ファイル共有 フォルダ作成
172.20.20.250	testfolder-kawa/work/work_canon_photo/112CANON	2016-09-29 16:04:48 ファイル共有 フォルダ作成
172.20.20.250	testfolder-kawa/work/work_canon_photo/112CANON	2016-09-29 16:04:48 ファイル共有 フォルダ作成

次の20件を表示する

3-7. システム設定

機能	権限別の利用可否	
	管理者	一般
共有設定	○	×
ネットワーク	○	×
リモートアクセス	○	×
Eメール通知	○	×
時刻設定	○	×
アンチウイルス	○	×
UPS	○	×
スナップショット	○	×
外付けハードディスク	○	×
クラウドバックアップ	○	×
グループウェア設定	○	×
UTMログ設定	○	×

画面左のメニューより [システム設定] から各種操作が可能です。

(1) 共有設定

共有設定とは、CIFS（Windows のファイル共有）経由でアクセスするための設定です。

画面左のメニューより [システム設定] > [共有設定] をクリックします。

The screenshot shows the BizBox Server web interface. At the top left is the NTT logo. To its right is the text "BizBox Server". On the far right, it says "ユーザー: root (管理者)". The left sidebar contains a vertical menu with the following items: ファイル管理, グループウェア, ユーザー管理, **システム情報** (highlighted in light blue), システム設定, **共有設定** (highlighted with a red rectangle), ネットワーク, リモートアクセス, Eメール通知, 時刻設定, アンチウイルス, UPS連携, スナップショット, and 外付けハードディスク. The main content area has a title "共有設定". It contains four input fields: "コンピュータ名" with "OS-Server", "ワークグループ" with "WorkGroup", "マスタブラウザ" with a radio button set to "OFF", and "WINSサーバー" with an empty input field. Below these fields is a blue "設定変更" (Change Settings) button.

設定する内容は以下のとおりです。

項目名	内容
コンピュータ名	ネットワークで使用するコンピュータ名を入力します。
ワークグループ	ネットワークで使用するワークグループ名を入力します。
マスタブラウザ	マスタブラウザをアクティブにする場合はチェックします。※通常は設定不要です
WINS サーバー	WINS サーバーを使用する場合に WINS サーバーの IP アドレスを入力します。 ※通常は設定不要です

共有設定を入力し、[設定変更] をクリックすると、設定が変更されます。

(2) ネットワーク

画面左のメニューより [システム設定] > [ネットワーク] をクリックします。

The screenshot shows the BizBox Server configuration interface. At the top, there's a blue header bar with the NTT logo and the text "BizBox Server". On the right side of the header, it says "ユーザー: root". Below the header, on the left, is a vertical menu list:

- ファイル管理
- グループウェア
- ユーザー管理
- システム情報
- システム設定
- 共有設定
- ネットワーク** (This item is highlighted with a red rectangle)
- リモートアクセス
- Eメール通知
- 時刻設定
- アンチウイルス
- UPS連携
- スナップショット
- 外付けハードディスク
- クラウドバックアップ

The main content area is titled "ネットワーク". It contains several input fields for network settings:

システムID	BS999910
IPアドレス	172.20.20.58
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	172.20.20.254
優先DNSサーバー	8.8.8.8
代替DNSサーバー	
HTTPSポート	443

At the bottom of the network settings section is a blue button labeled "設定変更".

以下の各項目に入力し、各項目の入力内容に誤りがないことを確認し、[設定変更] をクリックします。

システム ID	変更できません。
IP アドレス	本機に設定する固定の IP アドレスを入力します。 ⚠ 必須です。
サブネットマスク	お客様 LAN 環境のサブネットマスクを入力します。 ⚠ 必須です。
デフォルト ゲートウェイ	お客様 LAN 環境のデフォルトゲートウェイの IP アドレスを入力しま す。 ⚠ 必須です。
優先 DNS サーバー	お客様環境で利用している DNS サーバーを入力します。 ⚠ クラウドバックアップを設定する際、DNS サーバーの設定は必須です。
代替 DNS サーバー	お客様環境で利用している DNS サーバーを入力します。 ⚠ ネームサーバーが 2 つある場合に入力してください。
HTTPS ポート	設定変更不要です。

※Biz Box Server 「OS」はIPアドレスの自動取得（DHCP クライアント機能）には対応しません。

※Biz Box Server 「OS」はIPアドレス指定でグローバル IP アドレスに対応しません。

※ネットワークが再起動するため、一次的にアクセスできない場合は、しばらく待ってからアクセス下さい。

(3)リモートアクセス

⚠️ リモートアクセス機能（外部からのアクセス機能）を利用する場合のみ本設定を行ってください。

画面左のメニューより【システム設定】>【リモートアクセス】をクリックします。

インターネットに繋がる環境下で【リモートアクセス機能】を【ON】に設定します。

【登録されたドメイン名】と、【登録されたグローバル名】が表示されます。

各項目の入力内容に誤りがないことを確認し、【設定変更】をクリックします。

The screenshot shows the BizBox Server web interface. The left sidebar has a tree view with nodes like 'ファイル管理', 'グループウェア', 'ユーザー管理', etc. The 'リモートアクセス' node is selected and highlighted with a red box. The main content area is titled 'リモートアクセス'. It shows a table with the following data:

リモートアクセス機能	<input checked="" type="button"/> ON
状態	正常
登録されたドメイン名	BS999910.nas.securityboss.jp
登録されたグローバルIP	210.136.56.164

At the bottom right of the content area is a blue button labeled '設定変更' (Change Settings), which is also highlighted with a red box.

表示される内容は以下のとおりです。

項目名	説明
リモートアクセス機能の ON/OFF	リモートアクセス機能を利用するかどうかを指定します。
状態	リモートアクセス機能の現状の状態です。エラーが発生した場合は赤字で表示されます。
登録されたドメイン名	インターネット経由でリモートアクセスする際に指定するアドレスです。
登録されたグローバル IP	登録されたドメイン名の名前解決された際のグローバル IP アドレスです。

※DDNSを利用したリモートアクセスを実現するには、Biz Box Server「OS」の上位ネットワークにあるファイアウォールやルータ等のネットワーク機器に対して、設定変更（NAT 設定等）

が必要です

※リモートアクセスをするには、ログインユーザーに対して、「ユーザー管理」機能で「外部からの接続許可」が設定されている必要があります

上位ネットワークにあるネットワーク機器（ルータ等）での基本的な設定方法は以下のとおりです。

(例)

項目名	設定内容
機能	ネットワーク設定 > アドレス変換設定 > 静的 NAPT 設定
外部ポート番号（WAN 側受信ポート）	443
プロトコル	TCP
内部 IP アドレス（LAN 側転送 IP アドレス）	Biz Box Server「OS」に設定した IP アドレス
内部ポート番号（LAN 側転送ポート）	443

※機器によって利用する機能・設定方法は異なります（現在ご利用のネットワーク機器のマニュアルをご確認ください）

【リモートアクセスの接続確認】

ブラウザに以下の値を入力し、**インターネット経由**でリモートログインできることを確認します。

「<https://システム ID.nas.securityboss.jp/>」

※システム ID が OS999996 の場合 「<https://OS999996.nas.securityboss.jp/>」

※ LAN 経由では確認はできません（インターネット経由でのみ確認可能です）

接続できない場合

事象	対応
ログイン画面が表示されない	<p>本製品の「リモートアクセス機能の ON/OFF」が ON になっていることを確認してください。</p> <p>10 分待ち、再度接続してください。</p> <p>設定の反映に時間がかかる可能性があります。</p> <p>以下のコマンドを実行し、名前解決できている場合、ドメイン名は設定されているので、ルータの設定を再度確認してください。</p> <p>nslookup ホスト名.nas.securityboss.jp</p> <p>接続が外部（インターネット側）からのアクセスであることを確認してください。内部ネットワーク（LAN 側）からは接続できません。</p>
ログイン画面が表示されるがログインできない	本製品の「ユーザー管理」からリモートアクセスを行うユーザーとして設定されていることを確認してください。

(4) Eメール通知

⚠️ Eメールで故障などのアラート通知を受ける場合のみ本設定を行ってください。

① SMTP サーバーを設定

本機から E メールを送信するための SMTP サーバーの設定を行ないます。

画面左のメニューより [システム設定] > [E メール通知] をクリックします。

利用するSMTPサーバー、ユーザーID、パスワードなどの情報を記入します。

各項目の入力内容に誤りがないことを確認し、[設定変更] をクリックします。

The screenshot shows the BizBox Server administration interface. The top navigation bar includes the NTT logo, the server name 'BizBox Server', and the user information 'ユーザー: root'. The left sidebar lists various system settings, with 'Eメール通知' being the active section, indicated by a red box. The main content area is titled 'Eメール通知' and contains a 'SMTP設定' (SMTP Settings) form. This form includes fields for 'SMTPサーバー' (SMTP Server) set to 'smtp.xxxxx.com', 'ユーザーID' (User ID) set to 'testuser', and '使用ポート' (Port) set to '465'. There is also a note about SSL usage with a switch labeled 'ON'. At the bottom of the form is a blue '設定変更' (Change Settings) button, which is also highlighted with a red box.

設定する項目は以下のとおりです。

項目名	説明
SMTP サーバー	SMTP サーバーの IP アドレスもしくは FQDN を入力します。
ID	SMTP 認証 ID を入力します。 SMTP のパスワード認証を実施しない場合には空欄で設定します。
パスワード	SMTP 認証パスワードを入力します。 SMTP のパスワード認証を実施しない場合には空欄で設定します。 入力する場合には“新たに設定”にチェックを入れます。
使用ポート	送信に使用するポートを入力します。
SSL の使用	SMTP over SSL を利用する場合にはチェックを入れます。

設定を入力し、[設定変更] をクリックします。

設定を変更して、[設定変更] をクリックすると結果が表示されます。

[戻る] をクリックすると前の画面に戻ります。

Eメール通知（SMTP サーバ設定例）

Gmail の場合 (例: メールアドレス : sample@gmail.com パスワード : sample1234 の場合)

項目名	説明
SMTP サーバー	smtp.gmail.com
ID	sample 例) <u>xxxxxx</u> @gmail.com (アンダーラインの部分)
パスワード	sample1234 (新たに設定にチェック)
使用ポート	465
SSL の使用	ON

Googleアカウントの場合、アプリによってはメールが届かない（フィルタされる）場合があります。

以下の設定を確認し、変更してください。

[設定内容]

Googleアカウントにログインした状態でGoogleのアカウント情報を開きます。

<https://myaccount.google.com>

「ログインとセキュリティー」から

■確認項目 1・・・「2段階認証が有効」になっている場合、以下の設定にする

設定内容：2段階認証プロセス ⇒オフ

※「Googleへのログイン」項目参照

■確認項目 2・・・「安全性の低いアプリの許可」が無効になっている場合、以下の設定にする

設定内容：安全性の低いアプリの許可⇒ 有効

※「接続済みのアプリとサイト」項目参照

Yahoo mail の場合 (例: メールアドレス : sample@yahoo.co.jp パスワード : sample1234 の場合)

項目名	説明
SMTP サーバー	smtp.mail.yahoo.co.jp
ID	sample 例) <u>xxxxxx</u> @yahoo.co.jp (アンダーラインの部分)
パスワード	sample1234 (新たに設定にチェック)
使用ポート	465
SSL の使用	ON

②アラートメールの設定

画面を下にスクロールし、[Eメールアラート設定] 項目の [アラートの利用有無] を [ON] にします。つづけてアラートメールを送信するメールアドレスと、受信するメールアドレスを設定します。テストメールを送信する場合は、[変更後にメール送信テストを実施] にチェックを入れます。各項目の入力内容に誤りがないことを確認し、[設定変更] をクリックします。

The screenshot shows the BizBox Server configuration interface. On the left, a sidebar lists various system settings like File Management, Groupware, User Management, etc. The main area shows SSL settings (ON) and the 'Email Alert Settings' section. This section includes fields for the alert recipient address (aleart@xxxxx.com), the test user address (testuser@xxxxx.com), and a checkbox for running a mail test after changes. A large red box encloses the 'Email Alert Settings' section and the 'Save Changes' button at the bottom.

SSLの使用 ON

設定変更

Eメールアラート設定

アラートの利用有無 ON

アラートの送信先メールアドレス
※ コンマ (,) 区切りで複数指定可能

アラートの送信元メールアドレス

: 変更後にメール送信テストを実施

設定変更

Eメールアラートで設定する内容は以下のとおりです。

項目名	内容
アラートの利用有無	チェックを入れると本機能が有効になります。
アラートの送信先メールアドレス	送信先のメールアドレスを入力します。 ”,(カンマ)”で区切ることにより、複数の宛先に同時に送ることができます。
アラートの送信元メールアドレス	送信元アドレスを入力します。 任意に設定することができます。 ただし、SMTP サーバーによっては、送信元のメールアドレスに制限がある場合があります。
変更後にメール送信テストを実施	チェックを入れると設定変更後にメール送信のテストを行います。

設定を入力し、[設定変更] をクリックします。

設定を変更して、設定変更をクリックすると結果が表示されます。

[戻る] をクリックすると前の画面に戻ります。

(5)時刻設定

画面左のメニューより [システム設定] > [時刻設定] をクリックします。

NTPサーバーをご使用になる場合は、[NTPによる時刻合わせの実施有無] を [ON] にします。

NTPサーバー名は、基本的には変更せずにご使用ください。

The screenshot shows the BizBox Server web interface. The top navigation bar includes the NTT logo, the server name 'BizBox Server', and the user information 'ユーザー: root'. The left sidebar contains a tree view of system settings: ファイル管理, グループウェア, ユーザー管理, システム情報, **システム設定**, 共有設定, ネットワーク, リモートアクセス, メール通知, and 時刻設定. The 'Clock Settings' node is highlighted with a red box. The main content area is titled '時刻設定' (Clock Settings). It contains two sections: 'NTP設定' (NTP Settings) and '時刻の変更' (Change Clock). The 'NTP設定' section has an 'ON' switch for 'NTPによる時刻合わせの実施有無' (Implementation of NTP time synchronization), and two input fields for '問い合わせ先のNTPサーバー (1st)' (1st NTP server) containing '172.19.0.1' and '問い合わせ先のNTPサーバー (2nd)' (2nd NTP server) containing 'ntp.nict.jp'. Below these is a blue '設定変更' (Change Settings) button, which is also highlighted with a red box. The '時刻の変更' section contains a series of dropdown menus for date and time selection, followed by a blue '時刻を変更する' (Change Clock) button.

初期値では以下の値が設定されています。

項目	サーバーアドレス	備考
問い合わせ先の NTP サーバー (1st)	172.19.0.1	弊社提供の NTP サーバー
問い合わせ先の NTP サーバー (2nd)	ntp.nict.jp	情報通信研究機構(NICT)提供の NTP サーバー

※基本的に変更する必要はありません

インターネットを経由して自動的に時刻を合わせる場合は、[NTPによる時刻合わせの実施有無]にチェックを入れます。

また、問合せ先のNTPサーバー欄に、NTPサーバーのIPアドレスもしくはFQDNを入力します。

入力したら[設定変更]をクリックします。[時刻の変更]で手動にて時刻を設定することができます。

設定を変更して、[設定変更]をクリックすると結果が表示されます。

[戻る]をクリックすると前の画面に戻ります。

NTPを利用されない場合（非推奨）は、[NTPによる時刻合わせの実施有無]を[OFF]にし、[時刻の変更]項目で時刻設定を行ってください。

(6) アンチウイルス機能を設定します。

画面左のメニューより [システム設定] > [アンチウイルス] をクリックします。

スケジュールスキャン機能をご使用になる場合は、[スケジュールスキャン] を [ON] にします。

⚠️ 本機能は [ON] にすることを推奨しています。

⚠️ スケジュールスキャン中は、サーバーへのアクセスが遅くなることがあります。

スケジュールスキャン機能を [ON] にした場合は、週 1 回全体のウイルススキャンが実行されます。

[スケジュール週次] で [曜日] を指定し、[スケジュール週次時刻] で [開始時間] を設定します。

本設定後にすぐにスケジュールスキャンを実施する場合は、[変更後に即時フルスキャンを開始] にチェックします。

スケジュールスキャン実行時に感染したファイルを発見した場合は、対象のファイルを削除します。

原則、削除されたファイルの復旧はできません。

各項目の入力内容に誤りがないことを確認し、[設定変更] をクリックします。

The screenshot shows the BizBox Server management interface. The main title is 'BizBox Server'. On the right, it says 'ユーザー: root (管理者)'. The left sidebar has a tree view with categories like ファイル管理, グループウェア, ユーザー管理, システム情報, システム設定, 共有設定, ネットワーク, リモートアクセス, Eメール通知, 時刻設定, アンチウイルス (which is selected and highlighted with a red box), UPS連携, スナップショット, 外付けハードディスク, クラウドバックアップ, UTMログ設定, 保守関連, and システムデータ. The main content area is titled 'アンチウイルス設定'. It has two sections: 'アンチウイルス設定' and 'Eメールアラート設定'. In the 'アンチウイルス設定' section, there is a 'スケジュールスキャン' section with a radio button set to 'ON'. Below it are dropdown menus for 'スケジュール週次時刻' (土曜日, 2 時, 0 分) and a date field '最終フルスキャン日時' (2023年 05月24日 14:24:30). There is also a checkbox '□ : 変更後に即時フルスキャンを開始'. A large red box surrounds this entire section. Below it is a blue '設定変更' button, which is also highlighted with a red box. In the 'Eメールアラート設定' section, there is a radio button for 'アラートの利用' (OFF) and a text input field for 'アラートの送信先メールアドレス' (empty). A blue '設定変更' button is located at the bottom of this section.

① アラートを受信する E メールアドレスを設定

[Eメールアラート設定] にて、ウィルス検知時にアラートメール通知を指定されたメールアドレス宛てに送信できます。

Eメールアラート機能をご使用になる場合は、画面を下にスクロールし、[アラートの利用] を [ON] にし、アラートの送信先メールアドレスに受信するEメールアドレスを入力します。

各項目の入力内容に誤りがないことを確認し、[設定変更] をクリックします。

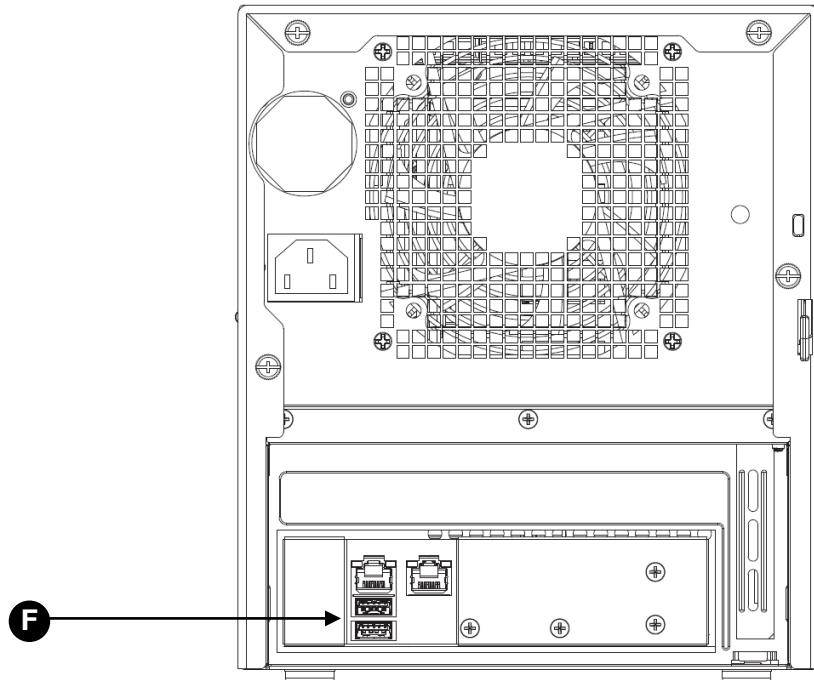
The screenshot shows the BizBox Server configuration interface. On the left, a sidebar lists various settings like User Management, System Information, and Network. The main area shows scheduled scans and an 'Eメールアラート設定' (Email Alert Setting) section. This section has a red box around it. Inside, the 'アラートの利用' (Alert Utilization) switch is set to 'ON'. Below it, the 'アラートの送信先メールアドレス' (Recipient Email Address) field contains 'alert@xxxx.xox'. A blue '設定変更' (Change Settings) button is located below the alert section.

(7)UPS

⚠ Biz Box UPSなど本機と連携できるUPS（無停電電源装置）を利用する環境で、UPSと連携を希望する場合のみ本設定を行ってください。

①本機にUPSを接続します。

本機とUPSを接続します。本体背面にある以下図(F)のUSBポートにUPSのUSBケーブルを接続します。USBポートは、上下どちらのポートでも対応できます。



① UPS連携機能を設定します。

画面左のメニューより [システム設定] > [UPS連携] をクリックします。

UPSを接続した場合、シャットダウンのタイミングが選択できます。

UPSのエネルギー残量などにより3つ（シャットダウン優先（即時）/ 標準（20%）/ 稼働優先（2%））の選択肢から選択し、[設定変更] をクリックします。



(8)スナップショットの設定

スナップショットとは、Biz Box Server「OS」内の指定したフォルダの状態を指定した間隔で保存しておく機能です。

スナップショットで保存したフォルダは、ルートフォルダの“snapshot”フォルダに保存されます。

15世代まで保存が可能で、実行時の時間を元にしたYYYYMMDDhhmmss（例：201304150900）の形式のフォルダを作成して保存されます。スナップショットは読み取り専用で書き込みは行えません。

Biz Box Server「OS」「6」および「12」は、最大15世代までスナップショットが設定できます。Biz Box Server「OS」「2」は、最大3世代までスナップショットが設定できます。

画面左のメニューより【システム設定】>【スナップショット】をクリックします。

【実行間隔】と【世代数】を設定します。

例えば、1日に設定し、15世代でスナップショットを行った場合、15日分のスナップショットが保存されます。

The screenshot shows the BizBox Server system settings interface. The left sidebar menu is highlighted with a red box, showing options like ファイル管理, グループウェア, ユーザー管理, システム情報, システム設定, 共有設定, ネットワーク, リモートアクセス, Eメール通知, 時刻設定, アンチウイルス, and UPS連携. The "Snapshot" option under "System Settings" is also highlighted with a red box. The main content area is titled "Snapshot" and contains two dropdown menus: "実行間隔" (Execution Interval) set to "1日" (1 day) and "世代数" (Generation Number) set to "6". Below these is a note: "スナップショットとして保存したいフォルダにチェックを入れて下さい。" (Check the folder you want to save as a snapshot). A list of target folders is shown with checkboxes: aaa, bbb, test, and work. At the bottom is a blue "設定変更" (Change Settings) button.

実行間隔を 1 時間(0:00 から 1 時間毎)・6 時間(0:00 から 6 時間毎)・1 曜日(毎日 0:00)・

1 週間(毎週日曜日の 0:00)から選択します。

また、スナップショットを取得する対象のフォルダにチェックを入れます。

スナップショットの対象とするすべてのフォルダをチェック [ON] し、[設定変更] をクリックすると
結果が表示されます。

[戻る] をクリックすると前の画面に戻ります。

(9)外付けハードディスク

外付けハードディスク機能とは、Biz Box Server「OS」に接続した外付けハードディスク内にデータをバックアップ、または、外付けハードディスクからBiz Box Server「OS」へデータをリストアする機能です。

バックアップ対象は、Biz Box Server「OS」内のデータ（ファイル共有データ）とインポート用のシステムデータです。

Biz Box Server「OS」上で外付けハードディスクを初期化することで連携が可能であり、バックアップは初期化処理を行った本体でのみ実施可能です。

⚠ 本機と連携できる外付けハードディスクを利用している環境で、外付けハードディスクにデータのバックアップを行う場合のみ本設定を行ってください。

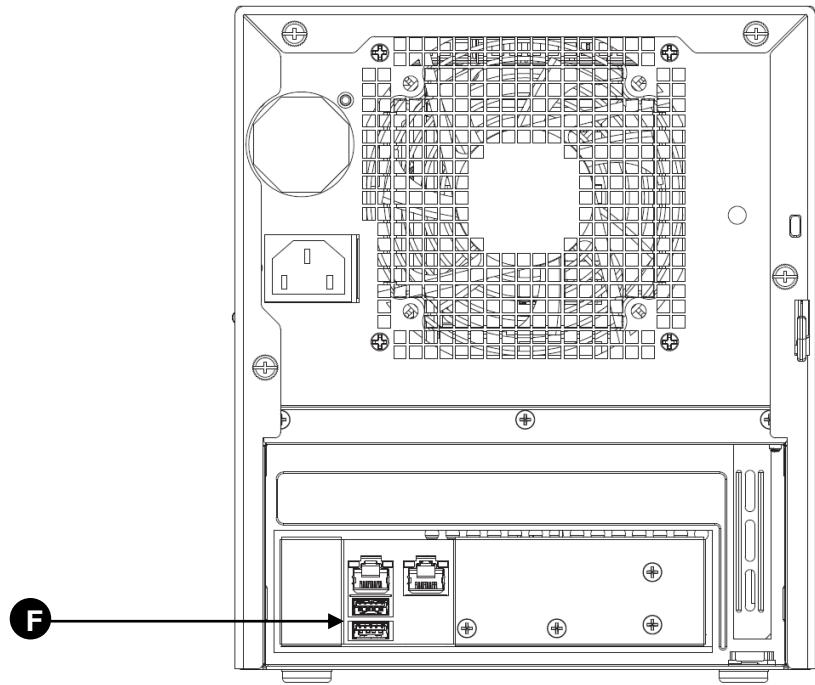
①本機に外付けハードディスクを接続

本機と外付けハードディスクを接続します。本体背面にある以下図(F)のUSBポートに外付けハードディスクのUSBケーブルを接続します。USBポートは、上下どちらのポートでも対応できます。なお、各モデルの必要容量は、以下のとおりです。

モデル	外付けハードディスクの必要容量
Biz Box Server「OS」「2」	2TB以上の容量
Biz Box Server「OS」「6」	6TB以上の容量
Biz Box Server「OS」「12」	12TB以上の容量

⚠ 外付けハードディスクが必要容量を満たさない場合は、本機能は利用できません。

⚠ 接続できる外付けハードディスク装置は、1台となります。



② 外付けハードディスクを初期化

画面左のメニューより [システム設定] > [外付けハードディスク] をクリックします。

初めて外付けハードディスクを接続した場合は、[状態] が [未初期化] になっています。

その場合は、[外付けハードディスクを初期化] をクリックし、外付けハードディスクを初期化してください。[状態] が [待機中] になっている場合は、[外付けハードディスクを初期化] は不要です。

⚠️ [外付けハードディスクを初期化] をクリックすることで使用可能となります。

外付けハードディスクを初期化すると、外付けハードディスクのデータはすべて消去されますので、ご注意ください。

The screenshot shows the BizBox Server management interface. The left sidebar menu is as follows:

- ファイル管理
- グループウェア
- ユーザー管理
- システム情報
- システム設定** (highlighted)
- 共有設定
- ネットワーク
- Eメール通知
- 時刻設定
- アンチウイルス
- ファームウェア
- 外付けハードディスク** (highlighted)
- クラウドバックアップ
- UTMログ設定
- 保守関連

The main content area is titled "External Hard Disk Management". It displays the following information:

- 状態:** 待機中 (Pending)
- 最終バックアップ日時:** (未実行)
- 定期バックアップ設定:** バックアップしない (unchecked) **設定変更** button
- 手動バックアップ作成:** : 完了を通知 **バックアップを作成する** button

A warning message is displayed:

【警告】
前回の初期化処理は失敗しました。
【注意】
初期化を開始すると外付けハードディスク内のデータは
全て削除されます。

A large red box highlights the **外付けハードディスクを初期化する** button at the bottom.

③ 定期バックアップを設定

[状態] が [待機中] になっていることを確認します。

[定期バックアップ設定] からバックアップするタイミング（1時間/6時間/1日/1週間/バックアップしない）から選択し、[設定変更] をクリックします。

NTT BizBox Server ユーザー: root

ファイル管理 グループウェア ユーザー管理 システム情報 システム設定 共有設定 ネットワーク Eメール通知 時刻設定 アンチウイルス スナップショット 外付けハードディスク クラウドバックアップ UTMログ設定 保守関連

外付けハードディスク連携

バックアップ

状態	待機中
最終バックアップ日時	(未完了)
定期バックアップ設定	<input type="button" value="バックアップしない"/> <input type="button" value="設定変更"/>

手動バックアップ作成 : 完了を通知

外付けハードディスク初期化

【警告】 前回の初期化処理は失敗しました。
【注意】 初期化を開始すると外付けハードディスク内のデータは全て削除されます。

④ 手動でバックアップを実施

[状態] が [待機中] になっていることを確認します。

[手動バックアップ作成] から [バックアップを作成する] をクリックすることで、即時にバックアップを開始できます。

[完了を通知] をチェックすることで、完了時にEメールで通知します。

⑤ リストア

障害復旧などで外付けハードディスク上に作成したバックアップを Biz Box Server 「OS」 にリストアすることが可能です。

※外付けハードディスクを接続する前に定期バックアップ設定の項目を [バックアップしない] に設定してください

定期バックアップ設定が有効（1 h～1w）に設定されている場合、リストアしたい外付けハードディスク上のデータがリストア前に上書きされる恐れがあります。

※外付け HDD へバックアップ後にサーバ筐体を交換してしまうと、リストアできなくなりますのでご注意ください。

リストアは別の本体で初期化処理を行った外部ストレージからも実施できます。

外付けハードディスクからのリストアではファイル共有データのみ書き戻します。

（外付けハードディスク上に保存されているシステムデータをインポートするときは、別途、【システムデータ】機能のインポート画面から外付けハードディスクを選択してインポート操作を行う必要があります。）

[リストアを開始] をクリックし、リストア処理を開始します。

※ [リストアを開始] をクリックするには定期バックアップ設定の項目を「バックアップしない」に設定してください

定期バックアップ設定が有効（1 h～1w）に設定されている場合、[リストアを開始] はクリックできません。（アクティブにならない）

システム設定

共有設定

ネットワーク

リモートアクセス

Eメール通知

時刻設定

アンチウイルス

UPS連携

スナップショット

外付けハードディスク

クラウドバックアップ

UTMログ設定

保守関連

ログアウト

外付けハードディスク初期化

【注意】
初期化を開始すると外付けハードディスク内のデータは
全て削除されます。

外付けハードディスクを初期化する

リストア

バックアップを停止せずにリストア用の外付けハードディスクを接続すると
外付けハードディスク上にデータが上書きされてしまう恐れがありますので、
リストア用の外付けハードディスクはバックアップを停止してから接続して下さい。

定期バックアップ設定が「バックアップしない」に設定されていないと
リストアを開始することはできません。

外付けハードディスクから
リストア

リストアを開始する

(10) クラウドバックアップ

クラウドバックアップとは、Biz Box Server「OS」内の指定したフォルダのデータをクラウドに定期的に保存するための機能です。

※ご利用には、「SecurityBOSS ネットワーク・ストレージサービス」の契約または
「Server バックアップ」の契約が別途必要です

⚠ 本機と連携できるクラウドストレージサービスを利用している環境で、クラウドストレージサービスにデータのバックアップを行う場合のみ本設定を行ってください。

画面左のメニューより [システム設定] > [クラウドバックアップ] をクリックします。

- ファイル管理
- グループウェア
- ユーザー管理
- システム情報
- システム設定
 - 共有設定
 - ネットワーク
 - リモートアクセス
 - Eメール通知
 - 時刻設定
 - アンチウイルス
 - UPS連携
 - スナップショット
 - 外出先データ同期
 - クラウドバックアップ
- HTMLログ設定
- 保守関連

最終バックアップ日時 ----

[バックアップ処理を再開する](#)

バックアップの対象フォルダ

バックアップの対象としたいフォルダにチェックを入れて下さい。

- | | |
|--------|--|
| 対象フォルダ | <input type="checkbox"/>  aaa |
| | <input type="checkbox"/>  bbb |
| | <input checked="" type="checkbox"/>  test |

[設定変更](#)

「SecurityBOSS ネットワーク・ストレージサービス」契約時の場合、表示される内容は以下のとおりです。

項目名	内容
NSS ID	「ネットワーク・ストレージサービス」の契約 ID です。
契約容量	「ネットワーク・ストレージサービス」の契約容量です。
状態	「ネットワーク・ストレージサービス」との接続状態を示します。
最終バックアップ日時	最後にバックアップが行われた日時を示します。
バックアップの対象フォルダ	バックアップしたい対象フォルダを指定します。

「Serverバックアップ」契約時の場合、表示される内容は以下のとおりです。

項目名	内容
ログイン ID	「Server バックアップ」の利用者 ID です。
契約容量	「Server バックアップ」の契約容量です。
使用容量	「Server バックアップ」の現在の使用容量です。
空き容量	「Server バックアップ」の現在の空き容量です。
状態	「Server バックアップ」との接続状態を示します。
最終バックアップ日時	最後にバックアップが行われた日時を示します。
バックアップの対象フォルダ	バックアップしたい対象フォルダを指定します。
リストア	「Server バックアップ」上のバックアップデータをリストアします。
動作設定の変更	バックアップ間隔（1 時間・6 時間・24 時間・1 週間）を選択でき、 バックアップ起動時間（0:00～23:59）を選択できます。

※ 「Serverバックアップ」バックアップ処理時に以下の文字は、フォルダ名に利用できません。

¥ / : , ; * ? " < > |

同様にフォルダ名の先頭に(.)は使用できません。

① 停止する場合

[クラウドバックアップ] > [バックアップ処理の停止]をクリックします。

[バックアップ処理の停止]をクリックすると確認ダイアログが表示されます。

停止する場合は[OK]をクリックします。

※クラウドバックアップの停止処理に時間がかかる場合は、しばらくお待ちください

以下、「SecurityBOSS ネットワーク・ストレージサービス」契約時の場合となります。



以下、「Serverバックアップ」契約時の場合となります。

The screenshot shows the BizBox Server management interface. On the left, a sidebar lists various system settings. The main area displays the 'Server Backup Service' configuration. It includes fields for Login ID (nttpc_test1), Contract Capacity (14.0TB), Used Capacity (1.4GB (0.1%)), Free Capacity (14.0TB), Status (Standby), and Last Backup Date (2016-11-16 17:20:18). A prominent blue button labeled 'Backup processing stop' is highlighted with a red box. A confirmation dialog box is overlaid on the right, asking '172.20.20.76 の内容: バックアップ処理を再開します。よろしいですか?' (Content of 172.20.20.76: Do you want to resume backup processing?). The 'OK' button in the dialog is also highlighted with a red box.

② 再開の指示

クラウドバックアップが完全に停止されると、以下の表示になります。

[クラウドバックアップ] > [バックアップ処理の再開] をクリックすると再度開始されます。

[バックアップ処理の再開] をクリックすると確認ダイアログが表示されます。

再開する場合は[OK]をクリックします。

以下、「SecurityBOSS ネットワーク・ストレージサービス」契約時の場合となります。

The screenshot shows the BizBox Server interface for the Cloud Backup Service. On the left, a sidebar lists various management options. The main area displays service details: NSS ID (BS99999979), Contract Capacity (5 GB), Status (Stopped, last stopped on 2016-10-13 09:26), and Last Backup Date (2016-10-13 09:25). A prominent blue button labeled "Resume Backup Processing" is highlighted with a red box. To the right, a confirmation dialog box is displayed with the message "172.20.20.79 の内容: バックアップ処理を再開します。よろしいですか?" and an unchecked checkbox "このページでこれ以上ダイアログボックスを生成しない". The "OK" button in the dialog is also highlighted with a red box.

以下、「Serverバックアップ」契約時の場合となります。

The screenshot shows the NTT BizBox Server management interface. On the left, a sidebar lists various management options: ファイル管理, グループウェア, ユーザー管理, システム情報, システム設定, 共有設定, ネットワーク, リモートアクセス, Eメール通知, 時刻設定, and アンチウイルス. The main content area is titled "Serverバックアップサービス". It displays the following information:

ログインID	nttpc_test1
契約容量	14.0TB
使用容量	1.4GB (0.01%)
空き領域	14.0TB
状態	待機中
最終バックアップ日時	2016-11-16 17:20:18

Below this table is a blue button with white text that reads "バックアップ処理の停止". To the right of the main content area, a modal dialog box is displayed, asking for confirmation to stop the backup process. The dialog contains the following text:

172.20.20.76 の内容:
バックアップ処理を停止します。よろしいですか?
 このページでこれ以上ダイアログボックスを生成しない

OK キャンセル

The "OK" button is highlighted with a red rectangle.

③ バックアップの対象フォルダ

画面を下にスクロールし、【クラウドバックアップの対象フォルダ】の【対象フォルダ】欄にあるフォルダの中から、バックアップの対象とするすべてのフォルダにチェックをします。

各項目の入力内容に誤りがないことを確認し、【設定変更】をクリックします。

以下、「SecurityBOSS ネットワーク・ストレージサービス」契約時の場合となります。

The screenshot shows the BizBox Server interface with the following details:

- Header:** NTT BizBox Server ユーザー: root
- Left Sidebar:** ファイル管理, グループウェア, ユーザー管理, システム情報, システム設定, 共有設定, ネットワーク, リモートアクセス, Eメール通知, 時刻設定, アンチウイルス, UPS連携, スナップショット, 外付けハードディスク, クラウドバックアップ, UTMログ設定, 保守関連
- Main Content:**
 - 最終バックアップ日時: ----
 - バックアップ処理を再開する
 - バックアップの対象フォルダ**: バックアップの対象としていフォルダにチェックを入れて下さい。
 - 対象フォルダ:
 - aaa
 - bbb
 - test
 - 設定変更** (This button is highlighted with a red box)

以下、「Server バックアップ」契約時の場合となります。

The screenshot shows the 'Backup Configuration' page of the BizBox Server web interface. On the left, a sidebar lists various management options. The main area is titled 'Backup Configuration Target Folder' and contains two sections: 'Backup Configuration Target Folder' and 'List A'. In the first section, two folders ('backup' and 'snapshot') are selected, indicated by red boxes around their checkboxes. In the second section, two other folders ('test' and 'test2') are listed. Below these sections are several warning messages about folder naming conventions. A large red box highlights the 'Change Settings' button at the bottom of the first section. The top right corner shows the user information 'User: root (Administrator)'.

ファイル管理
グループウェア
ユーザー管理
システム情報
システム設定
共有設定
ネットワーク
リモートアクセス
メール通知
時刻設定
アンチウイルス
UPS連携
スナップショット
外付けハードディスク

バックアップの対象フォルダ
バックアップの対象としたいフォルダにチェックを入れてください。

対象フォルダ

※以下の文字は、フォルダ名に使用できません。
¥ / : , ; * ? " < > |
フォルダ名の先頭に (,) は使用できません。

設定変更

リストA

リストAを開始
動作設定の変更を行う

BizBox Server

ユーザー: root (管理者)

※バックアップ対象フォルダとして「snapshot」「usb」に対してはチェックを付けないようご注意下さい。

④ リストア

※本機能は「Serverバックアップ」契約を実施したユーザーのみ利用できる機能となります。

画面を下にスクロールし、[リストアを開始] をクリックすることで、「Serverバックアップ」環境にバックアップされたデータのダウンロード処理を実施します。

[リストアを開始] をクリックすると確認ダイアログが表示されます。

開始する場合は[OK]をクリックします。

バックアップデータのリストア処理が完了した後、一旦サーバ再起動を行った後に、画面左のメニューより [ユーザー管理] > [アクセス権限を変更] より適宜、対象データに対してユーザーのアクセス権限を付与して頂くよう対応してください。



⑤ 動作設定の変更

※本機能は「Serverバックアップ」契約を実施したユーザーのみ利用できる機能となります。

「動作設定の変更を行う」にて定期バックアップの間隔（1時間単位・6時間単位・24時間単位・1週間単位）及びバックアップ開始時刻（0:00～23:59）を変更する事で初回バックアップ処理時の開始時刻を変更できます。

画面を下にスクロールし、【動作設定の変更を行う】をクリックします。

※「クラウドバックアップサービスの動作設定」 - 「バックアップ開始時刻」項目は初回セットアップ時のみ開始時刻を設定できます。その後は「定期バックアップの間隔」の値にしたがって動作します。

The screenshot shows the BizBox Server management interface. On the left, there is a vertical navigation menu with various options like File Management, Groupware, User Management, etc. The main panel has two sections: 'Backup Settings' and 'Restore'. In the 'Backup Settings' section, there is a list of backup targets ('backup', 'snapshot', 'test', 'test2') and a note about invalid characters for folder names. A red box highlights the blue button labeled 'Change settings' at the bottom of this section. Below it, the 'Restore' section has a blue button labeled 'Start restore'.

[動作設定の変更を行う] をクリックすると以下の設定変更画面が出力されます。

定期バックアップの間隔とバックアップ開始時刻を変更して、[設定変更]をクリックします。

The screenshot shows the 'BizBox Server' interface with the NTT logo at the top left. The top right displays the user information 'ユーザー: root (管理者)'. The main title is 'Server バックアップサービスの動作設定'. Below it are two input fields: '定期バックアップの間隔' (Backup Interval) set to '24時間' (24 hours), and 'バックアップ開始時刻' (Backup Start Time) set to '05 時 00 分' (5:00). At the bottom are two buttons: '設定変更' (Change Settings) in blue, which is highlighted, and '戻る' (Back) in white.

※それぞれの初期値は、定期バックアップ間隔は「24 時間」、バックアップ開始時刻は「5:00」となっています。

設定変更が完了すると以下の画面が出力されます。

The screenshot shows the same configuration interface as before, but with a message '設定を変更しました。' (Settings have been changed.) displayed above the '戻る' (Back) button. The rest of the interface remains the same, including the sidebar menu and the top header.

⑥ 事前容量アラート通知の設定

※本機能は「Serverバックアップ」契約を実施したユーザーのみ利用できる機能となります。

Serverバックアップ契約における「事前容量アラート通知」に関しては、Serverバックアップのデータ保存量が月額利用料の上がるデータ量（閾値）に対して80%及び90%に達した場合に「Eメール通知」設定にて指定したメールアドレスに対して容量アラート通知を送信します。

ただし、ある閾値の80%にあたるデータ量が一つ下の閾値以下である場合にはメール発報は行いません。

「事前容量アラート通知」の受信設定については、[クラウドバックアップ] > [事前容量アラート通知]

にて設定する事で利用可能となります。

画面を下にスクロールし、[事前容量アラート通知] の [アラートの利用] を [ON] にし、[設定変更] をクリックします。

The screenshot shows the BizBox Server interface with the following details:

- Top Bar:** NTT logo, BizBox Server, User: nttcp (NTTPC)
- Left Sidebar:** Navigation menu including User Information Change, System Information, System Settings, Shared Settings, Network, Remote Access, Email Notifications, Scheduling, Anti-virus, UPS, External Hard Disk, NSS Backup, Server Backup, Server Support, VPN, and UTM Log Setting.
- Middle Section:** Contract Capacity: 14.0TB, Used Capacity: 268.9GB (1.9%), Free Space: 13.7TB, Status: Standby, Last Backup Date: 2017-11-20 16:19:55.
- Buttons:** Stop Backup Processing, Initialize Backup Settings, Change Password, Perform Action Setting Changes.
- Section: 前容量アラート通知 (Alert Utilization):** A switch labeled "アラートの利用" is set to "ON" and highlighted with a red box. Below it is a "設定変更" (Change Settings) button, also highlighted with a red box.

(11) UTM ログ設定

⚠ Biz Box UTM 「SSB」「5」「Standard」「Professional」を利用している環境で、UTMと連携を希望する場合のみ本設定を行ってください。

画面左のメニューより [システム設定] > [UTM連携] をクリックします。

UTMログ連携機能をご使用になる場合は、[UTMログ連携] を [ON] にします。

[UTM IPアドレス] 欄にBiz Box UTM 「SSB」「5」「Standard」「Professional」のIPアドレスを入力します。

次に [取得時刻] を設定します。毎日1回取得する時間を設定できます。

本設定後にすぐにUTMのログを取得する場合は、[変更後に即時取得を開始] にチェックします。

各項目の入力内容に誤りがないことを確認し、[設定変更] をクリックします。



3 - 8 . 保守関連

機能	権限別の利用可否	
	管理者	一般
システムデータ	○	×
全初期化	○	×
アップデート	○	×
電源管理	○	×

画面左のメニューより「保守関連」から各種操作が可能です。

(1)システムデータ

システムデータとは、Biz Box Server 「OS」 の全設定が保存された設定ファイルです。エクスポート機能を利用するとグループウェアのデータ・ユーザー情報・システム設定をシステムデータとして単一ファイルにまとめて抽出することができます。インポート機能を利用するとエクスポートしたファイルを下表の規則に従い、インポートすることができます。

画面左のメニューより [保守関連] > [システム設定] をクリックします。

① システムデータのエクスポート

[システムデータの取得] をクリックすると、最新のシステムデータがダウンロードされます。

② システムデータのインポート

[システムデータのインポート] の[ファイル選択] にて対象ファイルを読み込み、[システムデータを反映する] をクリックすると、以前にエクスポートしたシステムデータの内容を Biz Box Server 「OS」 に反映させることができます。

※システムデータのインポートを実施すると、Biz Box Server 「OS」 が再起動されますので、ご注意ください

システムデータのインポート時のデータ適用範囲は以下のとおりです。

適用範囲	適用有無
ファイル管理	-
グループウェアのデータ	●
ユーザー管理	●
システム設定	●
ログ	-

未送信のメールデータ	-
クラウド動作設定	-
クラウドバックアップのデータ	-

● : 適用範囲

- : 変更なし

(2)初期化

画面左のメニューより [保守関連] > [初期化] をクリックします。

内蔵ハードディスクの内容すべてを削除するには、[初期化を実施する]をクリックします。

The screenshot shows the BizBox Server management interface. At the top, there is a blue header bar with the NTT logo and the text "BizBox Server". On the right side of the header, it says "ユーザー: root (管理者)". Below the header, on the left, is a vertical menu with the following items: ファイル管理, グループウェア, ユーザー管理, システム情報, システム設定, 保守関連, システムデータ, **初期化** (highlighted with a red box), アップデート, 電源管理, and ログアウト. The "初期化" button is located in a red-bordered box. In the center, the title "内蔵ハードディスクの初期化" is displayed above some explanatory text: "内蔵ハードディスクを初期化します。" and two notes: "※ グループウェアの情報も削除されます。" and "※ クラウドバックアップ、または、外付けハードディスクへのバックアップを実施している場合、次回のバックアップタイミングでバックアップ先も初期化されます。".

内蔵ハードディスクの削除の適用範囲は以下のとおりです。

適用範囲	適用有無
ファイル管理	●
グループウェアのデータ	●
ユーザー管理	-
システム設定	-
ログ	-
未送信のメールデータ	-
クラウド動作設定	-
クラウドバックアップのデータ	-

● : 適用範囲

- : 変更なし

(3) アップデート

アップデート機能とは、Biz Box Server「OS」のバージョンをアップデートする機能です。

バージョンアップファイルは自動的にダウンロードされ更新されます。

また、本画面で即時のアップデートが可能です。

画面左のメニューより [保守関連] > [アップデート] をクリックします。

The screenshot shows the BizBox Server management interface. At the top, there is a blue header bar with the NTT logo on the left and 'BizBox Server' on the right. To the right of the server name, it says 'ユーザー: root (管理者)'. On the left side, there is a vertical menu list:

- ファイル管理
- グループウェア
- ユーザー管理
- システム情報
- システム設定
- 保守関連
- システムデータ
- 初期化
- アップデート** (This option is highlighted with a red rectangle)
- 電源管理
- ログアウト

The main content area has a title 'アップデート' (Update). Below it, there are two status lines: '現在のバージョン' (Current Version) followed by 'Office Station OS 4.0.0' and '更新用ファイルはありません。' (No update files available.) which is enclosed in a red rectangle.

※アップデートが不要な場合は、「更新用ファイルはありません。」と表示されます

アップデートが可能な場合は以下の画面になります。

ファームウェアの更新を開始するには、[ファームのアップデートを開始する]をクリックします。

※更新が完了すると、BizBox Server「OS」が再起動される場合があります。

フレッツ光 100Mbps 契約の回線でおおよそ平均 10 分～15 分程度で完了します。

上記回線速度で 30 分経過しても完了しない場合は契約先にお問い合わせください。

The screenshot shows the BizBox Server management interface. At the top, there is a blue header bar with the NTT logo on the left and the text "BizBox Server" on the right. Below the header, the user is identified as "ユーザー: root (管理者)". On the left side, there is a vertical menu with the following items: ファイル管理, グループウェア, ユーザー管理, システム情報, システム設定, 保守関連, システムデータ, 初期化, アップデート, 電源管理, and ログアウト. The "アップデート" item is underlined, indicating it is the current page. The main content area has a title "アップデート". It displays the current version as "現在のバージョン Office Station OS 4.0.0". Below this, there is a dropdown menu showing "officestation_ver4.0.1.bin" and a blue button labeled "ファームのアップデートを開始する". This blue button is highlighted with a red rectangular box.

(4)電源管理

画面左のメニューより [保守関連] > [電源管理] をクリックします。

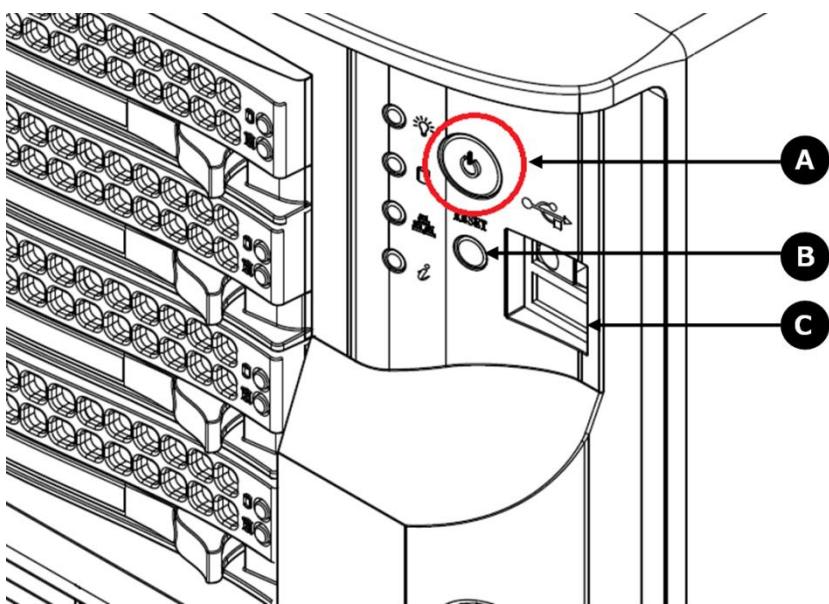
[システムの電源管理] から [再起動] もしくは [シャットダウン] を選択し、[実行] をクリックします。



① 本体の電源ボタンから電源管理

緊急時などは、本体のボタンを利用してシャットダウンおよび再起動ができます。

⚠️ 出来る限り管理画面の【保守関連】>【電源管理】から実行してください。



凡例	部位名	説明
A	電源ボタン（赤丸部分）	押すと正常終了します。（1秒以内で押します。） ⚠️ 長押しは強制停止になるため、行わないでください。
B	リセットボタン	押すと強制的に再起動します。 ⚠️ 原則使用しません。

3-9. ログアウト

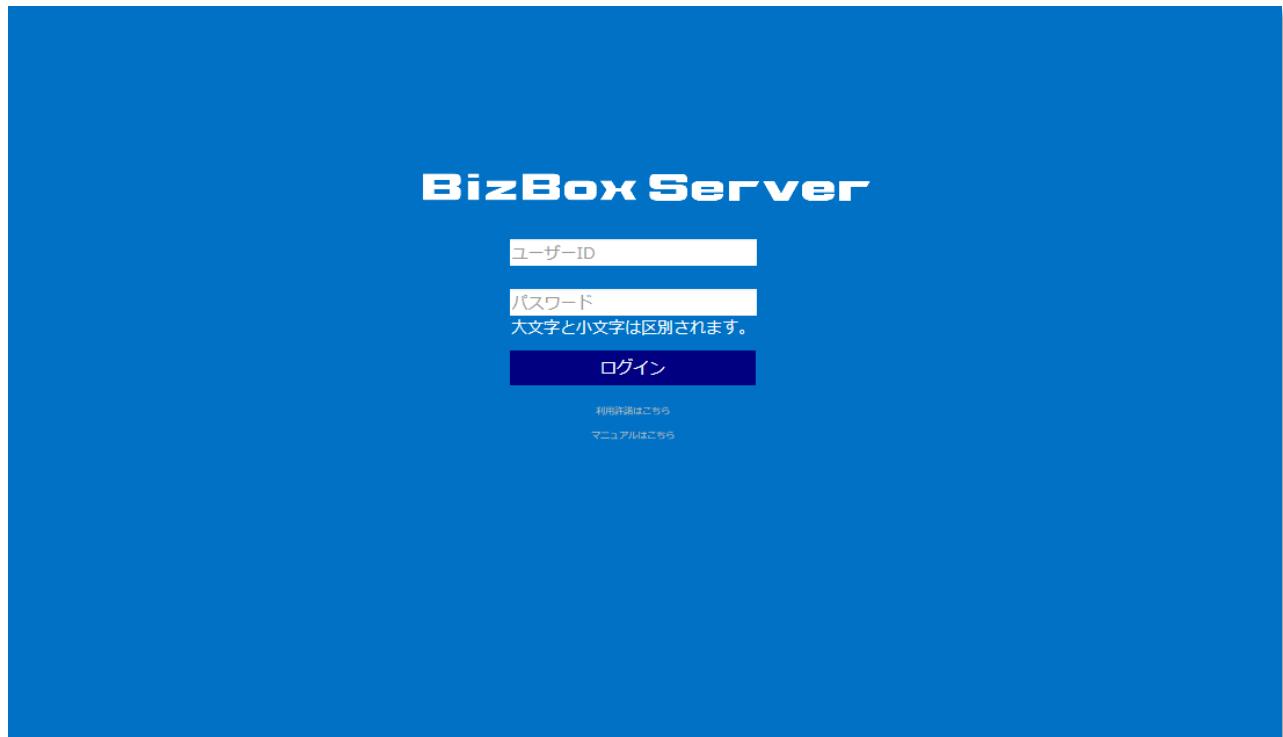
本項は、Biz Box Server「OS」の管理画面からログアウトする方法を記載しています。

権限別の利用可否	
管理者	一般ユーザー
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

左メニューから[ログアウト]をクリック後、[ログアウトする]をクリックします。



ログアウトするとログイン画面が表示されます。



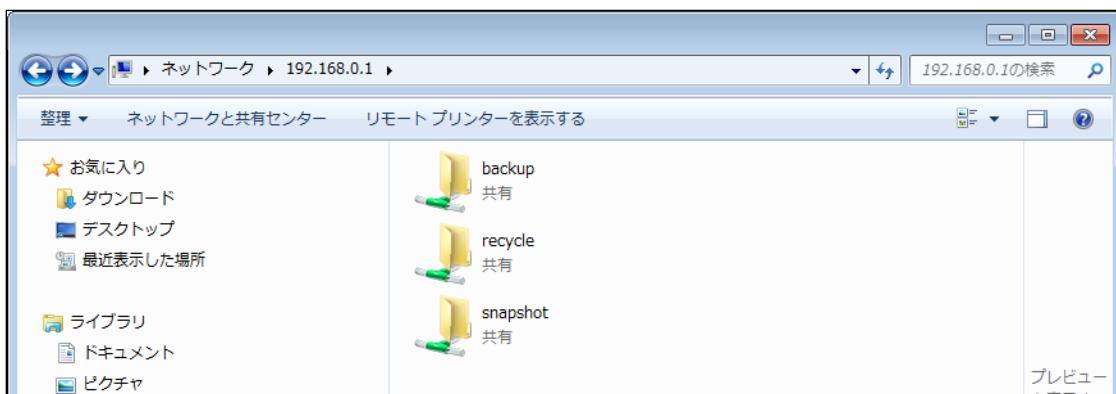
4. ファイル共有

4-1. 各種操作の説明

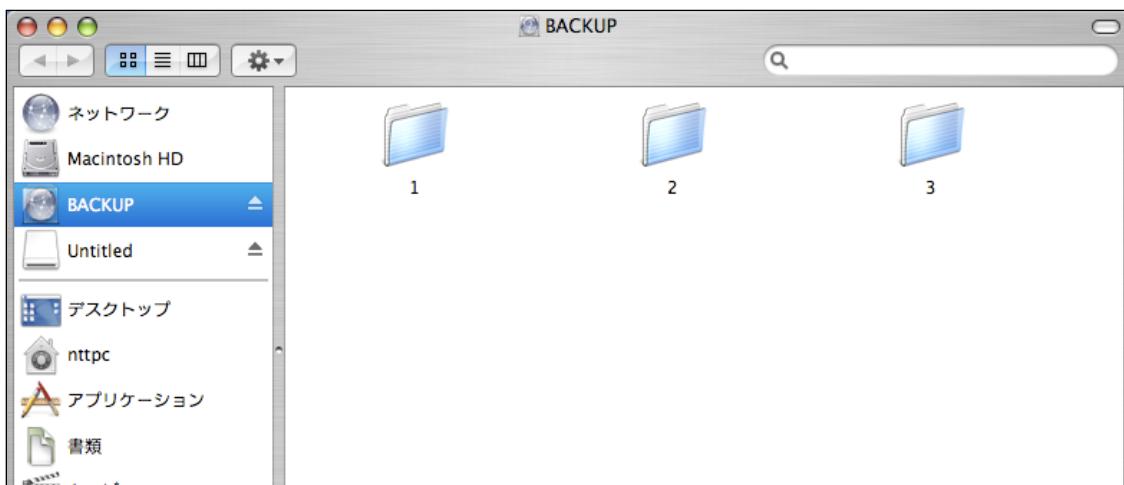
「ファイル共有」機能とは、管理画面を利用せず、エクスプローラを利用して、BizBox Server「OS」上に保存されたファイルを操作するための機能です。	権限別の利用可否	
本章は、エクスプローラを利用してBizBox Server「OS」のファイル操作方法を記載しています。	管理者	一般
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Windowsでは「エクスプローラ」、Macでは「Finder」を利用して、BizBox Server「OS」上のファイルにアクセスします。

Windowsの場合（エクスプローラ）

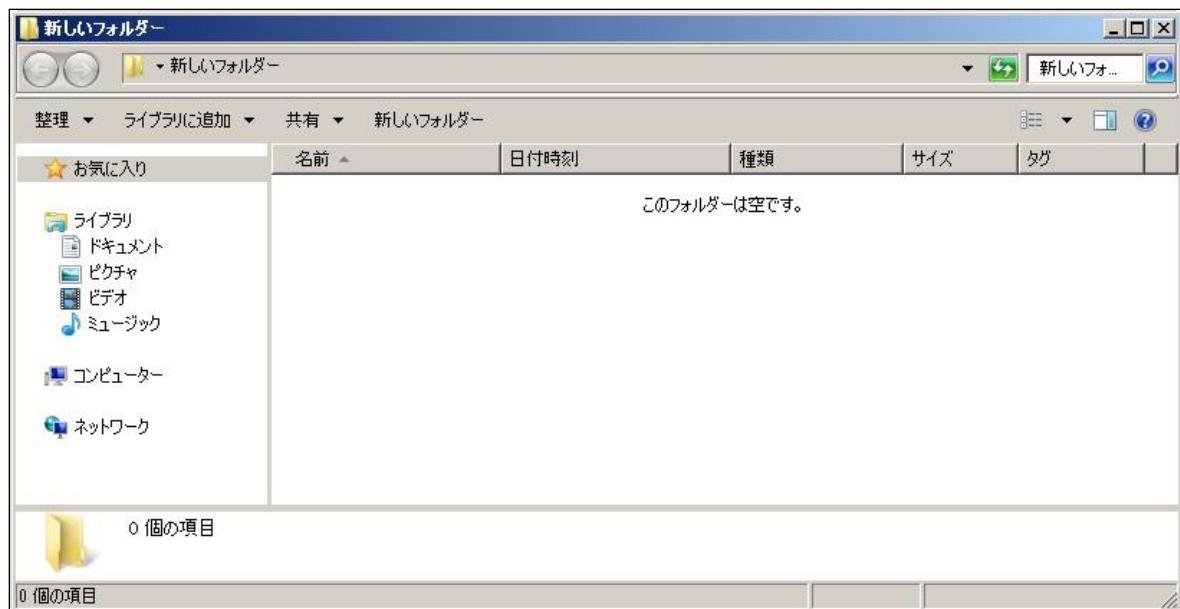


Macの場合（Finder）



4-2. Windows からの利用

[エクスプローラ] を起動します。



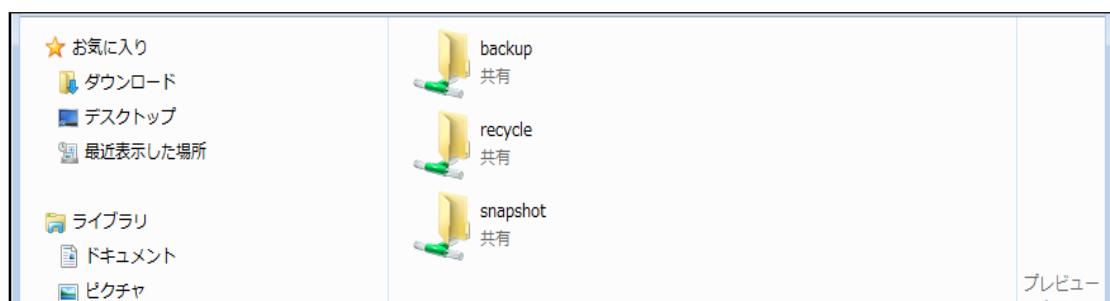
(1) ログイン

エクスプローラの上部のアドレス入力部分に、Biz Box Server 「OS」 に設定した IP アドレス（例：¥¥192.168.0.100）を入力し、アクセスします。



アクセスするとルートフォルダが表示されます。

利用対象フォルダにアクセスします。



※ログイン前は全てのルートフォルダが表示されます。

ログイン後は閲覧不可のフォルダは表示されません

利用対象フォルダにアクセスすると、認証画面がポップアップします。

※ゲスト用フォルダは認証不要です

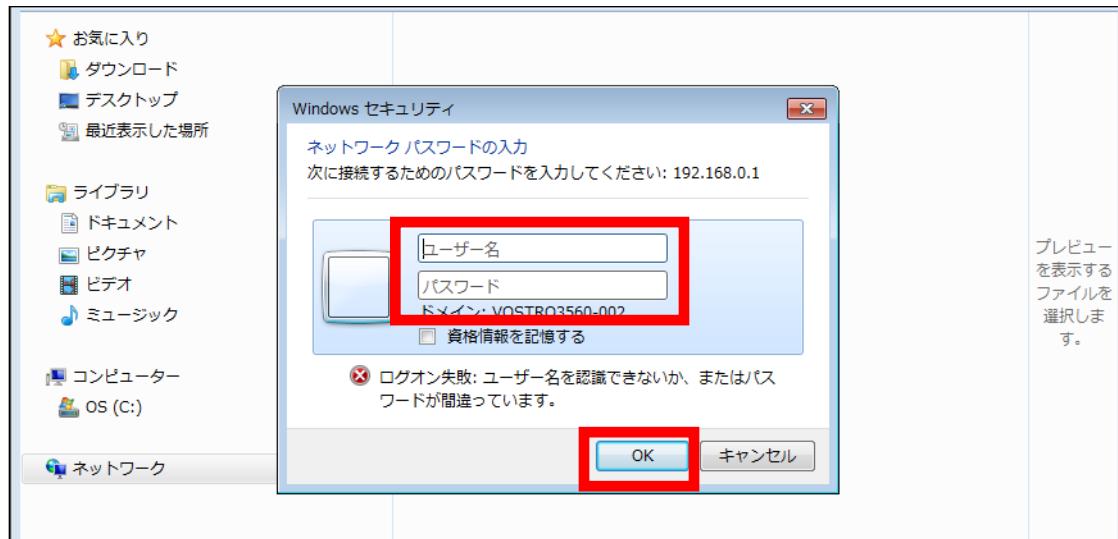
「管理者」権限でログインするには、以下のログイン情報を入力し、[OK]をクリックします。

ユーザー名	root
パスワード	microserver

※上記は初期パスワードですので、ログイン後必ず推測しにくいパスワードに変更してください

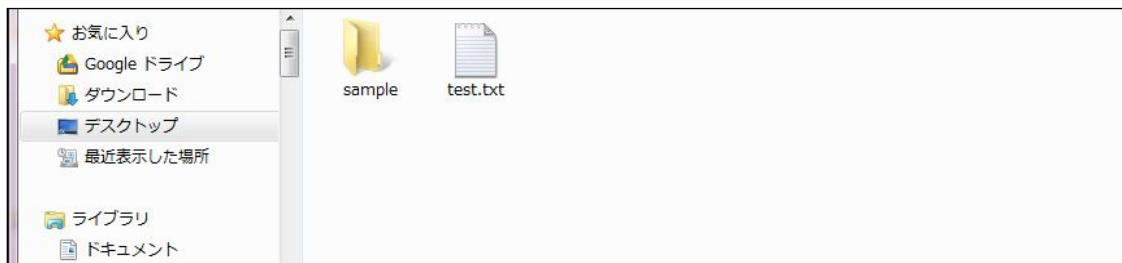
「一般」権限でログインするには、管理者から指定された「ユーザー名」、及び、「パスワード」を入力し、

[OK]をクリックします。



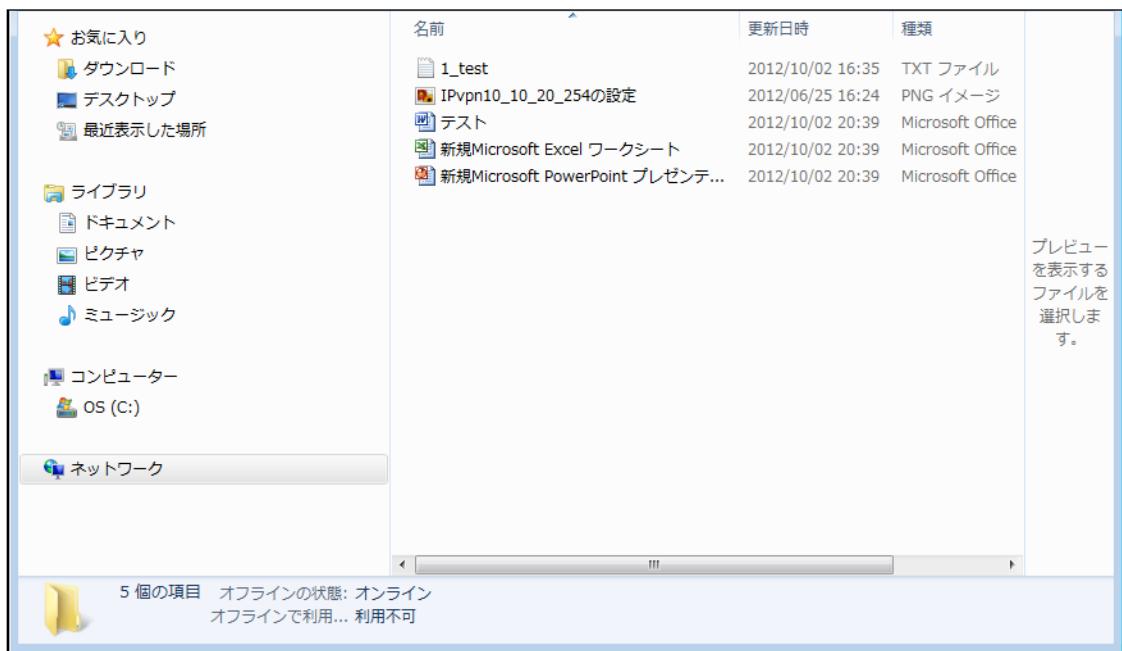
ログイン後、フォルダ内が表示されます。

※アクセス権が閲覧不可のフォルダはログインできません



(2)ファイル操作

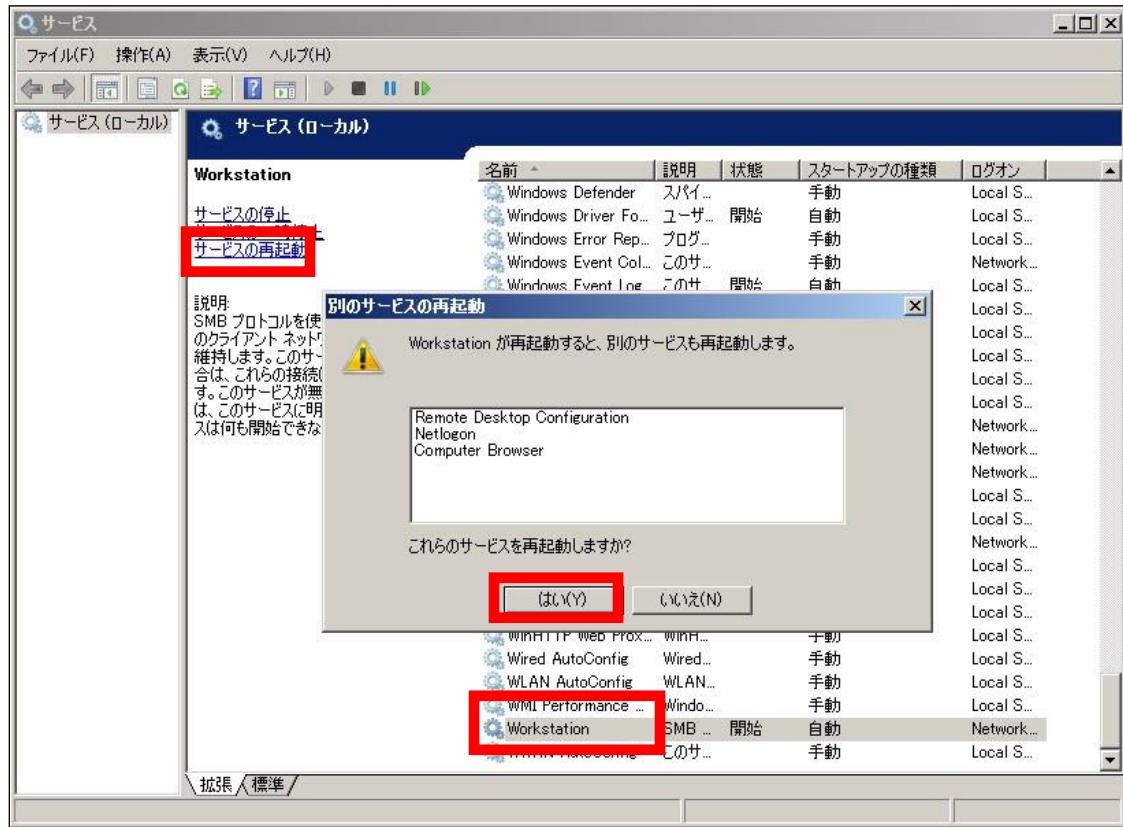
エクスプローラ上から、ファイル・フォルダの新規作成・変更・上書き・削除・コピーを行うことができます。



(3) ログアウト（ログインセッションの切断）

ログアウトする場合は、「コントロールパネル」から「管理ツール」を選択し、「サービス」をクリックします。

サービス画面にて、Workstation を選択し、「サービス再起動」をクリック後、「はい」をクリックします。



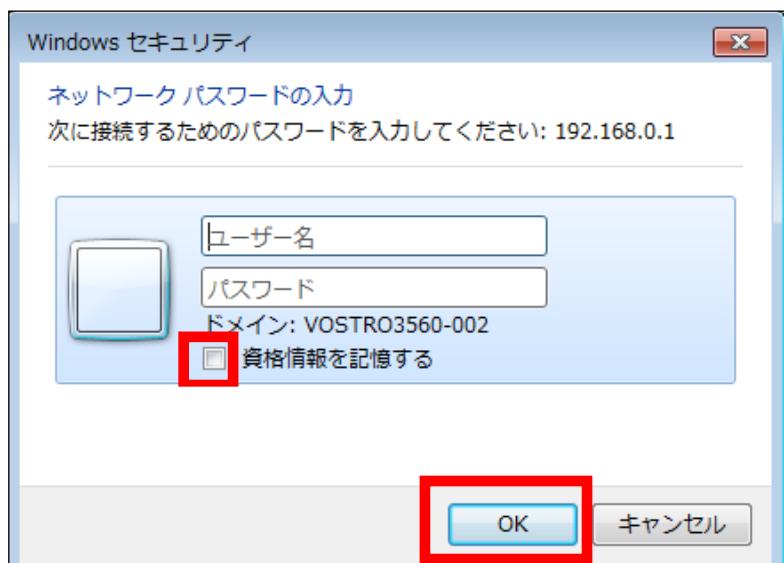
自動ログイン設定の場合

[Windows セキュリティ] ダイアログボックスで [資格情報を記憶する] にチェックマークを付けると、次回からユーザー名とパスワードが自動的に入力されるようになります。記憶させた基本認証のユーザー名とパスワードを削除したいときは、[資格情報マネージャー] を表示し、[Windows 資格情報] で削除します。

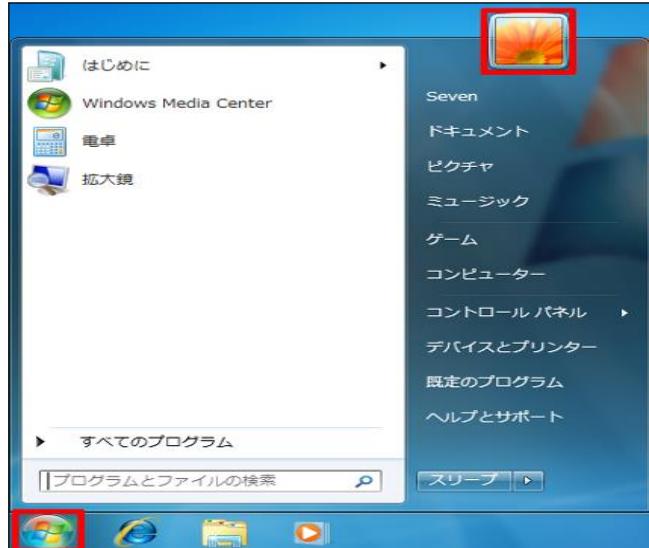
※自動入力設定の場合、下記手順で削除をおこなってから“(3)ログアウト（ログインセッションの切断）”を行って下さい。

自動入力ログイン解除手順

(1) 基本認証が必要な場合、ダイアログボックスが表示され、[資格情報を記憶する] にチェックマークを付けると、次回からユーザー名やパスワードが自動的に入力されるようになります。



(2) ログアウト（ログインセッションの切断）
記憶させた基本認証のユーザー名とパスワードを削除したいときは、[資格情報マネージャー] を表示し、まず [スタート] メニューの画像をクリックします。



(3) [ユーザーアカウント] が表示されたら、
[資格情報の管理] をクリックします。



(4) [資格情報マネージャー] が表示されたら、
[Windows 資格情報] で、ユーザー名とパス
ワードの情報を削除したい Web サイトをク
リックします。

The screenshot shows the Windows Credential Manager. It starts with a note about using the Windows Credential Manager to store login information for websites. Below is a section titled 'Windows 資格情報' with a 'Container' icon. It lists three saved items: 'p1' (updated 2013/02/1), 'p1.in.nttpc.co.jp' (updated 2013/02/1), and 'p2' (updated 2012/04/0). There are buttons for 'Backup' and 'Restore' at the top. At the bottom, there are sections for '証明書に基づいた資格情報' (with a note '証明書がありません。') and '汎用資格情報' (with a button '通用資格情報の追加'). A red box highlights the 'Delete' icons (represented by a small trash can icon) next to each credential entry.

(5) [資格情報コンテナーから削除] をクリックします。



(6) [はい] をクリックします。



4-3. Mac からの利用

[Finder]を起動します。

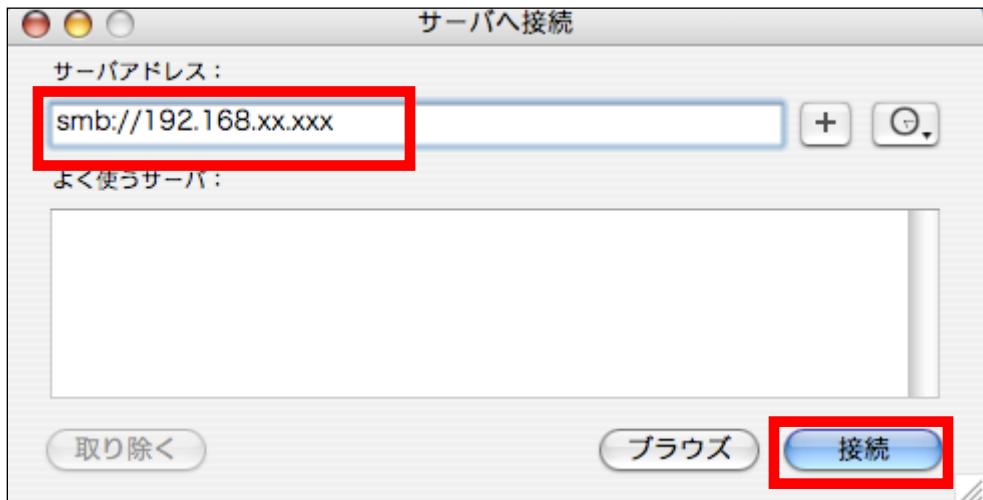


(1)ログイン

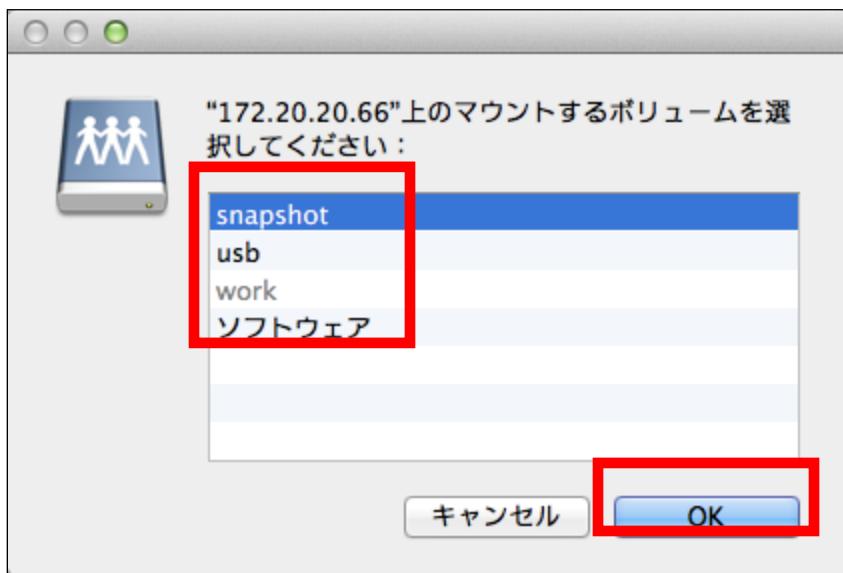
[移動] > [サーバへ接続]を選択します。



[サーバへ接続]ウィンドウにて、Biz Box Server「OS」に設定したIPアドレス（例：smb://192.168.0.100）を入力し、[接続]ボタンをクリックします。



共有フォルダを選択し、「OK」ボタンをクリックします。



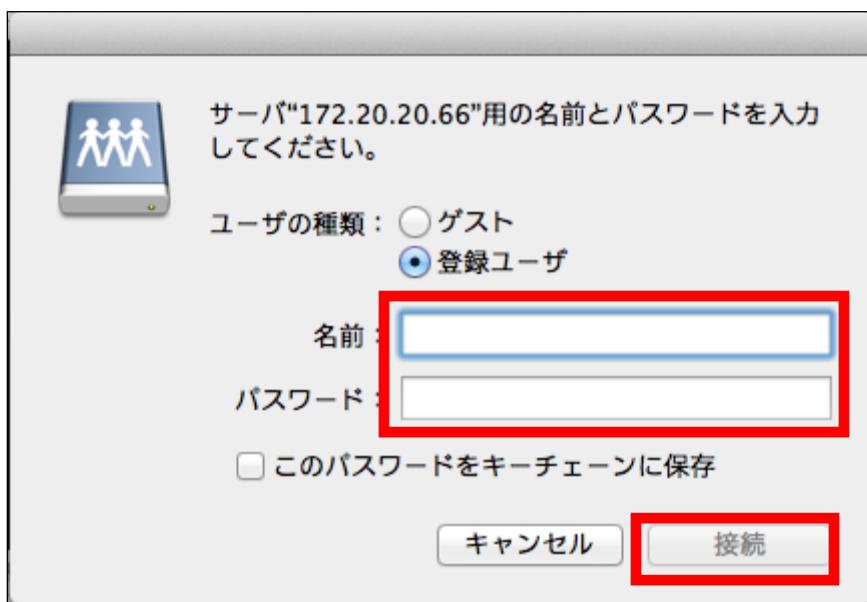
[OK]ボタンをクリックすると、認証画面が表示されます。

「管理者」権限でログインするには、以下のログイン情報を入力し、[接続]をクリックします。

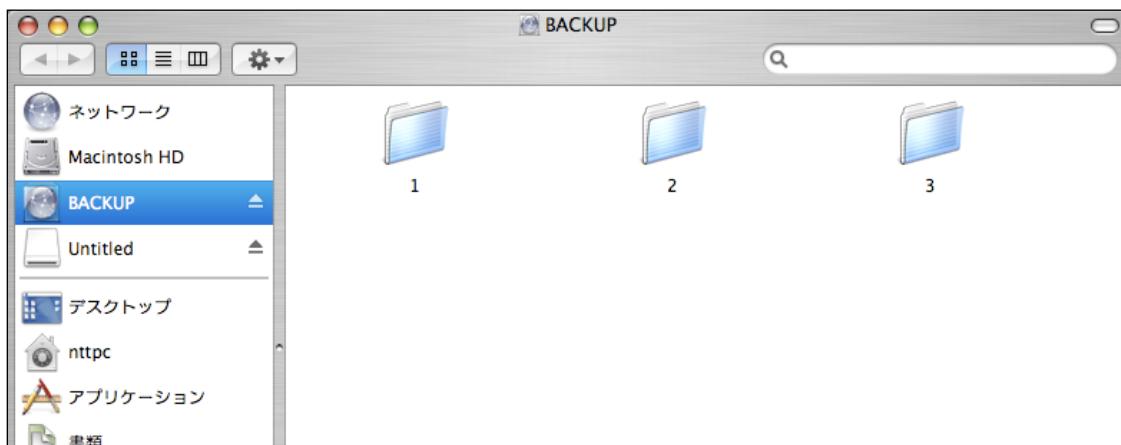
名前	root
パスワード	microserver

※上記は初期パスワードですので、ログイン後必ず推測しにくいパスワードに変更してください

「一般」権限でログインするには、管理者から指定された「ユーザー名」、及び、「パスワード」を入力し、[接続]をクリックします。

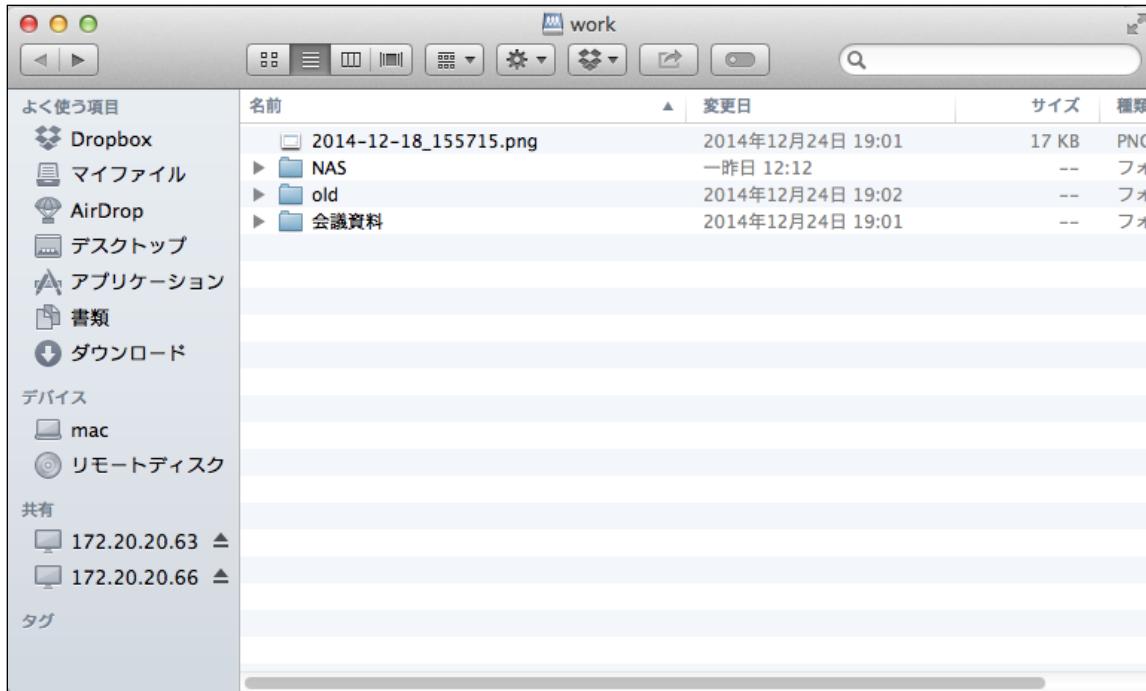


ログイン後、ルートフォルダが表示されます。



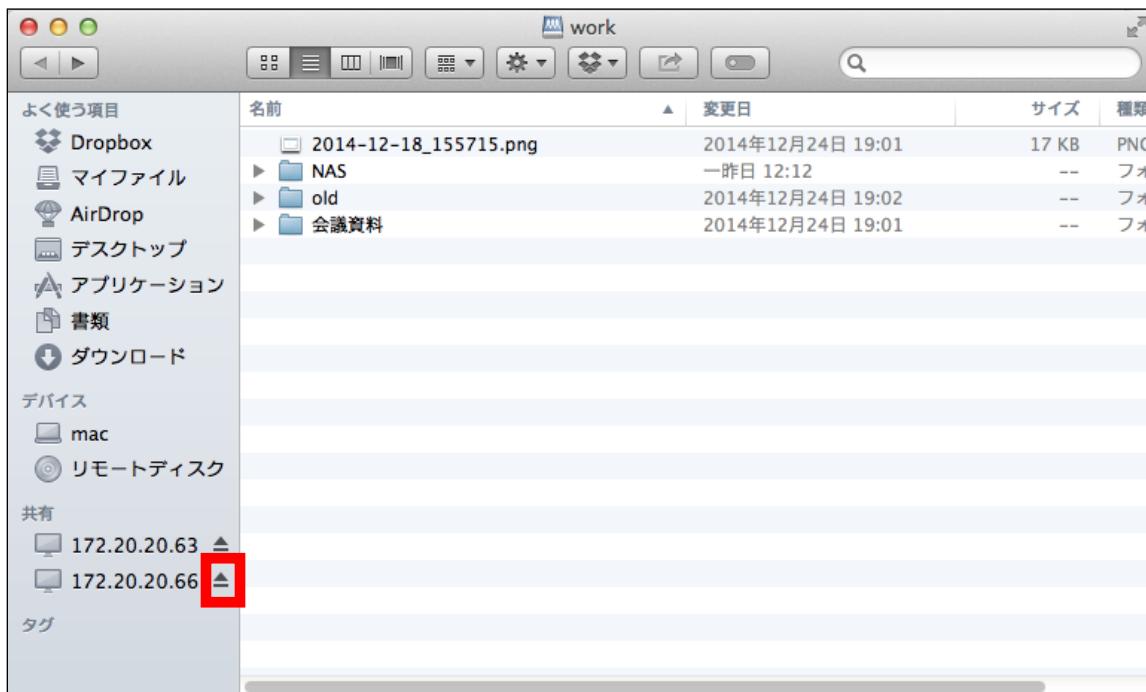
(2)ファイル操作

Finder 上から、ファイル・フォルダの新規作成・変更・上書き・削除・コピーを行うことができます。



(3)ログアウト

ログアウトする場合は、Finder の左メニューの [共有] から Biz Box Server 「OS」 の IP アドレス横のボタンをクリックします。



5.ネットワーク・ストレージ

5-1. 各種操作の説明

「ネットワーク・ストレージ」とは、Biz Box Server「OS」で指定したフォルダをクラウド上にバックアップする機能です。

クラウドへバックアップしたファイルは、WEB インタフェースからアクセス可能です。

本項は、クラウドにバックアップしたファイルのアクセス方法を記載しています。

※本機能を利用するには、SecurityBOSS ネットワーク・ストレージサービスの契約が必要です

Web インタフェースには以下の機能があります。

機能	説明
ログイン	ログイン ID・パスワードにより、本 Web インタフェースにログインします。
機器一覧	ネットワーク・ストレージサービス契約中のBiz Box Server「OS」一覧が表示されます。
バックアップファイルの一覧	クラウドバックアップしたファイルをダウンロードできます。
バックアップ履歴	クラウドバックアップの処理結果の履歴を確認できます。
パスワード変更	本 Web インタフェースのログインパスワードを変更できます。
ログアウト	本 Web インタフェースからログアウトします。

Web インタフェースにアクセスするためには、ログイン用の ID、及び、パスワードが必要です。

開通時に NTTPC から送付される「Security BOSS サービス登録内容のご案内」に記載された「お客様番号」(ログイン ID)、及び、「NSS 初期パスワード」(パスワード) をご利用ください。

Security BOSS®

〒000-0000
東京都港区新橋●-●-● ●●●●●●ビル●階
株式会社●●●●●●部
●●●●●●様

2014年●●月●●日
株式会社NTTPCコミュニケーションズ

Security BOSS サービス登録内容のご案内

この度は、弊社 SecurityBOSS をお申込みくださいまして、誠にありがとうございます。
お客様にお申込みいただきました内容を、下記のとおり登録いたしましたので、ご確認かたお願い申し上げます。
登録内容をご確認のうえ、ご不明な点、もしくは、相違等がございましたら、下記連絡先までお問い合わせください
ますよう、お願ひ申し上げます。

お願い：本書は弊社へのお問い合わせの際に必要となりますので、大切に保管してください。

お客様情報

ご契約者名 (ご担当者)	株式会社●●●●●● ●●●●●●部 ●●●●様
ご契約住所	〒000-0000 東京都港区新橋●-●-● ●●●●●●ビル●階
お客様番号	SB●●●●
NSS初期パスワード	[REDACTED]
お申し込み種別	新規

※ログイン ID は 1 つのみです。(管理者用、一般ユーザー用に分かれていません)

5-2. ログイン

5-2-1. 2018年11月1日以前に開通したお客様

お客様のご契約プランにあわせて、以下のアドレスにブラウザでアクセスします。

- 通常（インターネット経由バックアップ）の場合：「<https://nss.securityboss.jp/>」
- VPN接続プランご契約（VPN経由バックアップ）の場合：「<https://100.64.0.3/>」

あらかじめ、通知されたログインID、及び、パスワードをご利用ください。

Security BOSS ネットワーク・ストレージサービス - Windows Internet Explorer
https://nss.securityboss.jp/web_users/sign_in
ファイル(F) 儲蔵(E) 表示(V) お問い合わせ(A) ツール(T) ヘルプ(H)
お気に入り Security BOSS ネットワーク・ストレージサービス

Security BOSS ネットワーク・ストレージサービス

ログインID
パスワード
ログイン

Copyright © 2013 NTT PC Communications Incorporated, All Rights Reserved.

ログインが成功すると、現在登録されている機器一覧のステータス確認が表示されます。

NTTPC COMMUNICATIONS

機器一覧 パスワード変更 ログアウト

機器一覧

NTTPC-WebUI様にご登録いただいた機器の一覧です。

ID	バックアップの契約容量	最終バックアップ日時	バックアップファイルの一覧	バックアップ履歴	サービスの状態
nas010@nttpc.co.jp	定期 10GB リアルタイム 10GB	2013/03/01 10:45:20	<input type="button" value="定期"/> <input type="button" value="リアルタイム"/>	<input type="button" value="表示"/>	稼働中
nas011@nttpc.co.jp	定期 10GB リアルタイム 10GB	2013/03/12 10:11:21	<input type="button" value="定期"/> <input type="button" value="リアルタイム"/>	<input type="button" value="表示"/>	稼働中
nas012@nttpc.co.jp	定期 10GB	2013/03/11 10:04:01	<input type="button" value="定期"/> <input type="button" value="リアルタイム"/>	<input type="button" value="表示"/>	稼働中

5-2-2. 2018年11月1日以降に開通したお客様

お客様のご契約プランにあわせて、以下のアドレスにブラウザでアクセスします。

- 通常（インターネット経由バックアップ）の場合：「<https://nss.securitybox.jp/>」

あらかじめ、通知されたログインID、及び、パスワードをご利用ください。

The screenshot shows the login interface for the Security BOSS service. At the top left is the 'Security BOSS' logo. Below it is a form with two input fields: 'ログインID' (Login ID) and 'パスワード' (Password), both of which are enclosed in a large red rectangular box. At the bottom of the form is a blue rectangular button labeled 'ログイン' (Login), which is also enclosed in a red box. The entire form is set against a light gray background.

Copyright © 2018 NTT PC Communications Incorporated. All Rights Reserved.

5-3. 機器一覧

5-3-1. 2018年11月1日以前に開通したお客様

ログイン後、現在登録されている機器一覧のステータスを確認できます。

The screenshot shows the 'Machine List' page of the NTT PC Communications web interface. At the top, there is a header with the NTT PC Communications logo and navigation links for 'Machine List', 'Password Change', and 'Logout'. Below the header, the title 'Machine List' is displayed. A note below the title states: 'NTTPC-WebUIテスト様にご登録いただいた機器の一覧です。' (A list of machines registered by NTTPC-WebUI test users). The main content is a table listing three machines:

ID	バックアップの契約容量	最終バックアップ日時	バックアップファイルの一覧	バックアップ履歴	サービスの状態
nas010@nttpc.co.jp	定期 10GB リアルタイム 10GB	2013/03/01 10:45:20	<input type="checkbox"/> 定期 <input type="checkbox"/> リアルタイム	<input type="checkbox"/> 表示	稼働中
nas011@nttpc.co.jp	定期 10GB リアルタイム 10GB	2013/03/12 10:11:21	<input type="checkbox"/> 定期 <input type="checkbox"/> リアルタイム	<input type="checkbox"/> 表示	稼働中
nas012@nttpc.co.jp	定期 10GB	2013/03/11 10:04:01	<input type="checkbox"/> 定期 <input type="checkbox"/> リアルタイム	<input type="checkbox"/> 表示	稼働中

表示される内容は以下のとおりです。

項目名	説明
ID	お客様の契約 ID が表示されます。
バックアップの契約容量	定期：契約利用する契約容量です。 リアルタイム：本サービスでは使用しません。
最終バックアップ日時	クラウドバックアップが最後に行われた日時が表示されます。
バックアップファイルの一覧	定期：クラウドバックアップされたファイルやフォルダを確認できます。 リアルタイム：本サービスでは使用しません。
バックアップ履歴	クラウドバックアップの履歴を確認できます。
サービスの状態	稼働中であるかどうかを確認できます。

(1)バックアップファイル一覧

機器一覧画面から[バックアップファイル一覧]の[定期]をクリックすると、バックアップされているファイル一覧が表示されます。

※フォルダ左にある「+」をクリックすると更にファイル・フォルダが展開表示されます

ファイルをダウンロードするには、対象ファイルをクリックします。

※バックアップファイルに対して可能な操作はダウンロードのみです（編集・削除はできません）

The screenshot shows the 'Backup File List' section of the NTT PC Communications interface. At the top, there's a navigation bar with links for 'Machine List', 'Password Change', and 'Logout'. Below that is a title 'Backup File List' with a subtitle 'A list of files being backed up by nas011@nttpc.co.jp.' A tree view shows a 'backup' folder containing several Excel files: '交通費.xlsx', '出張費.xlsx', and '勤怠管理表.xlsx'. Inside the 'backup' folder, there are three sub-folders: '営業', '経理', and '総務'. A 'system.dat' file is also listed at the bottom of the folder structure. At the bottom of the page, there's a copyright notice: 'Copyright © 2013 NTT PC Communications Incorporated, All Rights Reserved.'

(2)バックアップ履歴

機器一覧画面から[バックアップ履歴]の[表示]をクリックすると、「クラウドバックアップの開始・終了・状態」を確認できます。

The screenshot shows the 'Backup History' section of the NTT PC Communications interface. At the top, there's a navigation bar with links for 'Machine List', 'Password Change', and 'Logout'. Below that is a title 'Backup History' with a subtitle 'A list of backup histories for nas011@nttpc.co.jp.' A table displays the following data:

Backup Start Time	Backup End Time	Status
2013/03/14 22:55:27	2013/03/14 22:55:52	Success
2013/03/14 22:50:28	2013/03/14 22:50:52	Success
2013/03/14 22:45:28	2013/03/14 22:45:53	Success
2013/03/14 22:40:28	2013/03/14 22:40:53	Success
2013/03/14 22:35:27	2013/03/14 22:35:52	Success
2013/03/14 22:30:28	2013/03/14 22:30:52	Success
2013/03/14 22:25:28	2013/03/14 22:25:53	Success
2013/03/14 22:22:52	2013/03/14 22:22:46	Error

5-3-2. 2018年11月1日以降に開通したお客様

ログインすると以下のような表示画面になります。

The screenshot shows the 'File List' (ファイル一覧) section of the Security BOSS® interface. At the top, there are three navigation buttons: 'File List' (ファイル一覧), 'Password Change' (パスワード変更), and 'Logout' (ログアウト). Below these buttons is a search bar with a placeholder 'Search' (検索) and a search icon. The main area displays a table with two entries:

Name (Name)	Size (Size)	Last Updated (最終更新日)
data1		
data2		

At the bottom of the interface, there is a copyright notice: 'Copyright © 2018 NTT PC Communications Incorporated, All Rights Reserved.'

(1)バックアップファイル一覧

[ファイル一覧] をクリックすると、バックアップされているファイルとフォルダの一覧が表示されます。

ファイルをダウンロードするには、対象ファイルをクリックします。

表示しているファイル一覧がどこのフォルダかどうかを表示画面上部(赤枠)に表示されます。

※バックアップファイルに対して可能な操作はダウンロードのみです（編集・削除はできません）

The screenshot shows the 'File List' (ファイル一覧) section of the Security BOSS® interface. A red box highlights the path '*/data2/データ2' at the top left, indicating the current folder being viewed. The rest of the interface is identical to the previous screenshot, showing the file list and search functionality.

5-4. パスワード変更

5-4-1. 2018年11月1日以前に開通したお客様

[パスワード変更]をクリックします。

現在のパスワード、及び、新しいパスワード、新しいパスワード（確認）を入力し、[変更]をクリックします。

NTT PC COMMUNICATIONS

機器一覧 パスワード変更 ログアウト

パスワード変更

パスワードのルールは以下の通りです。

- 使用可能文字: 英大文字、英小文字、数字、記号(@_#\$%^&*;?!=/-)
- 8文字以上128文字以下
- 英大文字、英小文字、数字、記号のうちから3種類以上使用する。
- ログインIDと同じ文字列を含まない。

現在のパスワード

新しいパスワード

新しいパスワード(確認)

変更

Copyright © 2013 NTT PC Communications Incorporated, All Rights Reserved.

パスワードを入力し、変更をクリックすると実行結果が表示され、機器一覧画面に戻ります。

NTT PC COMMUNICATIONS

機器一覧 パスワード変更 ログアウト

パスワードを変更しました。

機器一覧

NTTPC-WebUIテスト様にご登録いただいたいる機器の一覧です。

ID	バックアップの契約容量	最終バックアップ日時	バックアップファイルの一覧	バックアップ履歴	サービスの状態
nas010@nttpc.co.jp	定期 10GB リアルタイム 10GB	2013/03/01 10:45:20	定期 リアルタイム	表示	稼働中
nas011@nttpc.co.jp	定期 10GB リアルタイム 10GB	2013/03/15 23:58:45	定期 リアルタイム	表示	稼働中
nas012@nttpc.co.jp	定期 10GB リアルタイム 10GB	2013/03/11 10:04:01	定期 リアルタイム	表示	稼働中

Copyright © 2013 NTT PC Communications Incorporated, All Rights Reserved.

5-4-2. 2018年11月1日移行に開通したお客様

[パスワード変更] をクリックします。

現在のパスワード、及び、新しいパスワード、新しいパスワード（確認）を入力し、[変更] をクリックします。

Security BOSS®

ファイル一覧 パスワード変更 ログアウト

パスワード変更

現パスワード
新パスワード
新パスワードの確認

変更

パスワードポリシー

- 8文字以上64文字以下
- 使用可能文字
 - 英大文字
 - 英小文字
 - 数字
 - 記号
@_!#\$%^&*?!=/
- 英大文字、英小文字、数字、記号のうち3種以上使用
- ログインIDを含まない

パスワードを入力し、変更をクリックすると実行結果が表示され、ファイル一覧画面に戻ります。

Security BOSS®

ファイル一覧 パスワード変更 ログアウト

ファイル一覧

前方一致で検索 検索

名前 サイズ 最終更新日

data1
data2

Copyright © 2018 NTT PC Communications Incorporated, All Rights Reserved.

5-5. ログアウト

5-5-1. 2018年11月1日移行に開通したお客様

上部メニューの[ログアウト]をクリックします。



The screenshot shows the NTT PC Communications interface. At the top, there is a navigation bar with three items: '機器一覧' (Equipment List), 'パスワード変更' (Password Change), and 'ログアウト' (Logout). The 'ログアウト' button is highlighted with a red box. Below the navigation bar, the page title 'バックアップの履歴' (Backup History) is displayed. A subtitle indicates it is a list of backup histories for the user 'nas011@nttpc.co.jp'. A table follows, showing eight rows of backup history data:

バックアップ開始日時	バックアップ完了日時	バックアップの状態
2013/03/14 22:55:27	2013/03/14 22:55:52	成功
2013/03/14 22:50:28	2013/03/14 22:50:52	成功
2013/03/14 22:45:28	2013/03/14 22:45:53	成功
2013/03/14 22:40:28	2013/03/14 22:40:53	成功
2013/03/14 22:35:27	2013/03/14 22:35:52	成功
2013/03/14 22:30:28	2013/03/14 22:30:52	成功
2013/03/14 22:25:28	2013/03/14 22:25:53	成功
2013/03/14 22:22:52	2013/03/14 22:23:16	成功

ログアウトするとログイン画面が表示されます。



The screenshot shows the 'Security BOSS ネットワーク・ストレージサービス' (Security BOSS Network Storage Service) login page. It features two input fields: 'ログインID' (Login ID) and 'パスワード' (Password), each with its own input box. Below these fields is a blue 'ログイン' (Login) button. At the bottom of the page, there is a copyright notice: 'Copyright © 2013 NTT PC Communications Incorporated, All Rights Reserved.'

5-5-2. 2018年11月1日移行に開通したお客様

上部メニューの[ログアウト]をクリックします。

The screenshot shows the Security BOSS interface. At the top, there is a navigation bar with three items: 'ファイル一覧' (File List), 'パスワード変更' (Password Change), and 'ログアウト' (Logout). The 'ログアウト' button is highlighted with a red box. Below the navigation bar, there is a section titled 'ファイル一覧' (File List) with a file icon. It contains two entries: 'data1' and 'data2'. There are search and navigation buttons ('前', '次') at the bottom of this section. At the very bottom of the page, there is a copyright notice: 'Copyright © 2018 NTT PC Communications Incorporated, All Rights Reserved.'

ログアウトするとログイン画面が表示されます。

The screenshot shows the Security BOSS login screen. It features two input fields: 'ログインID' (Login ID) and 'パスワード' (Password), both with placeholder text. Below these fields is a blue 'ログイン' (Login) button. At the bottom of the screen, there is a copyright notice: 'Copyright © 2018 NTT PC Communications Incorporated, All Rights Reserved.'

5-6. 変更オーダ

「変更オーダ」とは、SecurityBOSS ネットワーク・ストレージサービスの契約をしているお客様の「契約容量の変更」、または、「住所の変更」が必要になった際に行うオーダです。

本章は、変更オーダの申請方法を記載しています。

SecurityBOSS ネットワーク・ストレージサービスの「契約容量の変更」、または、「住所の変更」を行う場合は、NTTPC 宛にお問い合わせください。

お問い合わせ後、「変更オーダシート」が送付されますので、当シートに変更内容を記入後、NTTPC 宛にご返送ください。

Security BOSS ネットワーク・ストレージサービス 変更オーダシート —受付シート—					
株式会社エヌ・ティ・ティピー・シーコミュニケーションズ 御中 v1.0					
① 変更オーダー					
1. お客様情報					
ご担当者氏名					
変更SOシート記載日	年	月	日		
変更作業希望日	年	月	日		
お客様番号					
サービスID					
② 提供サービス					
提供機能		現状設定	機能変更		提出シート
			有効 / 無効	変更	
基本設定	お客様情報	—	—	<input type="checkbox"/> 変更	お客様情報変更シート
提供機能	オンライン・ストレージ	<input type="checkbox"/> 無効	<input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 無効	<input type="checkbox"/> 変更	ストレージ設定変更シート
	バックアップ・ストレージ	<input type="checkbox"/> 無効	<input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 無効	<input type="checkbox"/> 変更	ストレージ設定変更シート
○ 記入方法					
・提供機能を変更する場合は、"機能変更"にて有効/無効を選択下さい。 ・提供中の機能について設定内容を変更する場合は、"設定変更"にて変更を選択し、該当する"提出シート"に詳細をご記入下さい。					
○ 注意事項					
・オンライン/バックアップ・ストレージ共に、契約容量を変更する場合は、5,250円の工事料金が発生いたします(税込)。					

5-7. 容量警告通知

SecurityBOSS ネットワーク・ストレージサービスの契約の場合、現在ご契約の容量の 80%以上を使用すると、

1 日に 1 回、容量警告通知メールが送信されます。

現在の利用状況を確認していただき、不要なファイルを削除し、ネットワーク・ストレージ容量の空きを増やしていただかずか、ご契約の容量の増設をご検討ください。

送信されるメール例

To	お客様アドレス
Subject:	【ネットワーク・ストレージサービス】バックアップ容量 80%超過(NSS999999)
Cc:	soc-all@nttpc.co.jp
From:	soc-all@nttpc.co.jp
Body:	<p>ご担当者様 NTTPC コミュニケーションズ セキュリティオペレーションセンタでございます。 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。</p> <p>ご利用いただいておりますネットワーク・ストレージ サービスの Backup フォルダ使用容量がご契約容量の 80%を超過しております。</p> <p>使用容量が 100%を超過しますと超過分データの保存ができなくなり、 クラウドバックアップサービスが停止します。 不要なファイルを整理いただき、ご契約容量の増設をご検討ください。 ※本メールは使用容量が 80%を超過した際、送付されます。</p>

契約容量: 100.0 GB

使用容量: 80.0 GB (使用%: 80%)

確認時間: 2016/10/17 12:00

以上、ご不明な点等ございましたら下記窓口までお問合せください。

株式会社 NTTPC コミュニケーションズ

セキュリティ・オペレーション・センタ

TEL 0120-708-602

E-mail : soc-all@nttpc.co.jp

6. PC バックアップ

6-1. 概要

「PC バックアップ」とは、現在お使いの PC に指定のバックアップソフトウェアをインストール頂き、Biz Box Server 「OS」へ定期的にイメージをバックアップすることで、PC 障害時のリカバリ（復旧）を実現します。本項では、PC バックアップソフトを利用した連携部分のみ記載します。

※操作方法・サポート窓口の詳細は、同梱のソフトウェア補足説明書、及び、CD 内のマニュアルをご参照ください。

Biz Box Server 「OS」には、以下の PC バックアップソフトが同梱されています。



※本ソフトウェアを PC バックアップをしたい Windows 端末にインストールし、Biz Box Server 「OS」上へバックアップします

※本製品は Biz Box Server 「OS」 「6」 および 「12」 のみ付属しております。

Shadow Protect SPX 内容物は以下のとおりです。

- ・引換コード カード
- ・メディアキット説明書
- ・SHADOW PROTECT SPX DESKTOP Product installation CD
- ・SHADOW PROTECT SPX StorageCraft Recovery Environment CrossPlatform DVD

本ソフトウェア「ShadowProtect」で利用する機能は以下のとおりです。

機能	説明
バックアップ	PC の OS、アプリケーション、サービス、設定、データを含むシステム全体のバックアップを、Biz Box Server 「OS」へ保存することでデータ保護を実現します。
リカバリ	PC 障害時に、Biz Box Server 「OS」上にバックアップしておいたイメージデータを利用し、復旧用 PC に対してのリカバリを実現します。

6-2. インストール

同梱されている CD 内のマニュアルを参照し、インストール作業を実施します。

①シリアルナンバーの発行

引換コード カードから「シリアルナンバーを発行するには」を参照し引換コードとその他の必要事項を登録します。

登録の際、以下の URL ヘログインします。

URL	https://eu.storagecraft.com/STCRedemptionCenterJP/index.jsp
-----	---

引換コード カードに記載されている “Redemption Code”(引換コード) を入力します。



“StorageCraft シリアルナンバー発行センター”画面で詳細項目を入力し、「送信」ボタンをクリックします。

“ユーザー”／“リセラー” の各項目は共に内容は同一のお客様の情報（契約者情報）を入力して下さい。

“連絡先” はユーザーを選択してください。 （＊＊＊＊が付いている項目は必須項目です。）

StorageCraftシリアルナンバー発行センター

StorageCraftシリアルナンバー発行センター

あなたの ShadowProtect を登録し、シリアルナンバー（ライセンスキー）を発行するために、以下の情報を入力してください。シリアルナンバーは、30日間の試用期間終了後も ShadowProtect を使用できるようにするために必要です。

引換コード: FXXXX-XXXXX-XXXXX

1. “ユーザー”項目を入力

ユーザー
姓*: [入力欄]
名*: [入力欄]
Eメール*: [入力欄]
会社名*: [入力欄]
郵便番号*: [入力欄]
都道府県*: 都道府県をお選びください。
市郡*: [入力欄]
町村番地*: [入力欄]
ビル・マンション名: [入力欄]
電話番号: [入力欄]

2. “リセラー”項目を入力

リセラー
姓*: [入力欄]
名*: [入力欄]
Eメール*: [入力欄]
会社名*: [入力欄]
郵便番号*: [入力欄]
都道府県*: 都道府県をお選びください。
市郡*: [入力欄]
町村番地*: [入力欄]
ビル・マンション名: [入力欄]
電話番号: [入力欄]

3. “ユーザー”に変更する

連絡先: リセラー ▼

*必須

4. “送信”項目を入力

[送信] ボタン

送信が完了すると、入力済みメールアドレス宛てに“シリアルナンバー” の記載されたメールが送信されます。

Eメール 例) ※Eメールのフォーマットは変更になる場合があります。

E-MAIL	<p>ShadowProtect 製品登録 sales@storagecraft.com</p> <p>ソフトウェアのご登録、ありがとうございます。下記のシリアルナンバー（ライセンスキード）を使用して、ShadowProtect のアクティベーションを行ってください。</p> <p>引換コード: xxxx-xxxxx-xxxx ←※自分が入力した RedemptionCode</p> <p>シリアルナンバー: xxxx-xxxx-xxxx-xxxx ←※新規発行されたシリアルナンバー</p> <p>姓: × × × ×</p> <p>名: × × × ×</p> <p>会社名: × × × × × 株式会社</p> <p>Eメール: xxxx@xxxxxxxx.co.jp</p> <p>保守開始日: 2016/10/17</p> <p>保守終了日: 2021/10/17</p> <hr/> <p>ストレージクラフト テクノロジー合同会社</p> <p>〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-1-23 虎ノ門東宝ビル 5F</p> <p>phone: 03-6206-6285 fax: 03-6206-6287</p> <p>www.storagecraft.co.jp</p> <hr/>
--------	--

インストール完了後、上記で取得したシリアルナンバー（ライセンスキー）を使用して、ShadowProtect アクティベーションを行います。

②ShadowProtect SPX インストール

※メディアキット説明書の「インストール／アンインストールについて」をご一読頂き、以下に進みます。

お使いの PC がインターネットに接続されていることを確認します。

Product installation CD を PC にセットします。

自動で CD から起動してこない場合は、CD 内の[AUTORUN.CMD]を実行します。

対象がダウンロードされますので「ShadowProtect SPX-X.X.X-X64_setup.msi」を実行します。

※お使いのブラウザによって上記の表記が異なります。

下記メニューが起動後、インストールを開始します。（※画面右上より日本語を選択することができます。）

「ShadowProtect SPX セットアップ」をクリックします。



STORAGECRAFT.

Select Language 日本語 ▾

製品インストール CD

StorageCraft 製品インストール CD をご利用いただきありがとうございます。下のリンクをクリックして、お使いのマシンに StorageCraft 製品をインストールしてください。これらの製品を正しくインストールするには、管理者としてログインする必要があります。

[ShadowProtect® SPX セットアップ](#)[StorageCraft® ImageManager™ セットアップ](#)

Windows Server 2008 R2 などの Windows Server オペレーティングシステムが推奨されます。

[StorageCraft® ShadowStream™ セットアップ](#)

Windows Server 2008 R2 などの Windows Server オペレーティングシステムが推奨されます。

[ShadowProtect® Granular Recovery for Exchange セットアップ](#)[使用許諾契約書](#)

ReadMe

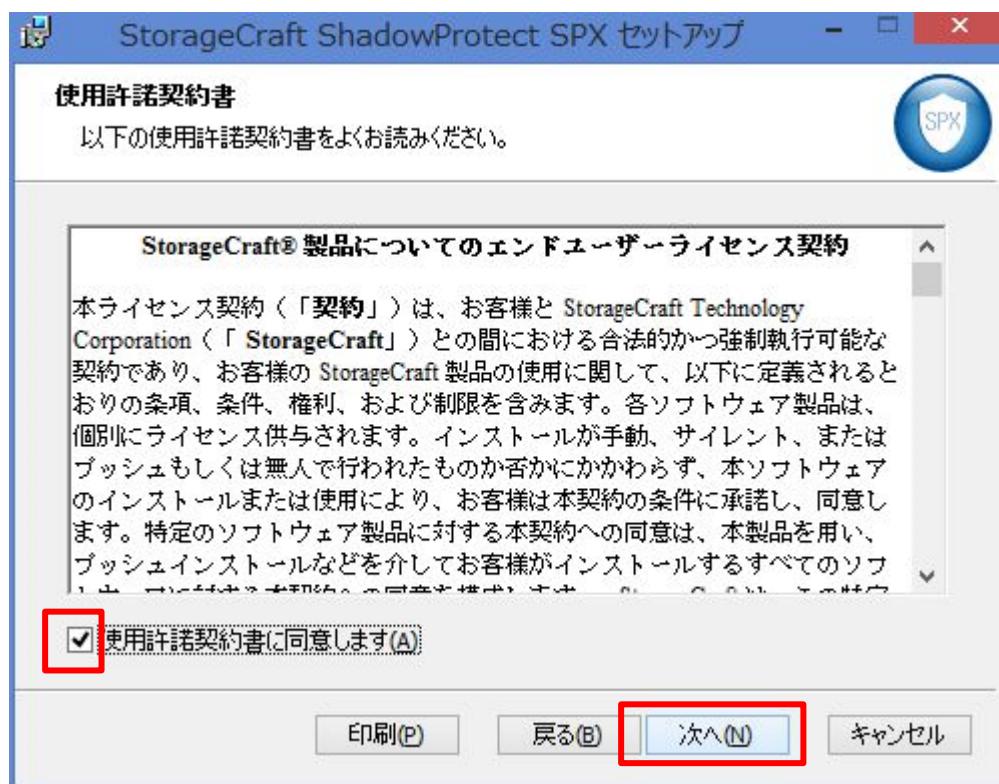
[CD の内容を参照](#)

ユーザーガイド

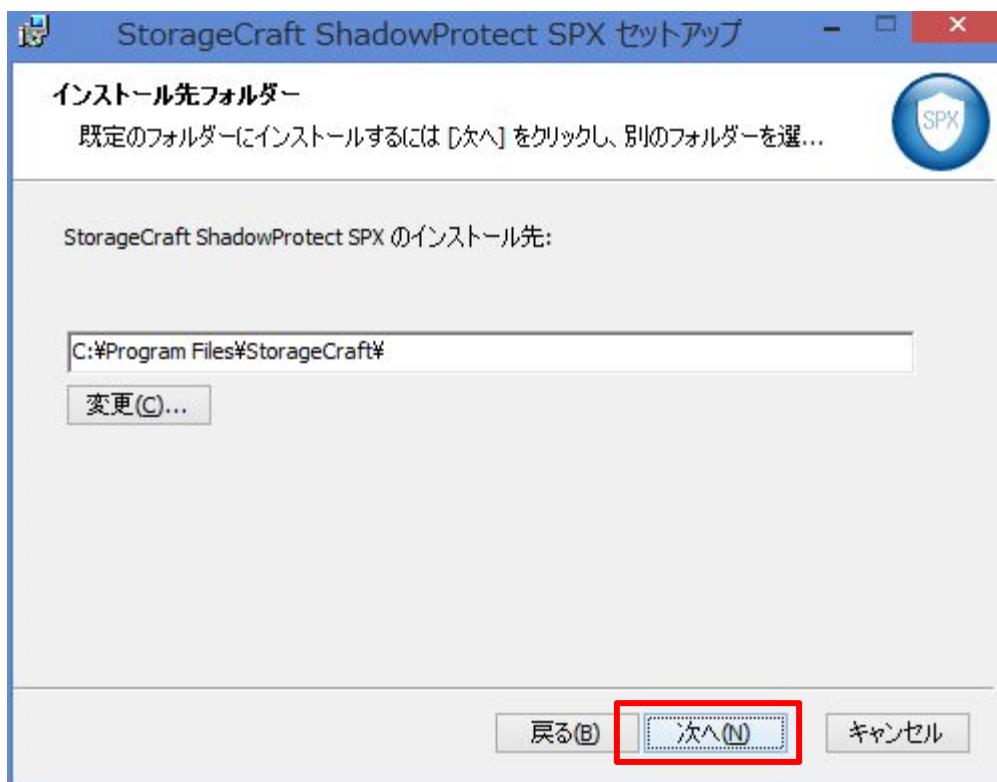
「次へ」をクリックします。



「使用許諾契約書に同意します」にチェックをつけます。



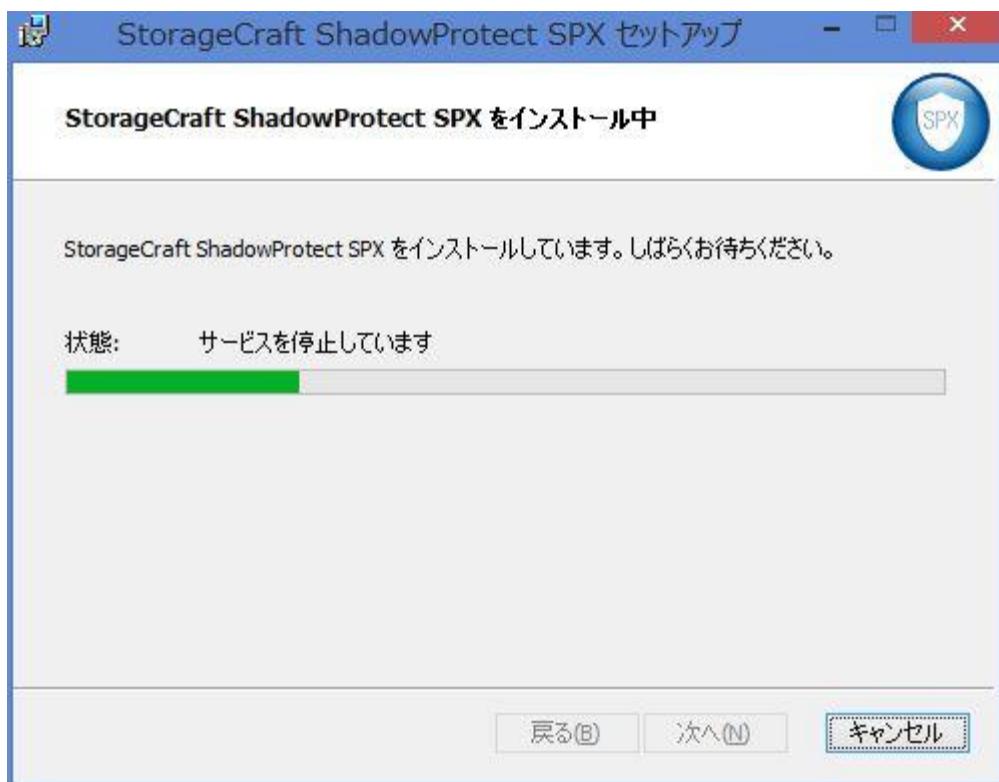
インストール先が表示されます。そのまま「次へ」をクリックします。



「インストール」をクリックします。



インストールが開始されます。



「完了」をクリックします。



「はい」をクリックします。 PCが再起動します。



インストールは完了しました。

③アクティベーション

スタートメニューまたは、デスクトップのショートカットアイコンから ShadowProtect SPX を起動します。



“ユーザー名”／“パスワード”にそれぞれ入力し「接続」をクリックします。

※PCの“管理者権限ユーザー”を入力します。



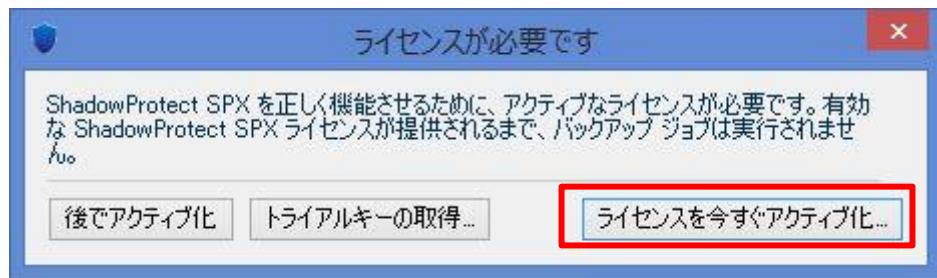
※権限のないユーザーアカウントで接続ボタンを押すと以下のメッセージが表示されます。

「無効なユーザー権限です。接続先のマシンへの管理者アクセス権があることを確認してください。」

管理者権限のユーザーとパスワードを入力し「接続」をクリックします。

“ライセンスが必要です”ウィンドウが起動します。

「ライセンスを今すぐアクティブ化...」をクリックします。



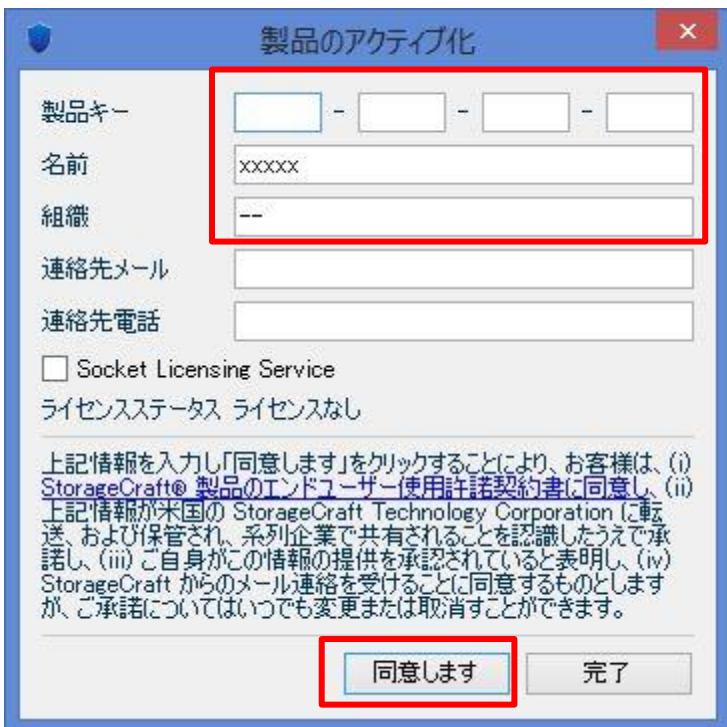
お使いの PC がインターネットに接続されていることを確認のうえ、以下実施してください。

製品キー／名前（ご利用担当者名）／組織（法人名）を入力します。

※必須（他の項目は必要に応じて入力してください。）

※製品キーはメールにて送付されている「シリアルナンバー（ライセンスキー）」を入力します。

「同意します」をクリックします。

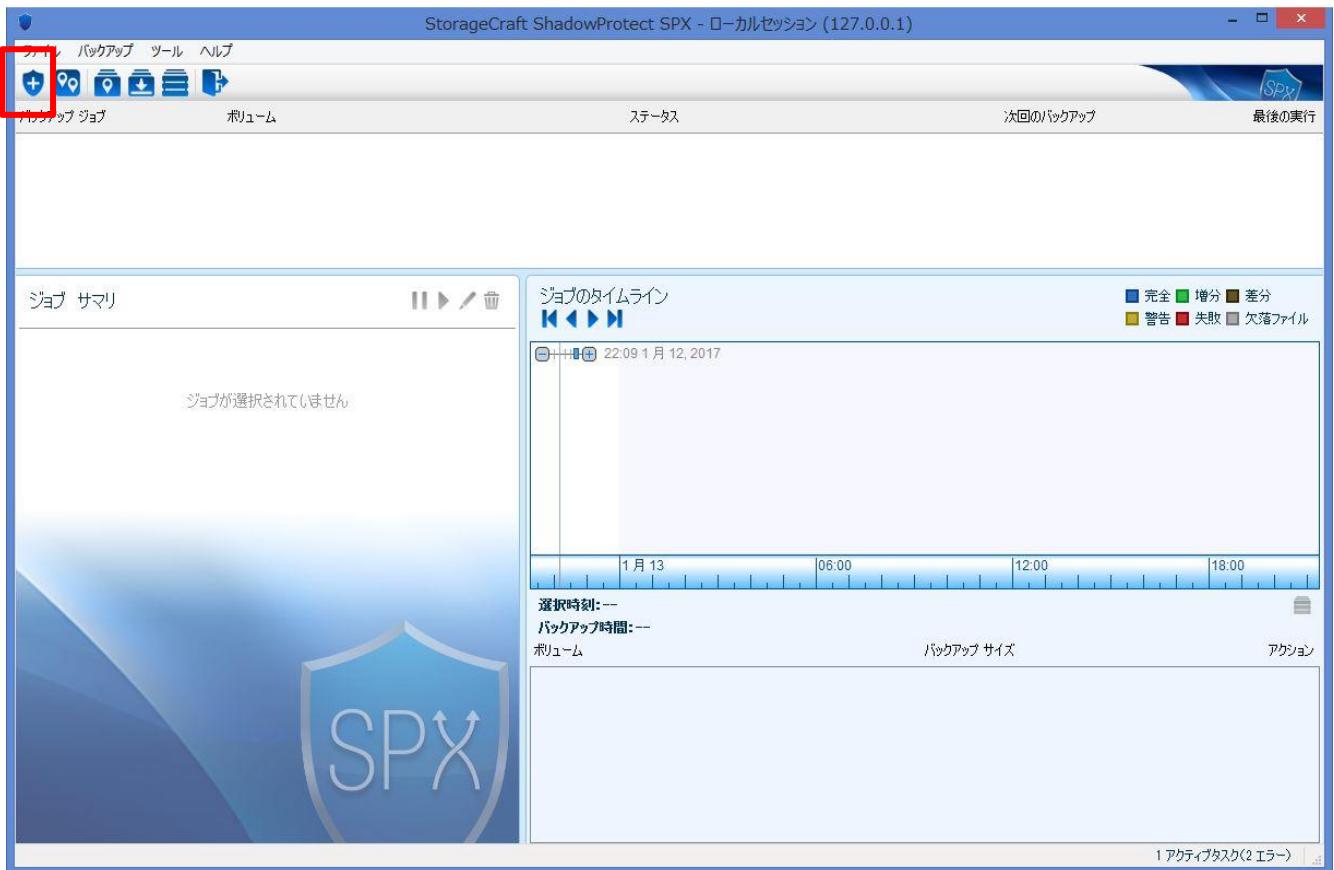


製品のアクティベーションは完了です。

6-3. バックアップ

同梱されている CD 内のマニュアルを参照し、バックアップウィザードを使用してバックアップジョブを作成します。

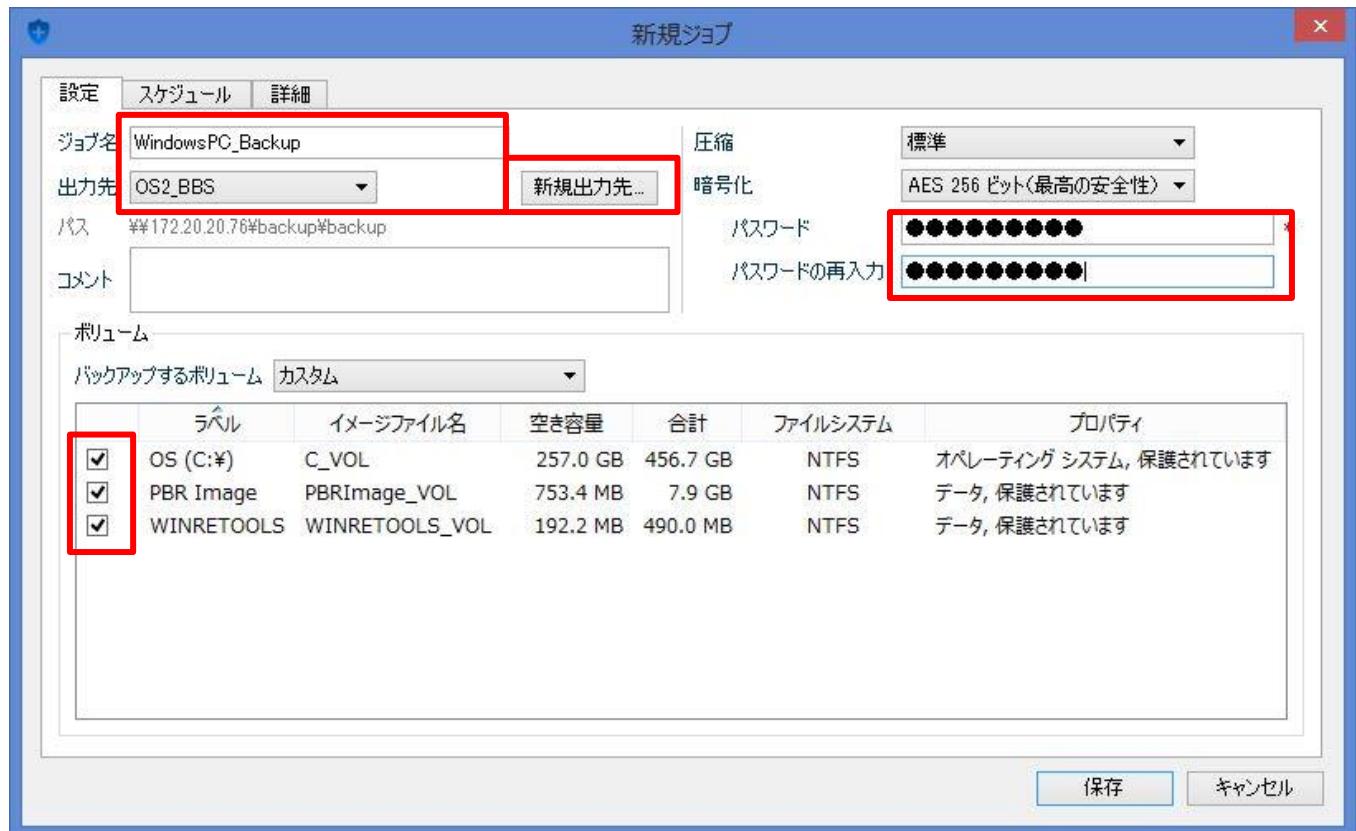
画面左上の「盾アイコン」(盾のマーク) をクリックします。



「設定タブ」より以下の項目を入力します。

- ・ジョブ名／出力先
- ・パスワード／パスワードの再入力（暗号化しない場合は入力なし）
- ・バックアップ対象となるボリューム（チェック）

出力先は「新規出力先...」から指定します。



「新規出力先」をクリックします。

“出力先の追加”ウィンドウに以下の項目を入力します。

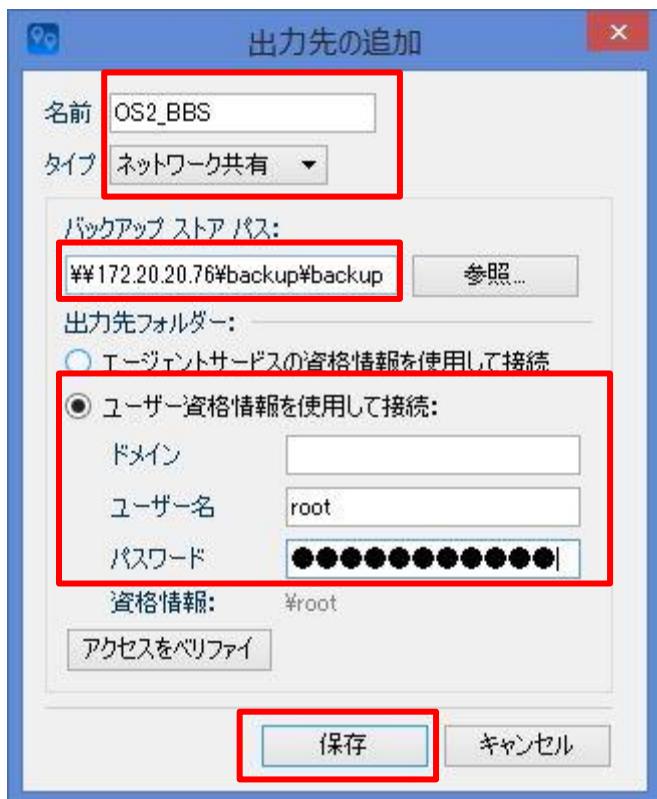
- ・名前／タイプ：(ネットワーク共有を選択)
- ・バックアップ ストア パス：(BizBoxServer のバックアップフォルダパスを入力)
- ・出力先フォルダー：ユーザー資格情報を使用して接続：(チェック) / ユーザー名／パスワード

※ユーザー名、パスワードは BizBoxServer にログインする場合、書き込み権限のあるユーザー名、パスワードを入力

例) root ユーザーなど

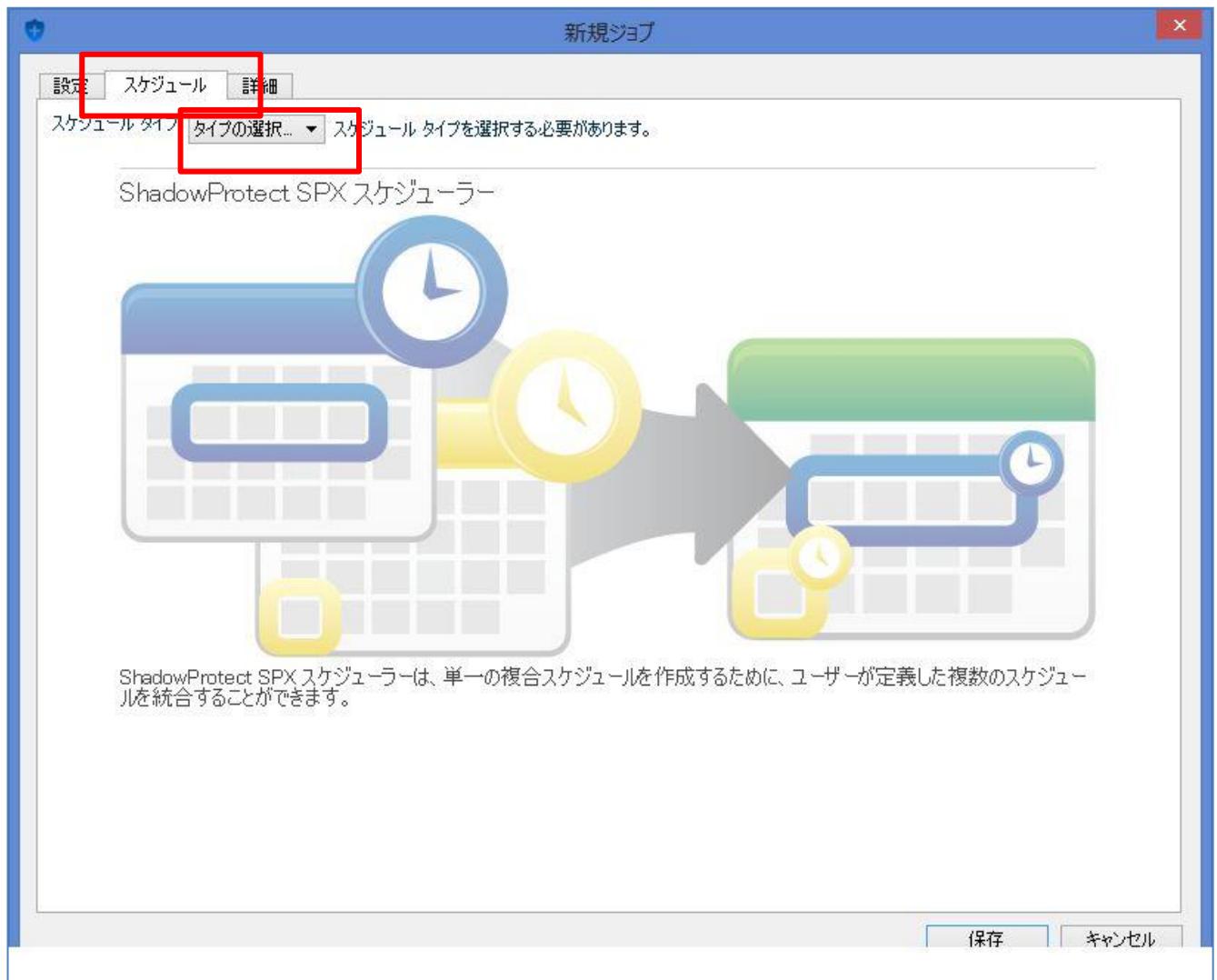
※バックアップするフォルダは事前に作成しておく必要があります。

「保存」をクリックします。



「スケジュール」タブよりスケジュールを作成します。

「タイプの選択」よりスケジュールタイプを選択します。

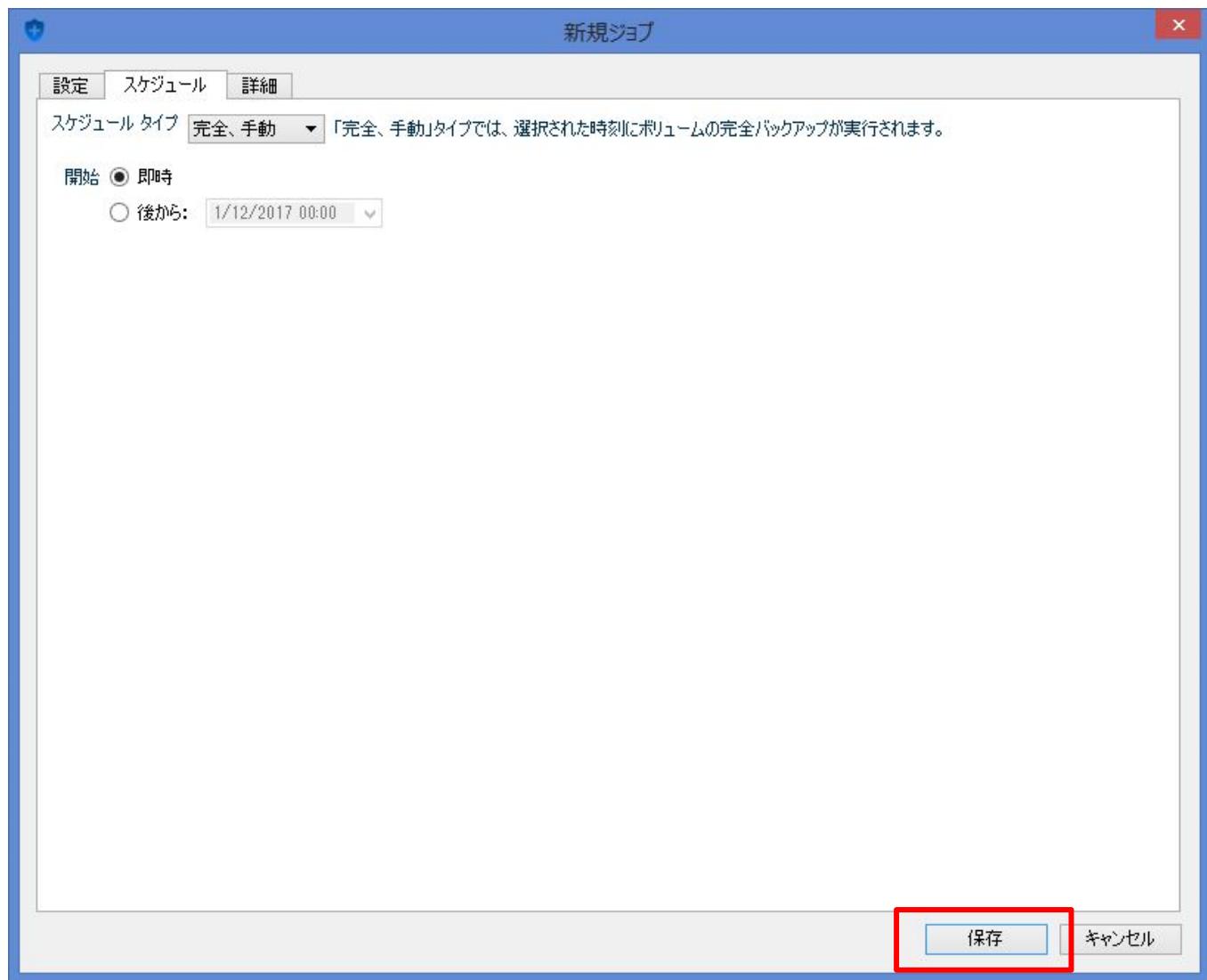


以下の4種類からバックアップスケジュールを選択します。

連続	「連続」スケジュールでは、ベースとなる単一の完全バックアップが作成された後、指定した時刻に増分バックアップが実行されます。
混合	指定された時刻に完全バックアップおよび増分バックアップが実行されます。 (完全バックアップのスケジュールと増分バックアップのスケジュールをそれぞれ設定できます。)
完全	「完全」スケジュールでは、完全バックアップが選択された時刻に開始した後、指定した間隔でバックアップが実行されます。
完全、手動	「完全、手動」タイプでは選択された時刻にボリュームの完全バックアップが実行されます。



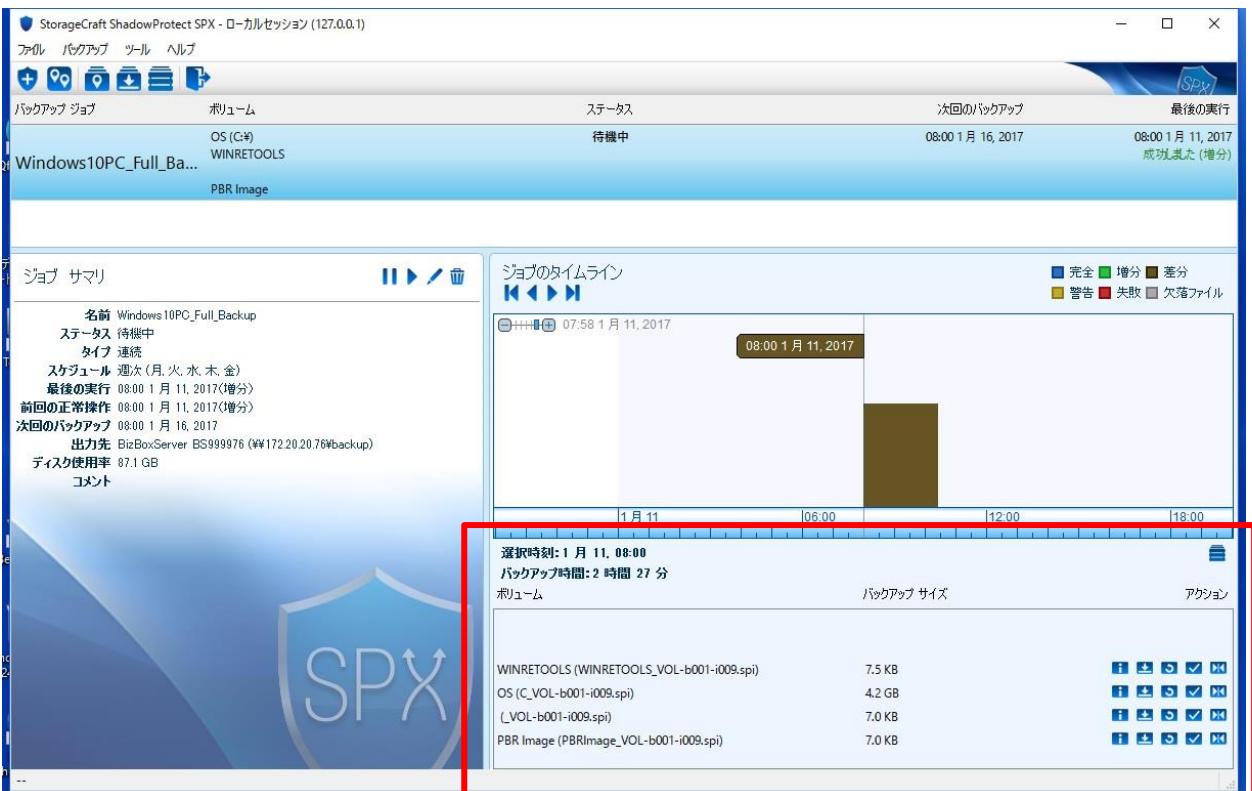
設定が完了したら「保存」をクリックします。



バックアップジョブが作成されます。スケジュールに沿ってバックアップが実行されます。



バックアップされたファイルが画面右下に表示されます。



6-4. リカバリ（復元）

同梱されている CD 内のマニュアルを参照し、リカバリ手順を進めます。

Biz Box Server「OS」上に保存された PC のイメージバックアップファイルを指定するため、

[ドライブ]タブにある[Windows File Share]への接続“ボタンをクリックします。



クリック後に表示される画面にて、PC のイメージバックアップファイルが存在する Biz Box Server「OS」の指定の共有フォルダを記載します。

Biz Box Server「OS」に対して、アクセス権を設定している場合は、“ユーザー名”、“パスワード”を入力して、[OK]ボタンをクリックします。



その後は、同梱されている CD 内のマニュアルを参照し、PC リカバリを完了させます。

7. ハードディスク復旧サービス

7-1. 概要

「ハードディスク復旧サービス」とは、Biz Box Server「OS」のハードディスクが同時に2台以上故障し、データが復元できなくなった場合に、特別料金でハードディスク復旧を行うサービスです。

※ハードディスク1台故障時は、故障ハードディスクを交換すればそのままデータを失うことなく復元できます

本サービスはBiz Box Server「OS」1台に対し、1回のサービスです。

(1回目のみ特別料金での提供です)

本項は、ハードディスクが2台以上同時故障した際のハードディスク復旧までの流れを記載しています。

ハードディスクが同時に2台以上故障した場合、NTT西日本へお問い合わせください。

ハードディスク復旧サービスの流れは以下のとおりです。

(1) Biz Box Server「OS」にて2本以上のハードディスクが故障

(2) ハードディスク復旧サービス事前調査を申し込むかご選択

(3) ハードディスク復旧サービスを申し込む場合は、「データ復旧作業 事前調査依頼書」を記載、送付

※ハードディスク復旧サービスを申し込まない場合は、通常のハードディスク交換フローに準拠

(4) 事前調査結果を受けて、ハードディスク復旧サービスを申し込むかご選択

(5) ハードディスク復旧サービスを申し込む場合は、「データ復旧作業 申し込み書」を記載、送付

(6) 復旧データを外付けハードディスクで受領

7-2. 事前調査依頼

事前調査依頼とは、ハードディスクが実際に復旧可能かどうか事前に調査を行うことができるサービスです。

ハードディスク復旧サービスを申し込む前に、実際に復旧可能なデータ一覧を確認することができます。

※事前調査結果で復旧できない場合、ハードウェア復旧サービスを申し込むことができません

NTT西日本へお問い合わせ後、「データ復旧作業 事前調査依頼書」が送付されますので、当シートに必要事項を記入後、指定の宛先にご送付ください。

事前調査が完了次第、実際に復旧可能なデータ一覧が送付されますので、ハードディスク復旧サービスを申し込むかご検討ください。

7-3. データ復旧作業

事前調査結果をご確認後、申し込みされるお客様は、「データ復旧作業 申し込み書」が送付されますので、必要事項を記入後、指定の宛先にご送付ください。

データ復旧作業が完了後、実際に復旧したデータが外付けハードディスクに格納され送付されます。

8. FAQ

8-1. パスワードがわからない場合

(1) Biz Box Server 「OS」 の管理画面の場合

管理用ユーザーのユーザー名、及び、初期パスワードは以下のとおりです。

ユーザー名	root
パスワード	microserver

※初期パスワードは利用せず、推測されにくいパスワードに変更して頂くことを推奨します。

なお、一般用ユーザーのパスワードは、管理用ユーザーでログイン後、再設定可能です。

(2) ネットワーク・ストレージの WEB インタフェースの場合

申込みの際にお渡ししております「登録内容通知書」に、ユーザー名、及び、初期パスワードが記載されていますのでご確認ください。

〒000-0000
東京都港区新橋●-●-● ●●●●●●ビル●階
株式会社●●●●●●部
●●●●●●様

2014年●●月●●日
株式会社NTTPCコミュニケーションズ

Security BOSS サービス登録内容のご案内

この度は、弊社 Security BOSS をお申込みくださいまして、誠にありがとうございます。
お客様にお申込みいただきました内容を、下記のとおり登録いたしましたので、ご確認かたお願い申し上げます。
登録内容をご確認のうえ、ご不明な点、もしくは、相違等がございましたら、下記連絡先までお問い合わせください
ますよう、お願ひ申し上げます。

お願い：本書は弊社へのお問い合わせの際に必要となりますので、大切に保管してください。

お客様情報

ご契約者名 (ご担当者)	株式会社●●●●●●● ●●●●●●●部 ●●●● 様
ご契約住所	〒000-0000 東京都港区新橋●-●-● ●●●●●●ビル●階
お客様番号	SE●●●●
USS初期パスワード	[Redacted]
NSS初期パスワード	[Redacted]
お申し込み種別	新規

管理用ユーザーのパスワードがわからない場合は、NTTPCへお問い合わせください。

8-2. 故障対応

Biz Box Server「OS」の管理画面の【システム情報】画面にて、本事象が発生した場合、NTT西日本へお問い合わせください。

①デグレード中の表示

状況を確認後、故障と判断され場合、壊れたハードディスクを弊社宛にご送付ください。到着後、弊社から交換用ハードディスクを送付いたします。

※「Server サポートサービスをご契約」及び「SecurityBOSS ネットワーク・ストレージサービスをご契約」の場合は、先出しセンドバック対応となります

※ハードディスクが1つ故障した場合、継続して運用し続けると2重故障のリスクが高まるため、ディスク交換が完了するまでBiz Box Server「OS」の電源を落としてお待ちください。

The screenshot shows the 'System Information' page of the Biz Box Server 'OS' management interface. At the top right, it says 'User: root (Administrator)'. On the left, there's a sidebar with links: ファイル管理, グループウェア, ユーザー管理, システム情報, システム設定, 保守関連, and ログアウト. The main area has a title 'システム情報'. Below it, a yellow box contains a warning message: 「警告】 ハードディスクの1つが故障しています。サポート窓口へ連絡し、交換用ハードディスクを依頼してください。」 A large blue box below contains instructions: 「交換用ハードディスクを受領後、以下の手順で、故障中のハードディスクを交換してください。※交換しない状態でさらにハードディスクが1つ故障するとデータが消失されます」 followed by a numbered list: (1) Biz Box Server「OS」の電源ボタンを押し、電源を切れます (2) 電源が切れたことを確認し、フロントパネルを開け、故障中のハードディスク「2」を取り出します (3) 交換用ハードディスクを差し込み、フロントパネルを閉じます (4) Biz Box Server「OS」の電源ボタンを押すと、自動的に復旧されます. At the bottom, there's a table with system information:

システムID	localhost
モデル	Biz Box Server「OS」
MACアドレス	0c:c4:7a:b5:d3:f
システムクロック	2016年 10月13日 18:12:37
起動時間	00日 03時 12分 18秒

②データ消失中の表示

状況を確認後、故障と判断され場合、壊れたハードディスクを弊社宛にご送付ください。到着後、弊社から交換用ハードディスクを送付いたします。

※「Server サポートサービスをご契約」及び「SecurityBOSS ネットワーク・ストレージサービスをご契約」の場合は、先出しセンドバック対応となります

※ディスク交換が完了するまで Biz Box Server 「OS」は利用できませんので、電源を落としてお待ちください。

The screenshot shows the NTT BizBox Server system information page. The top navigation bar includes the NTT logo, the server name 'BizBox Server', and the user 'ユーザー: root (管理者)'. On the left, there's a vertical menu with links: ファイル管理, グループウェア, ユーザー管理, システム情報, システム設定, 保守関連, and ログアウト. The main content area is titled 'システム情報' (System Information). A red-bordered box contains a warning message: 【警告】 ハードディスクが2つ以上故障しています。復旧するには、サポート窓口にご連絡ください。※クラウドバックアップ、または、外付けハードディスクでバックアップしたデータのみ復旧可能です. Below this is another box with disk status information: 【ハードディスクの状態】 1: 正常 2: 非常 3: 非常 4: 正常. At the bottom, a table provides detailed system information:

システムID	localhost
モデル	Biz Box Server 「OS」
MACアドレス	0c:c4:7a:b5:d3:5f
システムクロック	2016年 10月13日 18:15:23
起動時間	00日 03時 15分 04秒

③ リビルド中の表示

リビルドが完了するまで待ちます。

 **BizBox Server**

ユーザー: root (管理者)

ファイル管理 グループウェア ユーザー管理 システム情報 システム設定 保守関連 ログアウト

システム情報

【情報】
正常にハードディスクの交換が完了しました。
現在、修復処理中です。

修復完了までは、Biz Box Server「OS」への書き込み操作は行えません。
(ファイルの閲覧・ダウンロードは可能です)
※修復完了には数時間かかります
※修復完了後、本メッセージも表示されなくなり、書き込み操作も可能となります

【ハードディスクの状態】
1 : 正常 2 : 正常 3 : 正常 4 : 正常

システムID	localhost
モデル	Biz Box Server「OS」
MACアドレス	0c:c4:7a:b5:d3:5f
システムクロック	2016年 10月13日 18:13:44
起動時間	00日 03時 13分 25秒

※リビルド完了までは書き込み操作は行えません

8-3. よくある質問

(1) Biz Box Server「OS」本体について

No.	質問	回答
1	Biz Box Server「OS」の利用可能な容量はいくらですか。	ご利用モデルにより容量が異なります。 「OS」「2」は2TBのご利用が可能です。 「OS」「6」は6TBのご利用が可能です。 「OS」「12」は12TBのご利用が可能です。
2	Biz Box Server「OS」の信頼性について教えてください。	「OS」「2」は、ハードディスク2つを利用したRAID1で構成されています。 「OS」「6」及び「OS」「12」は、ハードディスク4つを利用したRAID5で構成されています。 ハードディスクが1つ故障しても復旧可能です。 ただし、データの可用性/完全性を保証するものではありません。
3	Biz Box Server「OS」のハードディスクが1つ壊れた場合、どう対処すればよいでしょうか。	弊社NTT西日本へご連絡ください。 状況を確認後、故障と判断された場合、壊れたハードディスクを弊社宛にご送付ください。到着後、弊社から交換用ハードディスクを送付いたします。 ※「Serverサポートサービス」又は「SecurityBOSSネットワーク・ストレージサービス」をご契約の場合は、先出しセンドバック対応となります

		※ハードディスクが 1 つ故障した場合、継続して運用し続けると 2 重故障のリスクが高まるため、ディスク交換が完了するまで Biz Box Server「OS」の電源を落としてお待ちください。
4	Biz Box Server「OS」のハードディスクが 2 つ以上壊れた場合、どう対処すればよいでしょうか。	<p>弊社 NTT 西日本へご連絡ください。</p> <p>状況を確認後、故障と判断された場合、壊れたハードディスクを弊社宛にご送付ください。到着後、弊社から交換用ハードディスクを送付いたします。</p> <p>※「Server サポートサービス」又は「SecurityBOSS ネットワーク・ストレージサービス」をご契約の場合は、先出しセンドバック対応となります</p> <p>※ディスク交換が完了するまで Biz Box Server「OS」は利用できませんので、電源を落としてお待ちください。</p>
5	Biz Box Server「OS」のアカウント/パスワードを忘れてしまいました。 初期化の方法を教えてください。	一般用アカウントの場合は、管理用ページで再設定可能です。管理者用アカウントの場合、NTT 西日本へパスワード初期化の依頼を実施してください。
6	管理画面でダウンロードする前にファイル内容を確認したいのですが可能ですか。	ファイル内容を確認するにはダウンロードは必須です。
7	管理画面でファイルを複数同時にダウンロードすることは可能でしょうか。	ファイルはいずれの動作も一つずつ操作してください。 複数同時にダウンロードする場合は、ファイル共有(Windows エクスプローラ、または、Mac Finder) 経由か

		ら行ってください。
8	Biz Box Server「OS」のファイルをダウンロードしたユーザーのリストは確認できますか。	システム状況のログ表示の「ファイル管理(Web)」または「ファイル共有」から確認できます。
9	Biz Box Server「OS」の容量を超えてファイルをアップロードするとどうなりますか。	アップロード実行時、エラーダイアログが表示され、アップロードは完了しません。容量が足りない場合は、不要なファイルを削除するか、Biz Box Server「OS」本体の追加のご購入をご検討ください。
10	Biz Box Server「OS」の一般ユーザーアカウント毎にアクセス制限をかけるにはどうすればいいでしょうか。	管理者ユーザーでログイン後、[ユーザー管理]→[アクセス権限の変更]からフォルダアクセス権限の変更ができます。なお、アクセス権限を付与可能なフォルダは、「ルートフォルダ」にあるフォルダのみです。
11	外付けハードディスク機能で、同時に複数の連携は可能でしょうか。	外付けハードディスクは1つのみ連携可能です。 複数接続した場合、先に接続された外付けハードディスクを優先的に認識します。
12	使用するポート番号を教えてください。	使用するポート番号は以下のとおりです。 443(TCP) NTTPCからの監視/NSS/あづけ～るで必要 53(TCP/UDP) 名前解決に必要

		<p>123(TCP/UDP) 時刻同期に必要</p> <p>4361(TCP) リモートアクセス機能を利用する場合必要</p> <p>4666(TCP) リモートアクセス機能を利用する場合必要</p> <p>8081(TCP) sophos アップデートに必要</p> <p>4631(TCP) NSS を利用する場合必要</p>
12	使用可能な IP アドレスを教えてください。	<p>BBS/OS2 で使用できる IPV4 アドレス範囲は以下のとおりです。</p> <p>-10.0.0.1～10.255.255.254</p> <p>-172.16.0.1～172.18.255.254</p> <p>-172.20.0.1～172.31.255.254</p> <p>-192.168.0.1～192.168.255.254</p> <p>■BBS/OS2 が使用している IPV4 アドレスは以下のとおりです。 (お客様による使用ができない IPV4 アドレス範囲)</p> <p>※保守用で使用しているため設定しないでください。</p> <p>※172.19.0.0～172.19.255.255 (172.19.0.0/16)</p>

(2)SecurityBOSS ネットワーク・ストレージサービスについて

No.	質問	回答
1	ネットワーク・ストレージの設置場所はどこですか。	国内のデータセンタに設置されています。
2	ネットワーク・ストレージの信頼性について教えてください。	ストレージ設備は冗長化されています。 ただし、データの可用性/完全性を保証するものではありません。
3	ネットワーク・ストレージ用の管理画面のアカウント名の作成方法を教えてください。	アカウントを新たに作成することはできません。 1 契約につき 1 アカウントとなります。
4	ネットワーク・ストレージ用の管理画面のアカウント名を変更する方法を教えてください。	変更することはできません。
5	ネットワーク・ストレージ用の管理画面のアカウント/パスワードを忘れてしまいました。初期化の方法を教えてください。	NTTPC へパスワード初期化の依頼を実施してください。
6	ネットワーク・ストレージで増設できる最大容量はいくらですか。	最大容量は 1000GB(1TB)で、100GB 単位で増設可能です。 容量変更のお申込みは、NTTPC へご連絡ください。

7	<p>複数の拠点でネットワーク・ストレージサービスを契約しているが、複数の拠点から同一のストレージフォルダにアクセスする方法はありますか。</p>	<p>ネットワーク・ストレージ用の管理画面をご利用いただくことで、複数の拠点で利用しているストレージファイルにアクセスすることが可能です。</p> <p>なお、フォルダ構成は契約単位で分けられているため、複数の拠点同士でファイルが競合（上書き・削除等）することはありません。</p> <p>ネットワーク・ストレージ用の管理画面 https://nss.securityboss.jp/</p> <p>ログイン情報は、申込みの際にお渡ししております「登録内容通知書」に、ユーザー名、及び、初期パスワードが記載されていますのでご確認ください。</p>
8	<p>ネットワーク・ストレージ用の管理画面でダウンロードする前にファイル内容を確認したいのですが可能ですか。</p>	<p>ファイル内容を確認するにはダウンロードは必須です。</p>
9	<p>ネットワーク・ストレージ用の管理画面でファイルを複数同時にダウンロードすることは可能でしょうか。</p>	<p>ファイルはいずれの動作も一つずつ操作してください。</p>
10	<p>ネットワーク・ストレージ用の管理画面でファイルをダウンロードしたユーザーのリストは確認できますか。</p>	<p>ファイル操作履歴の確認はできません。</p>
11	<p>ネットワーク・ストレージの契約容量を超えてバックアップを実行するとどうなりますか。</p>	<p>アップロード実行時、エラーログが表示され、バックアップは完了しません。</p> <p>容量が足りない場合は、不要なファイルを削除するか、契約容量の増設をご検討ください。</p>

12	ネットワーク・ストレージ用の管理画面の各フォルダにアクセス権限を設定したい。	1 契約につき 1 アカウントとなるため、フォルダアクセス権限の変更はできません。
13	ネットワーク・ストレージ用の管理画面のユーザーアカウント毎にアクセス制限はかけられますか。	1 契約につき 1 アカウントとなるため、ユーザーアカウント毎の制限はかけられません。
14	外出先からストレージのファイルを閲覧する方法を教えてください。	<p>ネットワーク・ストレージ WEB インタフェースからストレージのファイルを閲覧することができます。</p> <p>ネットワーク・ストレージ用の管理画面 https://nss.securityboss.jp/</p> <p>ログイン情報は、申込みの際にお渡ししております「登録内容通知書」に、ユーザー名、及び、初期パスワードが記載されていますのでご確認ください。</p>
15	ネットワーク・ストレージ用の管理画面からファイルをアップロードできますか。	<p>ファイルをアップロードすることはできません。</p> <p>B i z B o x S e r v e r 「O S」本体で指定したバックアップ用フォルダにファイルをアップロードすることで、クラウド上に同期されます。</p>

		ネットワーク・ストレージ上のルートディレクトリにファイル名「system.dat」として保存されます。
16	グループウェアの情報もバックアップできますか。	<p>ネットワーク・ストレージ用の管理画面 https://nss.securityboss.jp/</p> <p>system.dat ファイルには、グループウェアのデータの他、Biz Box Server 「OS」の設定情報が保存されており、当該ファイルを、[システムデータのインポート]により Biz Box Server 「OS」に反映させることができます。</p>
17	ネットワーク・ストレージサービスを解約する方法を教えてください。	ネットワーク・ストレージをお申込みになりました特約店へお問い合わせください。
18	ストレージ容量を増設/減設する方法を教えてください。	容量変更のお申込みは、NTTPCへご連絡ください。
19	ストレージ容量の警告メールが頻繁に届くが止める方法はないでしょうか。	不要なファイルを削除し使用容量を減らしていただくか、容量の増設(上限 1000GBまで)をご検討ください。

(3) Serverバックアップについて

No.	質問	回答
1	Serverバックアップの設置場所はどこですか。	インターネット上のクラウドストレージを利用してあります。
2	Serverバックアップの信頼性について教えてください。	複数のデータセンタでデータが保持されており、冗長化されています。ただし、データの可用性/完全性を保証するものではありません。
3	Serverバックアップ用の管理画面のアカウント名の作成方法を教えてください。	管理者用のアカウントは新たに作成することはできません。 1契約につき1アカウントとなります。
4	Serverバックアップ用の管理画面のアカウント名を変更する方法を教えてください。	Serverバックアップ用の管理画面の環境設定より変更が可能です。 Serverバックアップ用の管理画面 https://www.azukeru.ntt-west.net/login.php ログイン情報は、申込み時にご登録いただきました、管理者ID、パスワードとなります。 ※アカウント名を変更した場合、Biz Box Server「OS」本体のServerバックアップ設定の変更が必要となります。
5	Serverバックアップ用の管理画面のアカウント/パスワードを忘れてしまいました。初期化の方法を教えてください。	NTT西日本サポートセンタへパスワード初期化の依頼を実施してください。 ※初期化した場合、Biz Box Server「OS」本体のServerバックアップ設定の変更が必要となります。

6	<p>S e r v e r バックアップで利用可能な最大容量はいくらですか。</p>	<p>最大容量は 14TB となります。データ保存容量に応じて従量課金となります。</p> <p>※2017 年 3 月末までは最大容量は 1TB</p>
7	<p>複数の拠点で S e r v e r バックアップを契約しているが、複数の拠点から同一のストレージフォルダにアクセスする方法はありますか。</p>	<p>S e r v e r バックアップ用の管理画面をご利用いただくことで、複数の拠点で利用しているストレージファイルにアクセスすることが可能です。</p> <p>なお、フォルダ構成は契約単位で分けられているため、複数の拠点同士でファイルが競合（上書き・削除等）することはありません。</p> <p>S e r v e r バックアップ用の管理画面 https://www.azukeru.ntt-west.net/login.php</p> <p>ログイン情報は、申込み時にご登録いただきました、利用者 ID、パスワードとなります。</p>
8	<p>S e r v e r バックアップ用の管理画面でダウンロードする前にファイル内容を確認したいのですが可能ですか。</p>	<p>ファイル内容を確認するにはダウンロードは必須です。</p>
9	<p>S e r v e r バックアップ用の管理画面でファイルを複数同時にダウンロードすることは可能でしょうか。</p>	<p>可能です。</p>
10	<p>S e r v e r バックアップ用の管理画面でファイルをダウンロードしたユーザーのリストは確認できますか。</p>	<p>ファイル操作履歴の確認はできません。</p>

11	<p>S e r v e r バックアップの契約容量を超えてバックアップを実行するとどうなりますか。</p>	<p>最大 14TB までデータ保存が可能です。14TB 以上となると、アップロード実行時、エラーログが表示されバックアップは完了しません。</p> <p>容量が足りない場合は、不要なファイルを削除してください。</p> <p>※2017年3月末までは最大容量は1TB</p>
12	<p>S e r v e r バックアップ用の管理画面の各フォルダにアクセス権限を設定したい。</p>	<p>グループフォルダ配下のフォルダ単位に、利用者ログイン ID 毎の許可/不許可のアクセス権限設定ができます。</p> <p>ただし、アクセス権限の設定は、管理者 ID のみとなります。</p> <p>※Biz Box Server のバックアップ先はマイフォルダ配下となるため、Biz Box Server に設定した S e r v e r バックアップの利用者 ID のみアクセス可能となります。</p>
13	<p>S e r v e r バックアップ用の管理画面のユーザーアカウント毎にアクセス制限はかけられますか。</p>	<p>利用者 ID を作成し、それぞれにマイフォルダ配下のフォルダにデータ保存することで、他アカウントからのアクセスを制限することができます。</p> <p>※Biz Box Server のバックアップ先はマイフォルダ配下となるため、Biz Box Server に設定した S e r v e r バックアップの利用者 ID のみアクセス可能となります。</p>
14	<p>外出先からストレージのファイルを閲覧する方法を教えてください。</p>	<p>S e r v e r バックアップ用の管理画面およびスマホ用専用アプリから閲覧が可能です。</p> <p>https://www.azukeru.ntt-west.net/login.php</p> <p>ログイン情報は、申込み時にご登録いただきました、利用者 ID、パスワードとなります。</p>

	S e r v e r バックアップ用の管理画面からファイルをアップロードできますか。	S e r v e r バックアップ用の管理画面よりアップロードが可能です。 https://www.azukeru.ntt-west.net/login.php ログイン情報は、申込み時にご登録いただきました、利用者ID、パスワードとなります。
16	グループウェアの情報もバックアップできますか。	バックアップは可能です。
17	S e r v e r バックアップを解約する方法を教えてください。	S e r v e r バックアップをお申込みになりました販売担当者もしくは特約店へお問い合わせください。
18	ストレージ容量を増設/減設する方法を教えてください。	前月のデータ保存容量に応じて、ご利用料金をお支払いただく従量課金制となっております。お客様にてストレージ容量を増減する必要はありません。
19	ストレージ容量の警告メールはどのような契機できているのか？	容量の警告メールは、月額利用料が変更となる際に通知するようになっております。 月額利用料については、下記 URL をご参照ください。 データ安心保管プランホームページ http://flets-w.com/solution/plan/data_anshinhokan/

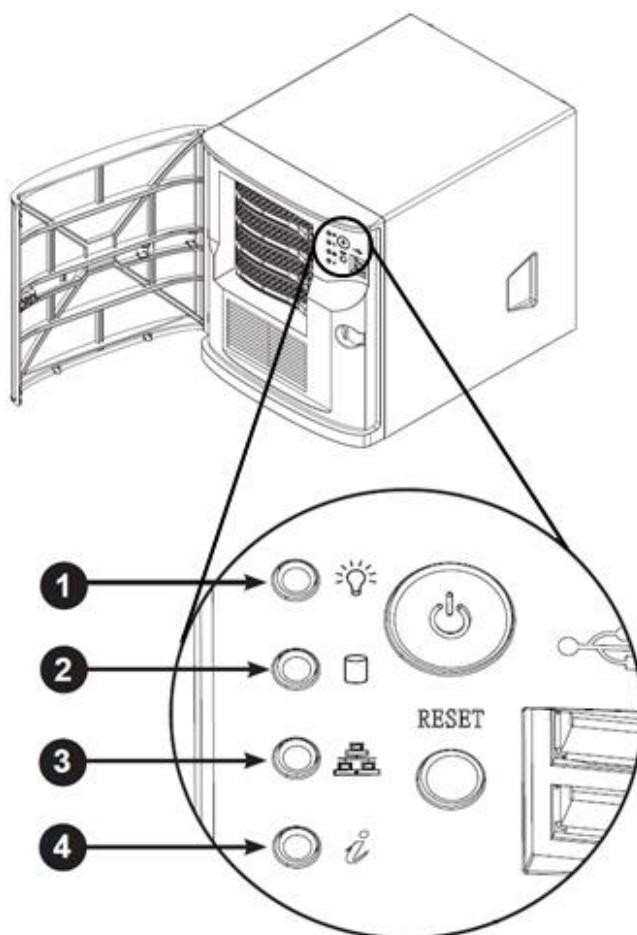
8-4. 故障かなつと思ったら

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずここを読んで対処してください。

本製品の現在の状況をご確認のうえ、その原因と対策をご覧ください。

LEDランプと管理画面を利用して被疑箇所の特定を行います。

- 最初に、前面カバーを開け、本体のLEDランプの状態を確認します。



- | | |
|------------------|------------------------------------|
| ① 電源ランプ | : 電源 ON の時、緑色に点灯します。 |
| ② ハードディスクアクセスランプ | : ハードディスクにアクセスしている場合に、オレンジ色に点滅します。 |
| ③ ネットワークアクセスランプ | : ネットワークにアクセスしている場合に、緑色に点滅します。 |
| ④ インフォメーションランプ | : 故障などが発生している場合に、点滅・点灯します。 |
- ① 本製品前面の電源ランプが緑点灯していない。

ランプの状態	原因と対策
電源ランプが緑点灯していない。	<p>1) 本製品に電源が入っていることを確認してください。</p> <p>2) 電源コンセントに他の電気機器を接続して電気がきているか確認してください。</p> <p>電源ランプが緑点灯して 3) 電源コードがパソコンの電源に連動した電源コンセントに差し込まれている場合は、壁などの電源コンセントに直接接続してください。(パソコンの電源が切れると、本製品に供給されている電源も切れてしまいます。)</p> <p>4) 電源コードが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに電源コードを電源コンセントから抜いてください。</p>

② 本製品前面のハードディスクアクセスランプが常時点灯状態になっている。

ランプの状態	原因と対策
ハードディスクが常時アクセス状態になっている。	本製品の内部的な処理を実行している可能性があります。しばらく(1時間程度)様子を見てからご使用ください。

③ 本製品前面のネットワークアクセスランプが緑点滅していない。

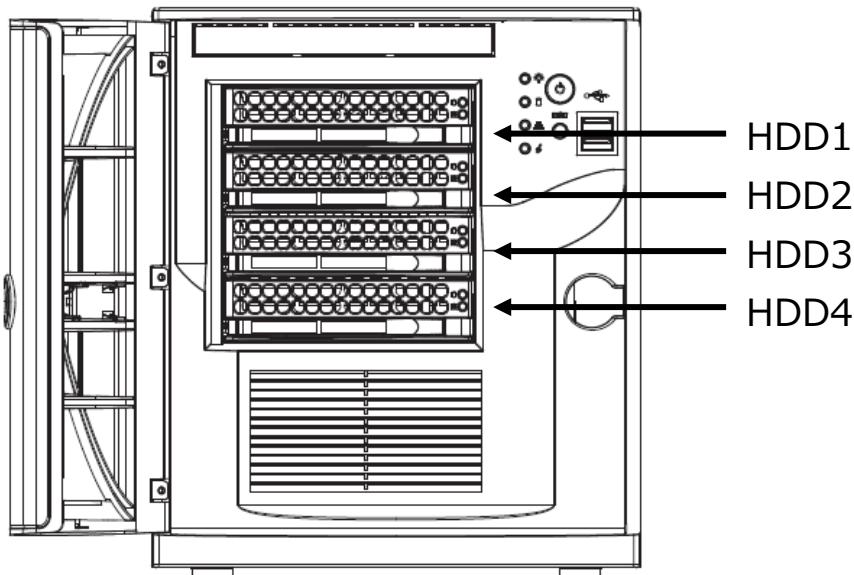
ランプの状態	原因と対策
ネットワークアクセスランプが緑点滅していない。	<p>1) LANケーブルが背面の左側のポートに接続されているか確認してください。右側のポートに接続されている場合は、左側に差し替えてください。</p> <p>2) LANケーブルが本製品のイーサネットポートに「カチッ」と音がするまで差し込まれているか確認してください。</p> <p>3) 本製品とLANケーブルで接続されている機器に異常がないか確認してください。</p> <p>4) 管理画面にアクセスして再度点滅しないか確認してください。</p>

- ④ インフォメーションランプは、状態により以下のように点灯・点滅します。

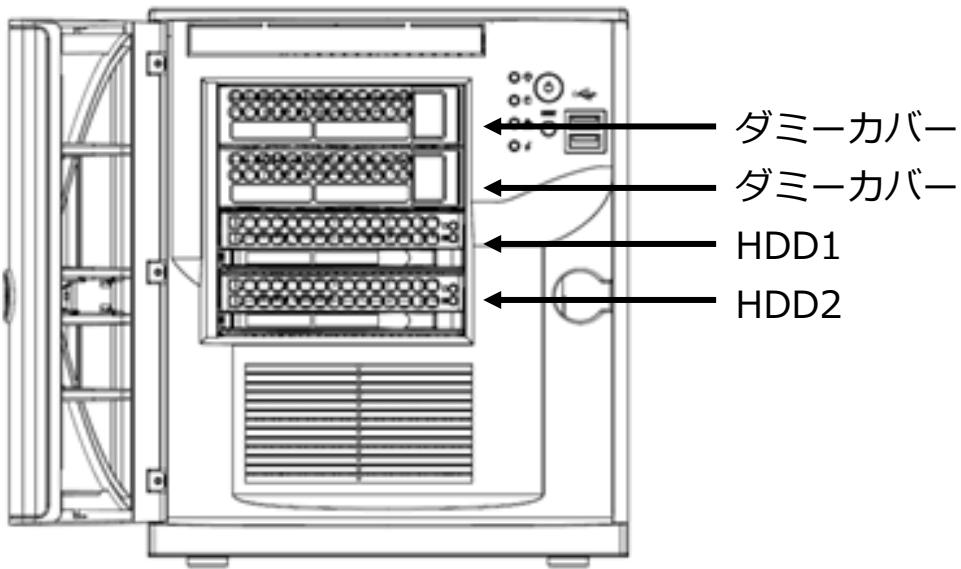
ランプの状態	原因と対策
未点灯・未点滅	故障もしくは不具合ではありません。
赤く点灯	オーバーヒート等の故障もしくは不具合の可能性があります。 ただし、起動時に一瞬点灯するのは、正常動作です。
赤く点滅（1Hz）	FANが故障もしくは不具合を起こしている可能性があります。 ただし、起動時に一瞬点灯するのは、正常動作です。
赤く点滅（0.25Hz）	電源ユニットが故障もしくは不具合を起こしている可能性があります。ただし、起動時に一瞬点灯るのは、正常動作です。
青く点灯	UID（位置特定）です。故障もしくは不具合ではありません。
青く点滅	UID（位置特定）です。故障もしくは不具合ではありません。

- 2) 次に、ハードディスクのLEDランプの状態を確認します。

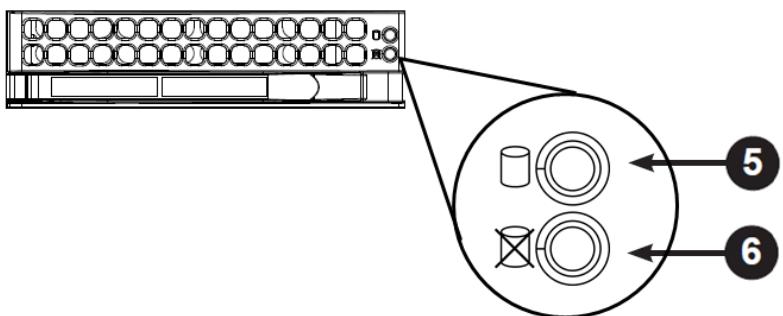
Biz Box Server「OS」「6」および「12」の場合は、4個（下記図のHDD1～4）のハードディスクを確認します。



Biz Box Server「OS」「2」は、2個（下記図のHDD1～2）のハードディスクを確認します。



ハードディスクのLEDランプはそれぞれのハードディスクの右側に搭載されています。



- ⑤ ハードディスクアクセスランプ : ハードディスクにアクセスしている場合に、点滅します。
⑥ ハードディスク状態ランプ : 赤色に点灯している場合は、故障の可能性があります。

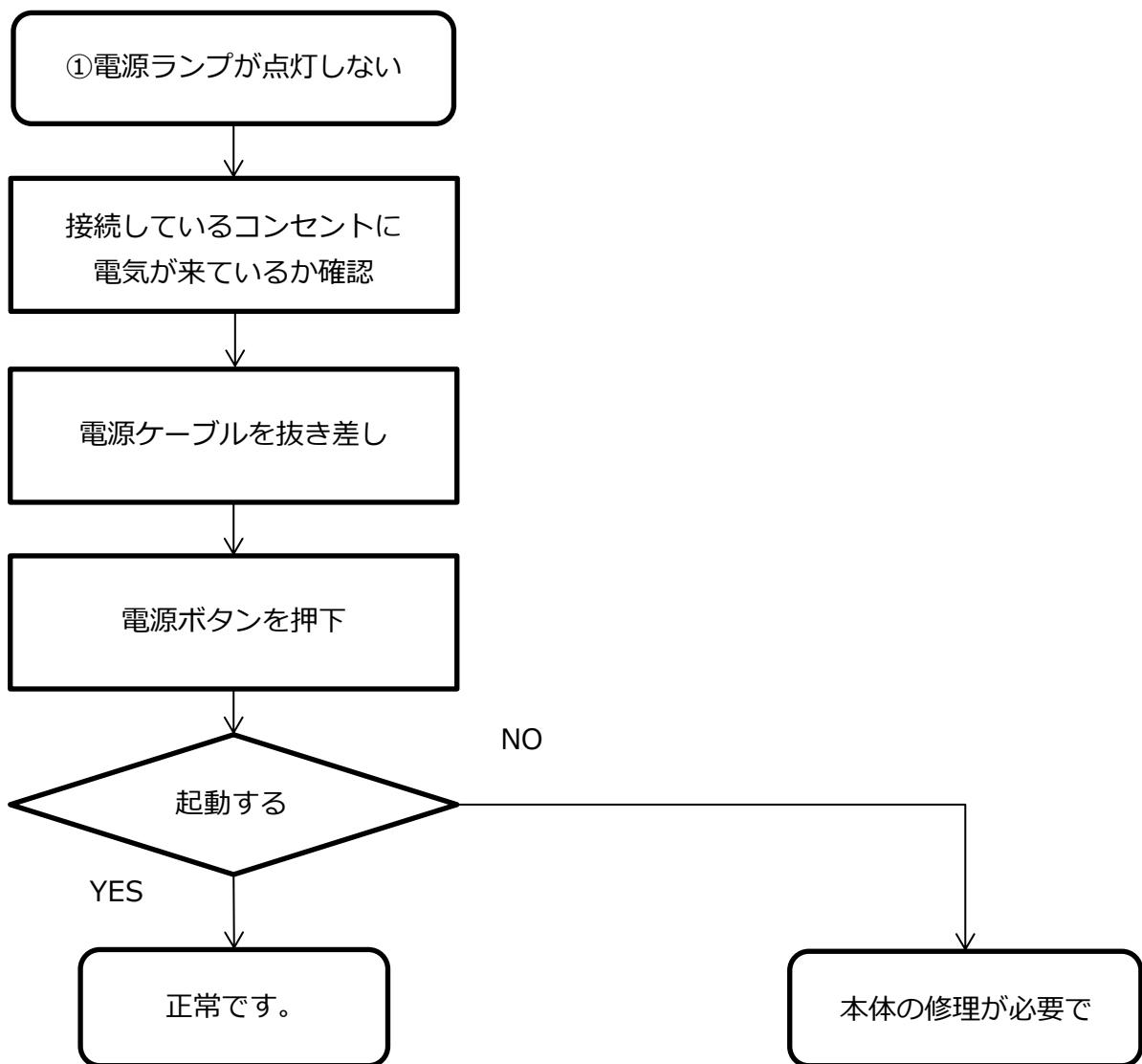
⑤ ハードディスクアクセスランプは、状態により以下のように点灯・点滅します。

ランプの状態	原因と対策
点灯・点滅	故障もしくは不具合ではありません。
未点灯・未点滅	故障もしくは不具合ではありません。

⑥ ハードディスク状態ランプは、状態により以下のように点灯・点滅します。

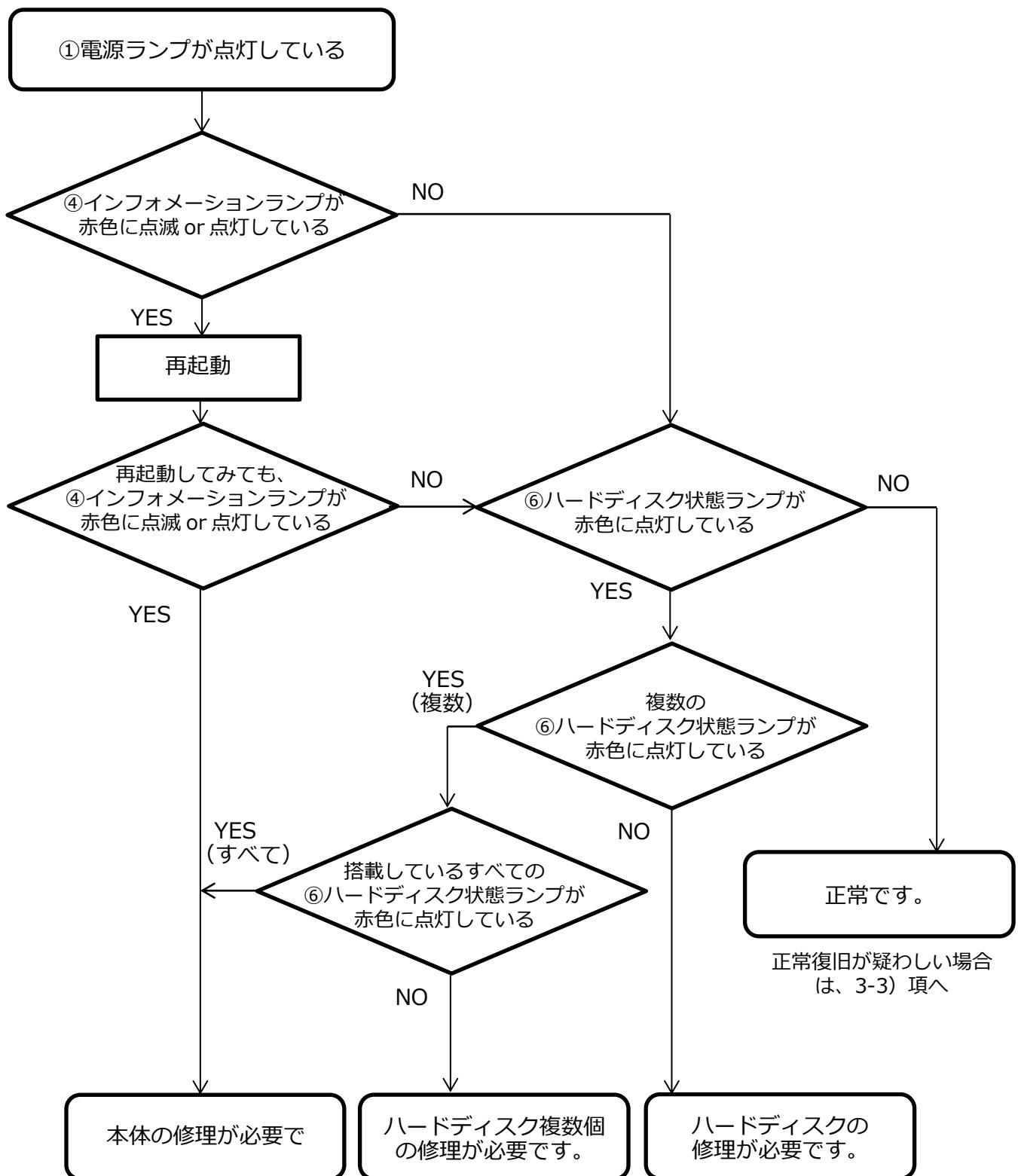
ランプの状態	原因と対策
赤く点灯	ハードディスクが故障もしくは不具合を起こしている可能性があります。ただし、起動時に一瞬点灯するのは、正常動作です。
未点灯	故障もしくは不具合ではありません。

3-1) 電源が入らないときに切り分けを行う場合は、以下フローで切り分けを行ってください。

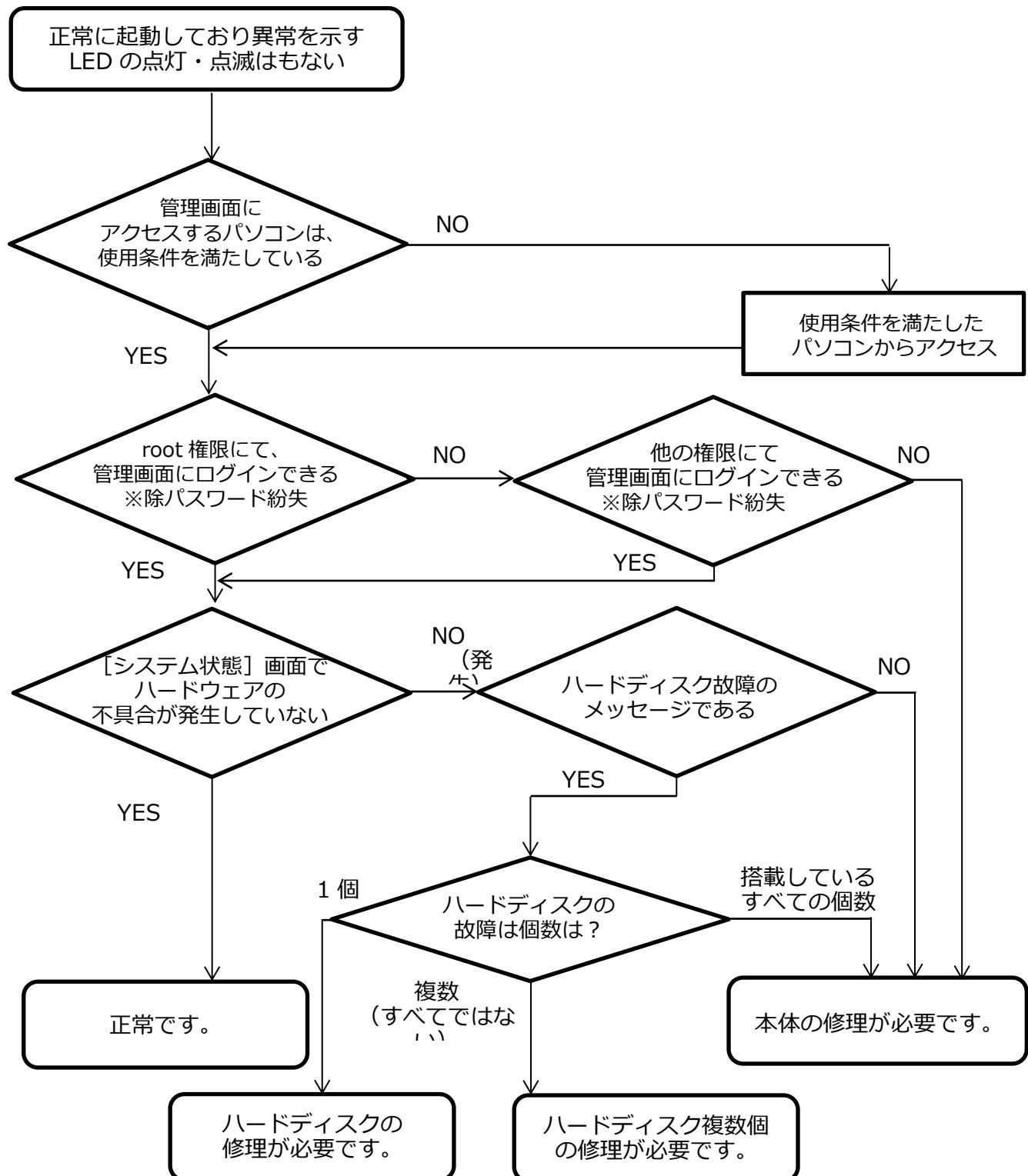


正常復旧が疑わしい場合
は、3-2) 項へ

3-2) 電源ランプが点灯している場合で、なにかしらの不具合が疑われるときに切り分けを行う場合は、以下フローで切り分けを行ってください。外部LEDランプにて故障箇所を特定します。



3-3) 外部LEDランプで特定できない不具合が疑われるときに切り分けを行う場合は、以下フローで切り分けを行ってください。管理画面にアクセスして状態を確認します。



本書中の社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

本書に掲載された内容の無断転載を禁じます。

本書に掲載された内容は予告なく変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

本 3416-1.1<2016.10>